

仕 様

形名	W48-LC2000				
液晶パネル	パネル	1.6型単板			
	駆動方式	TFTアクティブマトリックス			
	有効表示画素数	1,080,000ドット (水平800×垂直450) ×3			
ランプ	超高圧水銀ランプ 100W				
画面寸法	幅105.4×高さ59.3/対角120.9(cm)				
音声実用最大出力	24W (総合) (EIAJ)				
スピーカー	12(cm)……2個, 5(cm)……2個				
電源	AC100V 50/60Hz共用				
消費電力	180W (待機時1.3W, ただしBS録画ランプ「オフ」時)				
受信チャンネル	VHF1ch~12ch, UHF13ch~62ch, CATV(C13~C35), BS(BS1~BS15)				
端子	ビデオ1映像入力端子	1個	ビデオ5映像入力端子(D3映像)	1個	
	ビデオ1音声入力端子(右)(左)	1個	ビデオ5音声入力端子(右)(左)	1個	
	ビデオ1S2映像入力端子	1個	BS/モニター映像出力端子	1個	
	ビデオ2映像入力端子	1個	BS/モニター音声出力端子(右)(左)	1個	
	ビデオ2音声入力端子(右)(左)	1個	BS映像入力端子	1個	
	ビデオ2S2映像入力端子	1個	BS音声入力端子(右)(左)	1個	
	ビデオ3映像入力端子	1個	ビットストリーム出力端子	1個	
	ビデオ3音声入力端子(右)(左)	1個	キードAFC入力端子	1個	
	ビデオ3S2映像入力端子	1個	BS-IF入力端子	1個	
	ビデオ4映像入力端子	1個	AV-BUS II 端子	1個	
	ビデオ4音声入力端子(右)(左)	1個	ヘッドホン端子	1個	
	ビデオ4映像入力端子(Y)(Pb/Cb)(Pr/Cr)	1個	検波出力端子	1個	
	外形寸法	幅114.4×高さ108.7×奥行46.3(cm)			
	質量	51.1kg			
	付属品	リモコン送信機	1個	RFケーブル	1個
		単3形乾電池 R6P(またはSUM-3)	2個	フェライトコア	2個
アンテナアダプター		1個	取扱説明書	1冊	
中継接柱		1個			

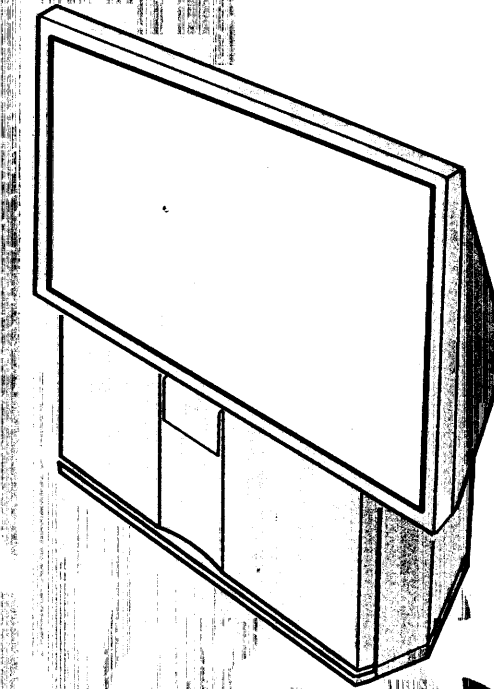
HITACHI

BSチューナー内蔵日立液晶プロジェクションテレビ

形名

W48-LC2000

取扱説明書



- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
The television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。
「高調波ガイドライン」適合品とは、通産省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。

このたびは日立液晶プロジェクションテレビをお求めいただき、まことにありがとうございます。最初にお読みください。
最初に 「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
 お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

FOCUSおよび(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
 FOCUS技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスの下に製品化されています。

株式会社 日立情報テック 株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
 電話 (03) 3502-2111

QR46151

Printed in Japan (K/S)

特長

家族みんなが特等席

高輝度・高コントラスト・広視野角
リビングシアターを再現

色を鮮やかに再現する

ピュアカラーオプティカルシステム

大画面だからこそコンパクト

29型テレビ*と同等の
コーナー設置性を実現

*当社機種「C29-FV100」

将来のデジタル機器を高画質入力できる

D3端子&コンポーネント入力

地上波のゴースト妨害を低減

デジタルGR
(ゴーストリダクション)

より自然で迫力のあるリアルな音が楽しめる新技术

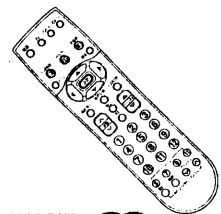
FOCUS 採用*

by SRS (S)

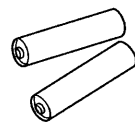
* FOCUS はSRS Labs, Inc.の商標です。

付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡
ください。

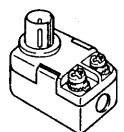
付属品について



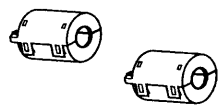
リモコン送信機 14



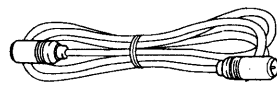
単3形乾電池 17



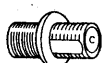
アンテナアダプター 73



フェライトコア 73



RFケーブル 72

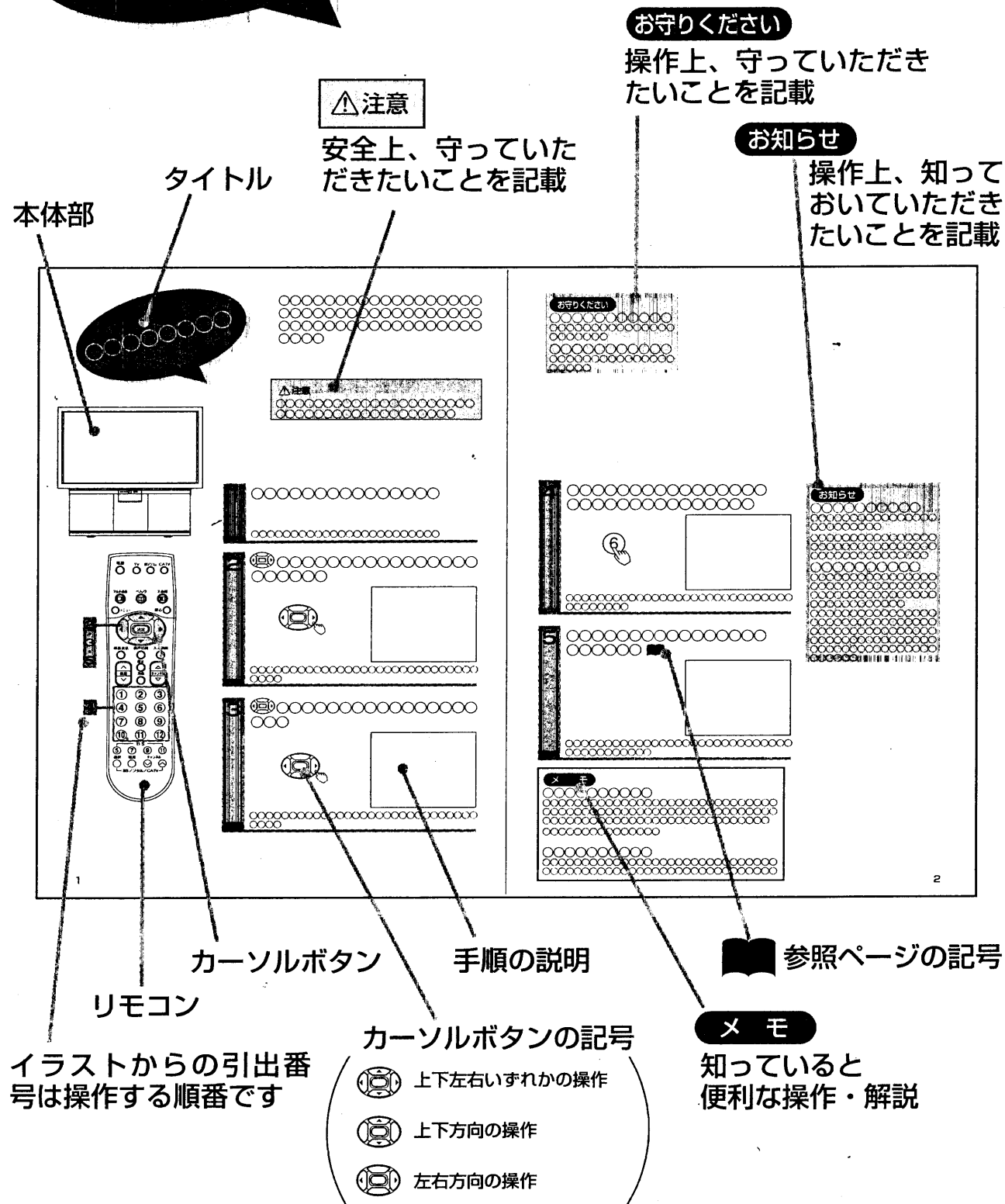


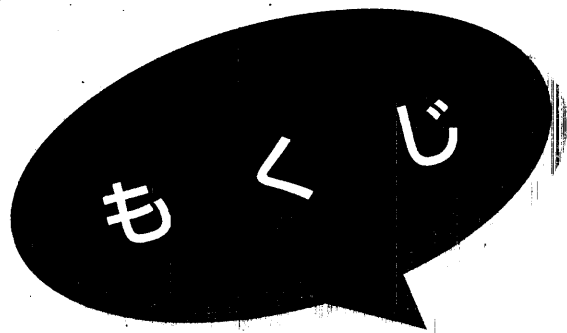
中継接栓 72

取扱説明書(本書)……1冊

本書の見かた

この説明書は、ほとんどが1ページまたは2ページ
の見開きで見えるようになっています。
(※違うパターンもありますが、基本的には同じ説
明方法です。)





はじめに

特長	2
付属品について	2
本書の見かた	3
もくじ	4
使用上のご注意	6
安全上のご注意	6
お守りください	11
お知らせ	11
衛星放送、ワイドクリアビジョン放送について	12
衛星放送のチャンネル	12
WOWOW、セント・ギガについて	12
ハイビジョン放送について	12
ワイドクリアビジョン放送について	12
BSデジタル放送について	12
お使いになる前の準備	13
各部のなまえ	14
リモコン	14
本体前面	15
本体後面	16
リモコンの取り扱い	17

基本の使いかた

テレビ放送・衛星放送を見たいとき	18
べんり機能の使いかた	20
べんり機能の項目の選びかた	20
べんり機能で設定できる項目について	20
メニュー機能の使いかた	21
メニュー項目の選びかた	21
ワイド機能を楽しみたいとき	22
ワイドモードの選びかた	22
オートワイドの効果	23
その他のワイドモードについて	24
画面位置を調整したいとき	25

ゴースト妨害を低減したいとき	26
(ゴーストリダクション)	
ゴースト妨害とは	26
ゴーストを低減したいとき	27
音を一時的に消したいとき	28
チャンネル番号を知りたいとき	29
画面表示	29
ビデオを見たいとき	30
音声内容の選びかた	31
二重音声放送のとき	31
ステレオ放送のとき	31
衛星放送の独立音声を聞きたいとき	32
本体で操作したいとき	33

映像・音声の設定

映像の自動調整モードを選びたいとき	34
映像モードの選びかた	34
映像設定をしたいとき	35
明るさ、黒レベルなどの設定	35
さらにお好みの映像設定をしたいとき	36
(3次元Y/C、ライン補間、黒補正、LTI、CTI、DSB)	
音声設定をしたいとき	37
(高音、低音、バランス)	
さらにお好みの音声設定をしたいとき	38
(FOCUS、サラウンド、ステレオミュート、ミュート音量、ヘッドホン音量)	

多機能の使いかた

マルチ画面を楽しみたいとき	40
マルチ画面モードについて	40
2画面を楽しみたいとき	40
4画面を楽しみたいとき	42
静止画にしたいとき	44
自動的に電源を切りたいとき	45
他の設定を変えたいとき	46
(オートワイド設定)	
他の外部機器と接続したいとき	47
接続できる機器	47

外部機器を接続するときに便利な設定	48
コントロール モニター出力、入力機出、ゲームモードの設定	48
コンポーネントの設定	50
入力スキップの設定	51
BSチューナー内蔵のビデオとの接続	52
BSチューナー内蔵でないビデオとの接続	53
日立のAV-BUS端子付ビデオとの接続	54
日立のAVコントロール端子付ビデオとの接続	54
ビデオカメラとの接続	55
ビデオディスクプレーヤーとの接続	55
画面を見ながらテープ編集をする場合の接続	56
DVDプレーヤーとの接続	57
BSデコーダーとの接続	58
MUSE-NTSCコンバーターとの接続	60
MUSEデコーダーとの接続	61
BSデジタルチューナーとの接続	62
CATVホームターミナルとの接続	64
オーディオ機器との接続	66
将来発売予定機器との接続	66
ゲーム機との接続	67
ゲームモードについて	67

ビデオで衛星放送を録画するには	68
見ている衛星放送を録画したいとき	68
衛星放送を録画しながらテレビ放送を見たいとき	69
1番組のタイマー録画をしたいとき(留守録)	70
日立のAV-BUS端子付ビデオで 衛星放送を録画したいとき	71

設置

アンテナ線の接続	72
VHF/UHFアンテナ線の接続	72
VHF/UHFアンテナが混合のとき	72
VHF/UHFどちらか一方のとき	72
VHF/UHFアンテナが独立のとき	72
BSが混合のとき	72
アンテナアダプターと同軸ケーブルの接続	73
F形接栓(別売り)の接続	73
UHFフィーダーの接続	73
フェライトコアの使いかた	73
きれいな映像を楽しむために	73
アッテネーターについて	73
BSアンテナ線を接続するには	74
受信設定について	76

チャンネルの合わせかた(地域番号)	76
チャンネルの合わせかた(マニュアル)	84
10キー方式にかえる場合	86
微調する場合	87
ゴースト妨害を低減したいとき (ゴーストリダクション)	88
デコーダーの入力設定について (オート、BS入力、V2(ビデオ2)、V4(ビデオ4))	90
空きチャンネルを飛び越し選局したいとき	92
受信モードの設定について	93
性能の維持について	94
エアフィルターを掃除するには	94
ランプ交換について	96
ランプの使用時間を確認するには	99
据え付けるときのご注意	100
転倒防止について	101

ご参考

メニュー階層図	102
故障かな?と思ったら	103
表示インジケータが点灯または点滅したときの処置について	105
保証とアフターサービス(必ずご覧ください)	106
お客様ご相談窓口	107
用語解説	108
索引	110
仕様	裏表紙

使用上のご注意

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用のまえに

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味



気をつけなければならない。「注意」を示します。



感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。



してはいけない。「禁止」を示します。



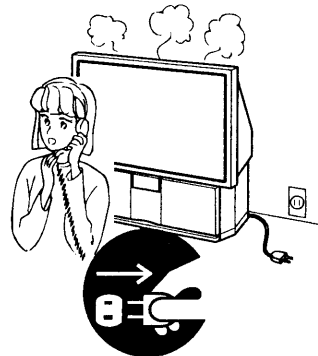
必ず行う。「強制」を示します。

1. 安全上のご注意



警告

■ 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

- 煙が出ている、へんな臭いや音がする
- 画が乱れる・映らない、音がでない
- 本機の内部に異物(水、金属など)が入ったなど

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

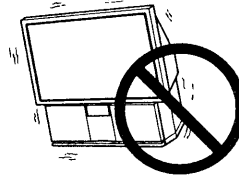
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

設置をするとき



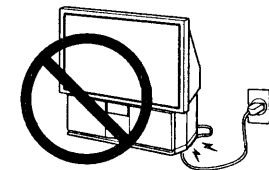
警告

■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■ 電源コードが本機の下敷にならないようにしてください

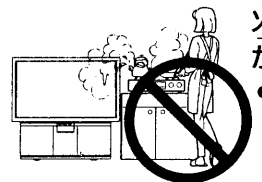


コードに傷がついて火災・感電の原因となります。



注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

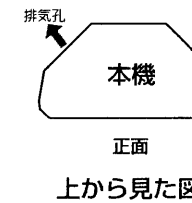
- 調理台や加湿器のそばなど

■ 通風孔をふさがないでください



通風孔をふさぐと熱がこもり、火災の原因となることがあります。通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。特につぎのような使い方はしないでください。

- 本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。
- ラック、箱のような狭いところに入れない。



正面
上から見た図

左後面の排気孔からは温風がでます。物を近づけないでください。

■ 持ち運ぶときは衝撃を与えたり、落とさないでください



火災・感電・けがの原因となることがあります。

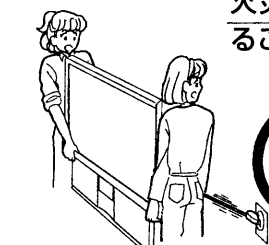
- 持ち運びは必ず2人以上で行ってください。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるようテレビを据え付けてください



本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させないでください



火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ キャスター(車)止めをしてください



テレビやテレビ台にキャスター(車)がついている場合は、キャスター止めをしてください。テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

■ 大形テレビは転倒防止の処置を行ってください



テレビが倒れると、けがの原因となることがあります。

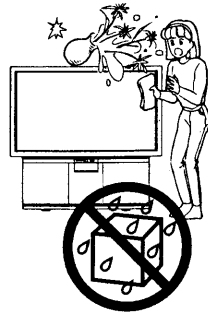
■ アンテナ工事には技術と経験が必要です。販売店にご相談ください



- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- 特にBS、CS放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

警告

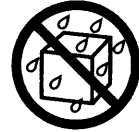
■ 本機の上に花びんなどを置かないでください



本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。
万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
●花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かないでください。

水ぬれ禁止

■ 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

■ 風呂場やシャワー室で使用しないでください

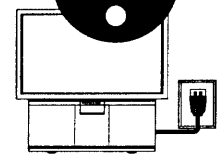


風呂場やシャワー室での使用禁止

■ 指定の電源電圧でご使用ください



本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。



■ 異物を入れないでください



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりすると、火災・感電の原因となります。
万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。特にお子様にはご注意ください。

■ 裏ぶたやカバーをはずしたり、改造しないでください



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

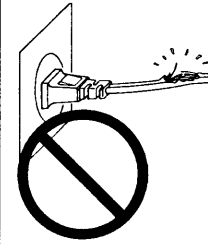
分解禁止

■ 電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除いてください



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

■ 電源コードを傷つけないでください



火災・感電の原因となります。傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。
●傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしないでください。

■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れないでください



感電の原因となります。

■ 衝撃を与えないでください



万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



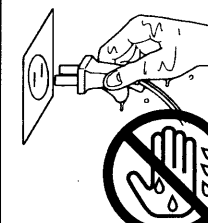
差し込みが不完全ですと発熱したりして火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。

■ 電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まないでください



発熱して火災の原因となります。ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

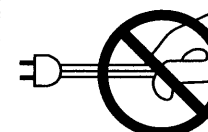
■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください



電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となります。

■ 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 本機の上に重いものを置かないでください



倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■ 間違った電池の使い方をしないでください

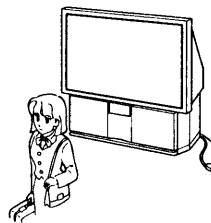


電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

特に、次の使い方はしないでください。

- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きでの電池の使用

■ 長期間で使用にならないときは必ず電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

使用するとき (つづき)

⚠ 注意

■ ランプの取りはずしは、動作中や電源を切ってからすぐには行わないでください



ランプが熱く火災・やけどの原因となることがあります。
ランプの交換は、ランプが冷えるまで約45分以上待ってから取りはずしてください。

■ 使用していたランプを取り出すと内部が熱くなっているため、取り扱いにより火災・けがの原因となることがあります



- ・ ランプには水をかけないでください。
- ・ ランプ内部に異物を入れないでください。
- ・ ランプをお子様の手の届くところに置かないでください。
- ・ ランプを燃えやすい物の近くに置かないでください。

■ ランプユニットを取り出した後、ランプ収納部に金属類や燃えやすい物など異物を入れないでください

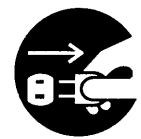


火災・感電の原因となることがあります。

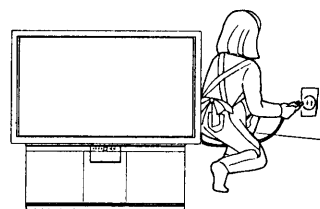
お手入れするとき

⚠ 注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと



■ 年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



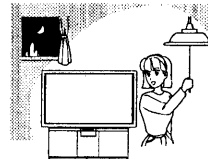
本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

2. お守りください

■ 高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。
特に夏場の閉めきった室内で直射日光が当たる場所や熱器具の近くの場所などにテレビを設置しますと、高温によりキャビネットが変形し、画面ゆがみなどの原因となることがあります。

■ お部屋は適度の明るさで



暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

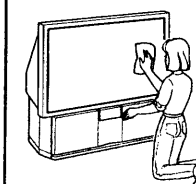
■ 長時間連続してテレビを見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたり、ヘッドホンを使用したりして、隣り近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。

■ スクリーンのお手入れについて



本機のスクリーン表面は、柔らかい布(綿・ネル)で軽く乾拭きしてください。
硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、スクリーンの表面が傷付きますのでご注意ください。

指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、絞って拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

■ キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。
・ アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

3. お知らせ

■ ご覧になる位置は

個人差はありますが、近すぎると目が疲れやすくなりますので、約2m以上離れた場所でご覧になることをお勧めします。

■ アンテナの点検・交換について



アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

衛星放送、ワイドクリアビジョン放送について

衛星放送は、放送用人工衛星から発したテレビ電波を、地上の小型アンテナで直接受信できるシステムです。衛星放送を受信するには、BSアンテナが必要です。

衛星放送のチャンネル

現在BSで放送されているチャンネルは次のとおりです。(2000年9月現在)

WOWOW〔日本衛星放送(株)〕、セント・ギガ〔衛星デジタル音楽放送(株)〕は有料です。

BS放送	
BS-5	WOWOW、セント・ギガ
BS-7	NHK衛星第1
BS-9	ハイビジョン試験放送
BS-11	NHK衛星第2

WOWOW、セント・ギガについて

BS-5チャンネル(WOWOW、セント・ギガ)の番組は、受信契約していない方が視聴できないように信号をかく乱(スクランブル化)して放送されています。視聴するには、各々の放送局と受信契約を行ってスクランブルを正常な状態に戻すデコーダー(解読器)を接続する必要があります。すでにWOWOWの受信契約をされている方は、追加料金を支払うだけでセント・ギガが視聴できます。受信契約については、代理店(主に、電器店)にご相談ください。有料放送であってもスクランブル化しないで放送されている番組は、デコーダーがなくても視聴できます。

ハイビジョン放送について

ハイビジョンは、高精細度テレビ(High Definition TV)とも呼ばれ、BS-9チャンネルで試験放送されています。別売りのMUSEデコーダー、またはMUSE-NTSCコンバーターを接続することにより、ハイビジョン番組をお楽しみいただけます。

ワイドクリアビジョン放送について

ワイドクリアビジョン放送は、現行放送と両立性を保ちながら、放送信号にワイドクリアビジョン放送識別信号と画質向上信号を付加し、ワイド画面化と画質向上を図ろうとする放送方式です。

●本機はワイドクリアビジョン放送識別信号に対応して、現行放送かワイドクリアビジョン放送かを識別し、ワイドクリアビジョン放送であれば自動的に最適サイズに切り換える回路を搭載しています。23

BSデジタル放送について

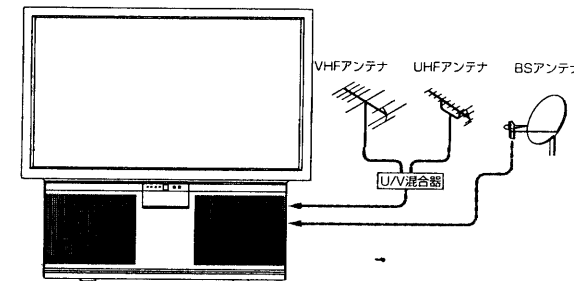
BS(放送衛星)を利用して2000年12月に本放送開始予定のデジタル放送です。BSデジタル放送は、高精細度テレビジョン放送(デジタルハイビジョン放送)を中心としたサービス、さらに各種データ放送、デジタル音声および双方向サービスなど多種多様なサービスが計画されています。BSデジタル放送をお楽しみいただくには、別途BSデジタルチューナーが必要です。

お使いになる前の準備

●衛星放送、ワイドクリアビジョン放送について
お使いになる前の準備

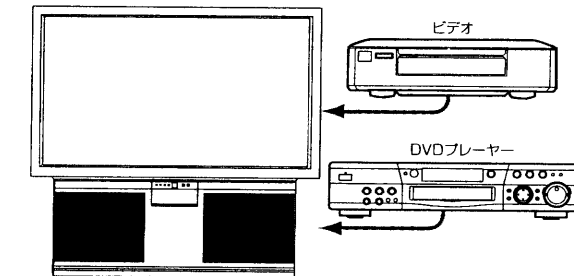
1 アンテナ線をつなぐ 72 ~ 75

△注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。



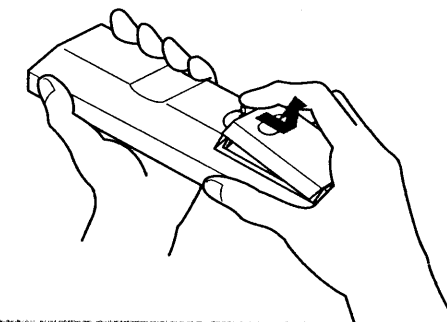
2 お手持ちの機器をつなぐ 47 ~ 67

後面部の豊富な端子群をフルにご活用ください。



3 リモコンに乾電池を入れる 17

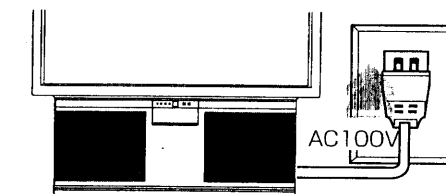
付属の単3形乾電池をリモコンに入れます。



4 電源プラグをコンセントに差し込む

△警告
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

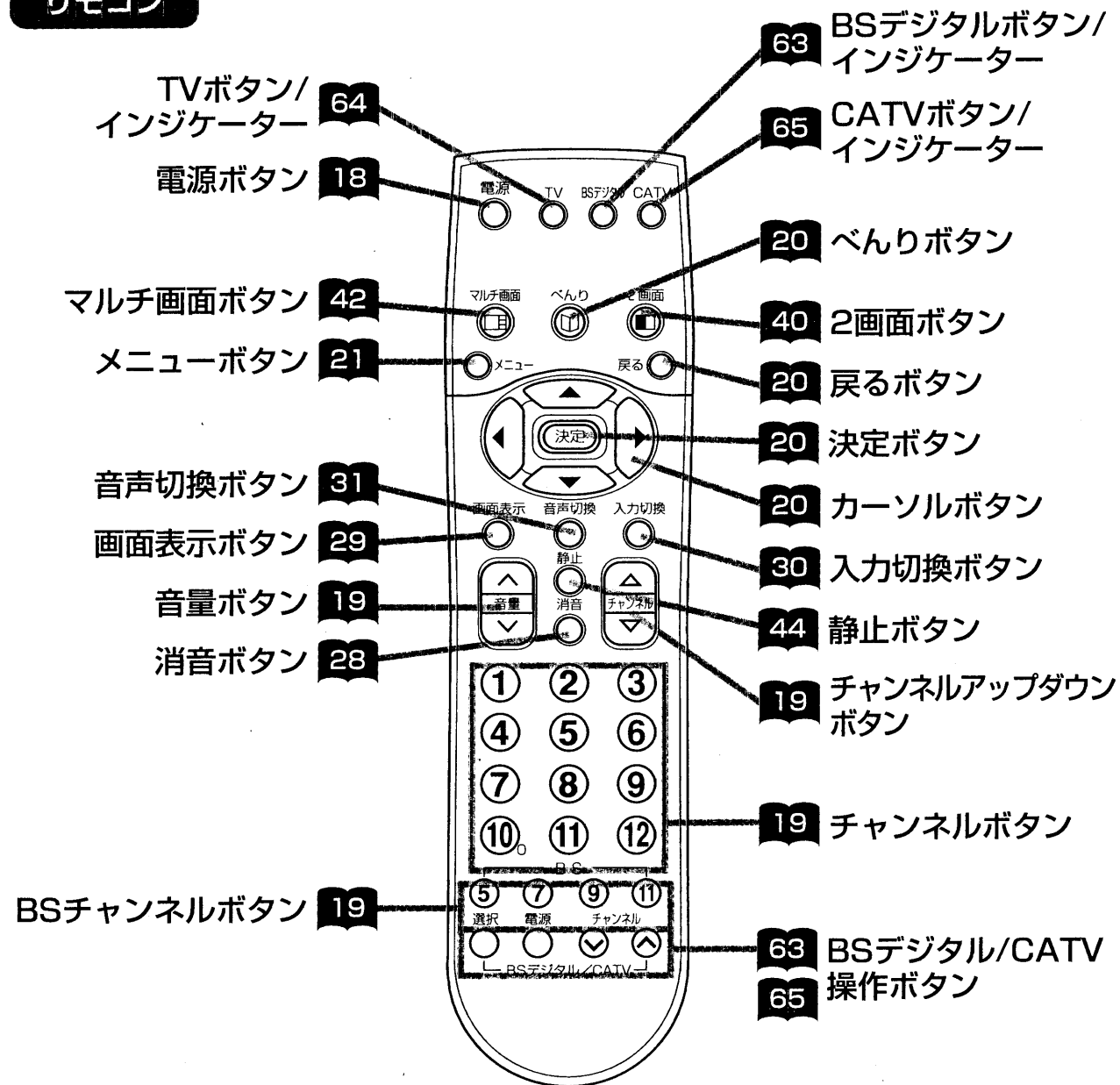
△注意
旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



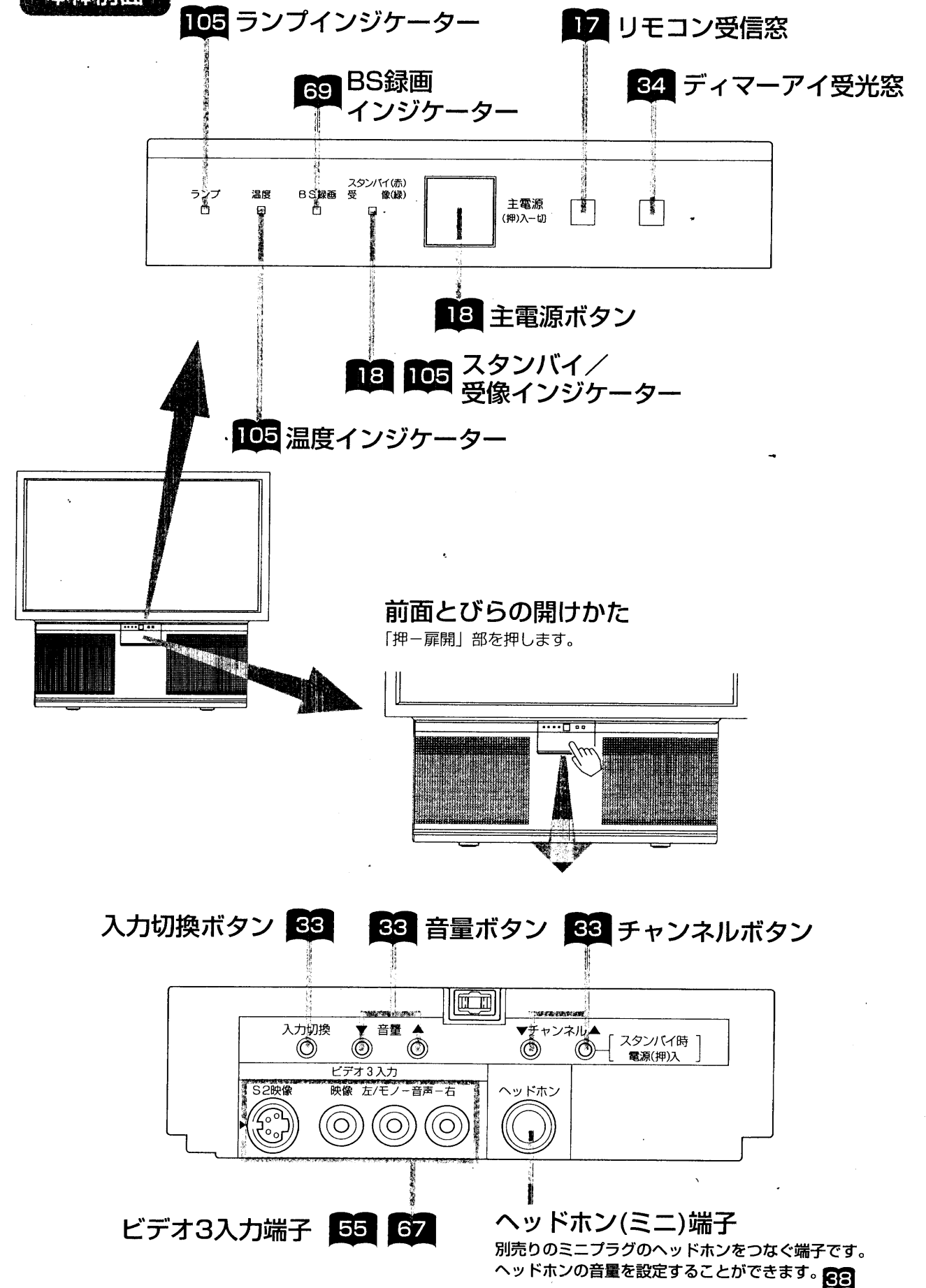
各部のなまえ

内の数字は、参照ページです。

リモコン



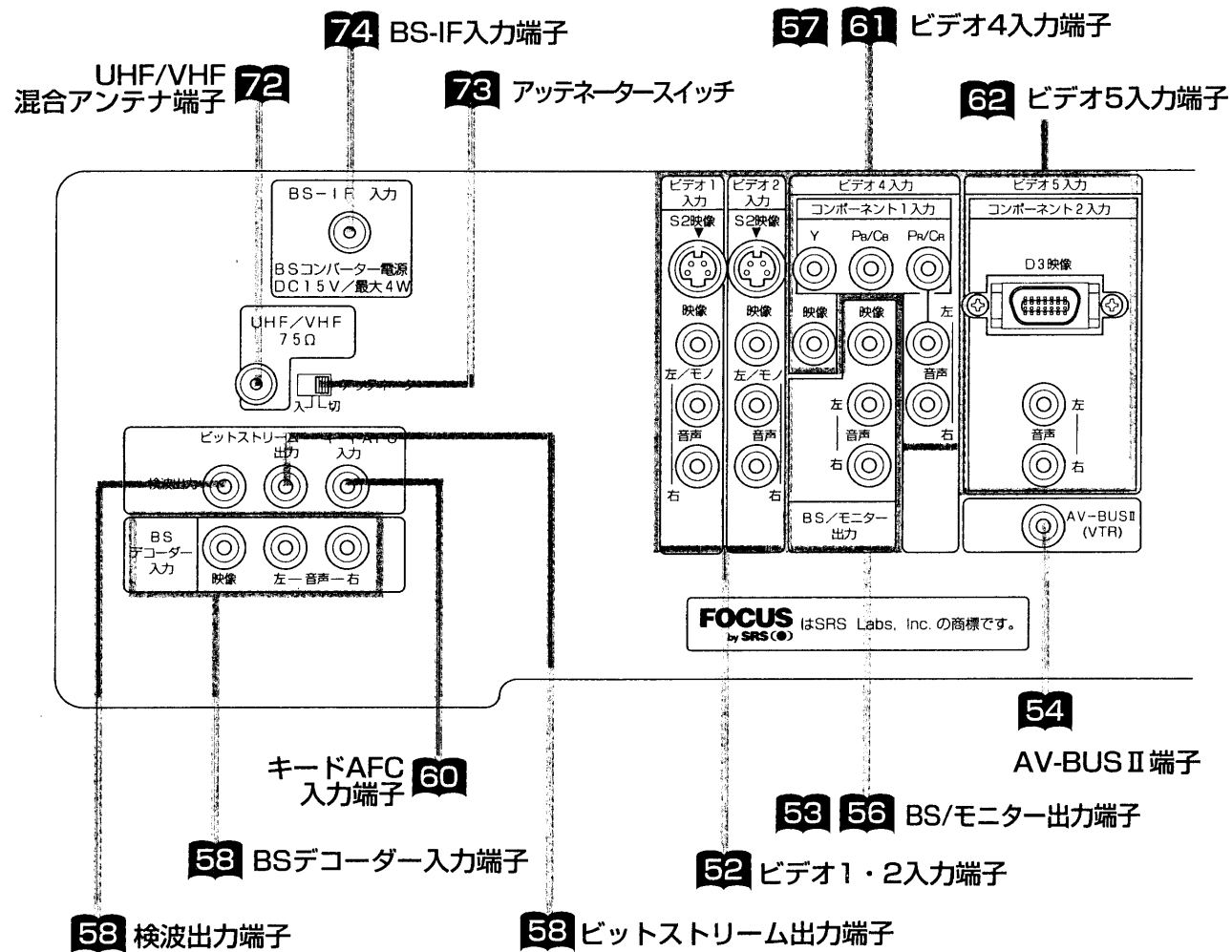
本体前面



各部のなまえ

各部のなまえ (つづき)

本体後面



※BSコンバーター電源は、メニュー画面の「初期設定」、「BS設定」で設定します。詳しくは **74** をご覧ください。

将来発売予定機器との接続

テレビ関連機器の中には、現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使い方など、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

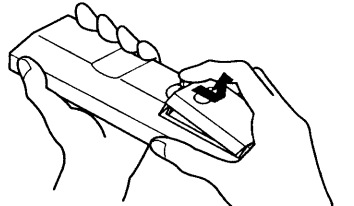
リモコンの取り扱い

お守りください リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

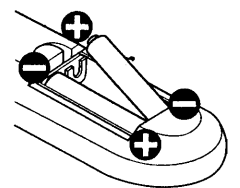
1 電池ぶたをはずす

電池ぶたのつまみを引き寄せながら、矢印の方向に引いて開けます。



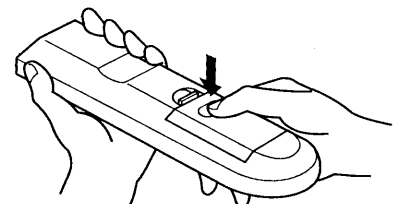
2 乾電池を入れる

付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

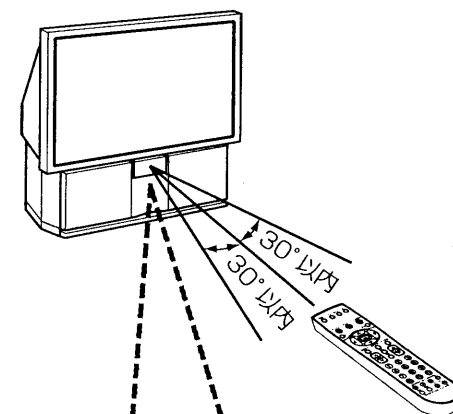


3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押し戻します。



- リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。
- CATVホームターミナルや日立製BSデジタルチューナーを操作するときは、CATVホームターミナルまたはBSデジタルチューナーのリモコン受信窓に向けてボタンを押してください。 **62 64**

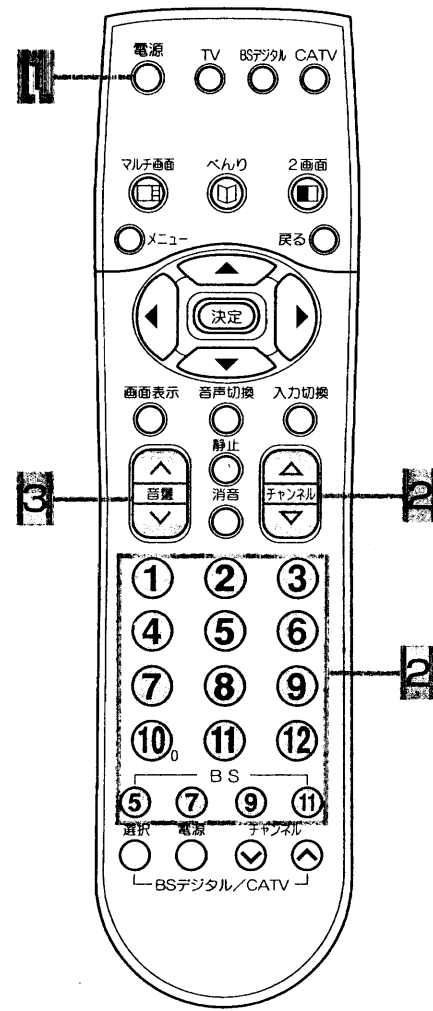


△注意

乾電池の使用上のご注意

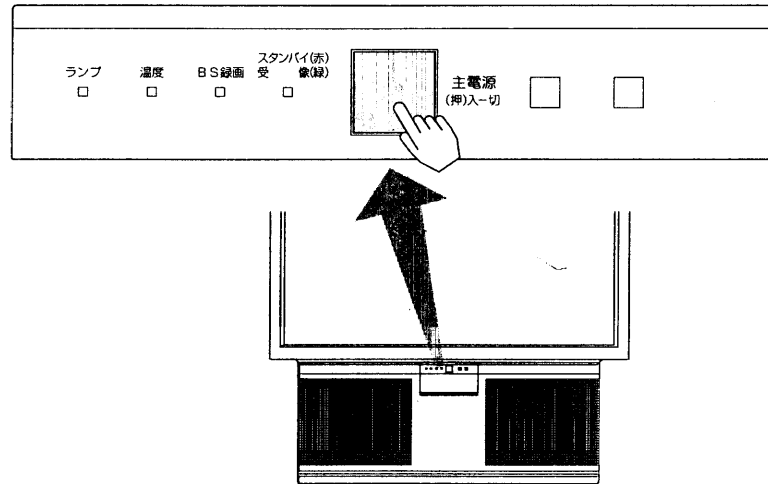
- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえすと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

テレビ放送・衛星放送
を見たいとき



準備 (主電源ボタン操作)

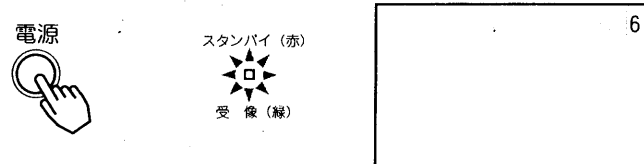
本体のスタンバイ/受像インジケータが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まず本体の主電源ボタンを押してください。



本機は映像を映し出すために光源ランプを使用しています。
電源を「入」にしたとき、光源ランプの点灯準備のため、ウォームアップ状態となります。(最大約90秒)
(このときスタンバイ/受像インジケータが緑色に点滅します。)
しばらくお待ちください。

リモコンの電源ボタンを押す

本体のスタンバイ/受像インジケータが緑で点滅し、光源ランプを点灯するためのウォームアップ状態になります。その後緑の点灯に変わり、前に見ていたチャンネルが現れます。
このときに「ジー」という光源ランプの起動音が出ますが故障ではありません。
電源を切るときは、もう一度押します。
スタンバイ/受像インジケータが赤で点滅し、クールダウン状態となります。約2分後赤の点灯に変わり、スタンバイ状態となります。



お守りください

主電源ボタンまたは電源プラグを抜いて電源を「切」にする場合のご注意

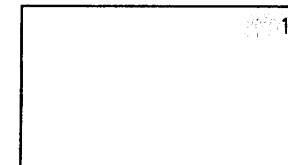
本機は電源が「入」の状態、またはクールダウン中に本体の主電源ボタン「切」にしたり、電源プラグを抜いて電源を切ると、内部の温度が下がらないために、ランプなどが劣化する場合があります。
主電源ボタン、または電源プラグを抜いて電源を「切」にする場合は、リモコンで電源を「切」にし、スタンバイ状態(スタンバイ/受像インジケータが赤で点灯)となってから行ってください。
通常時はリモコンで電源を「切」にすることをおすすめします。

動作中に停電になったときのご注意

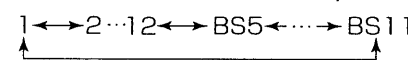
テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときは本体の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

2 チャンネルを選ぶ (1~12, BS5~BS11)

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示を消すこともできます。 **26**

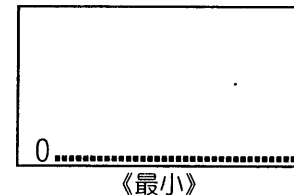
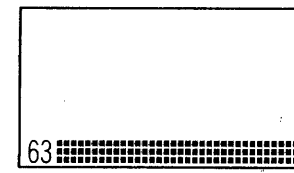


チャンネルアップダウンボタン を使ってチャンネルを選ぶこともできます。
ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。
(お買い上げ時)



3 音量を調節する

音量の大きさが数字と で画面に表示されます。



マルチ画面を見たいとき

リモコンの2画面とマルチ画面ボタンで、お好みのマルチ画面を見ることができます。 **40 42**

メモ

リモコンの操作は

スタンバイ/受像インジケータが点滅または点滅しているときにのみ、リモコンの操作は可能です。
リモコンの電源ボタンを押して電源を切っておくと、電源の「入・切」もリモコンでできます。

お買い上げ時の時のチャンネル設定

- お買い上げ時は、VHF1~12チャンネルの12局とBSチャンネル5,7,9,11の4局が設定されています。 **76, 84**
チャンネルの設定を変更することもできます。
- 空きチャンネルの飛び越し選局 **92** の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルをすばやく選局することができます。

本体操作で電源を入れるには

スタンバイ/受像インジケータが赤く点滅または点滅しているときに、本体のチャンネル▲ボタンを押すと電源が入ります。 **83**

クールダウンについて

本機は内部の温度を下げるために、冷却ファンを内蔵しています。リモコンで電源を「切」にすると、クールダウン状態となり、約2分間ファンは動作を続けます。このときスタンバイ/受像インジケータは赤で点滅します。約2分後に自動的にファンは停止して、スタンバイ/受像インジケータが赤の点灯に変わりスタンバイ状態となります。

ウォームアップについて

本機は電源を「入」にすると、光源ランプを点灯する準備としてウォームアップ状態となります。このとき、スタンバイ/受像インジケータが緑で点滅します。しばらくすると、スタンバイ/受像インジケータが緑の点灯に変わり、前に見ていたチャンネルが現れます。

べんり機能の 使いかた

べんり機能を使うと見ている画面に応じてお好みの設定にすることができます。
これらの設定項目は上下左右方向に矢印(▲)のついたカーソルボタンを使って機能の設定ができます。

べんり機能の項目の選びかた

1 **べんりボタンを押す**
べんり画面が現れます。
もう一度べんりボタンを押すと、次の設定画面を表示します。
次のページがないときは設定画面が消えます。

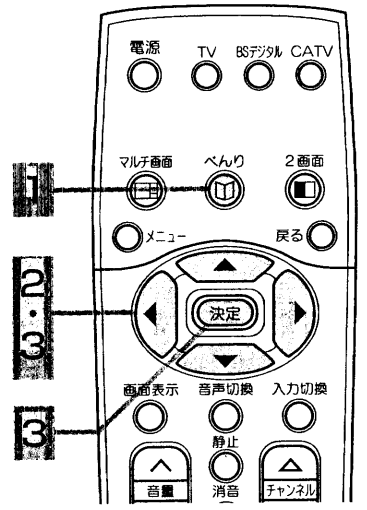
2 **カーソルボタンで項目を選び、決定ボタンで設定する**

映像モード: スーパー
FOCUS: 入
GRT: 入1
オフタイマー: 切
次へ 終了
↑で選んで ↓で設定

3 **設定が終わったら、カーソルボタンで「終了」を選び、決定ボタンを押す**

映像モード: ナチュラル
FOCUS: 入
GRT: 入1
オフタイマー: 切
次へ 終了
↑で選んで ↓で設定

べんりボタンを1~2回押ししても、設定画面が消えます。
「次へ」の表示があるときは、「次へ」を選んで決定ボタンを押すと、次のページが表示されます。
「戻る」の表示があるときは、「戻る」を選んで決定ボタンを押すと前のページが表示されます。



メモ
リモコンの戻るボタンについて
べんり機能やメニュー 21 の設定画面のとき戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

べんり機能で設定できる項目について.....

- 通常のテレビ・ビデオ画面 (1ページ目)
- 映像の自動調整モード (映像モード) を選ぶことができます。メニュー画面の「映像設定」で設定することもできます。 **34**
 - 音声のFOCUS機能を入/切することができます。 **35**
 - 地上放送のゴースト妨害を低減することができます。メニュー画面の「GRT設定」で設定することもできます。 **88**
 - 自動的にテレビの電源を切ることができます。 **45**

- 通常のテレビ・ビデオ画面 (2ページ目)
- 画面のワイドモードを選ぶことができます。オートワイドを選ぶこともできます。 **22**
 - 画面の位置を上下に移動することができます。 **25**
 - 音声のサラウンドモードを設定することができます。 **39**
 - 衛星放送のチャンネルを固定すると1番組のタイマー録画ができます。 **69**
 - 衛星放送の独立音声を聞くことができます。 **32**

メニュー機能の 使いかた

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って、ほとんどの機能の設定ができます。

メニュー項目の選びかた

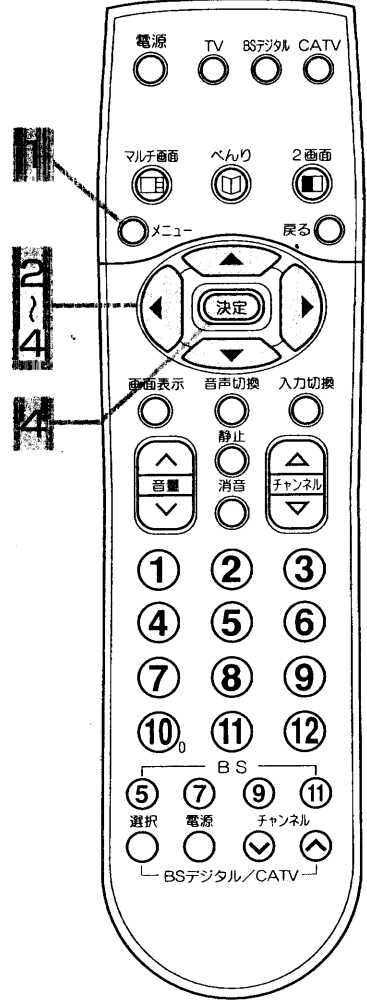
1 **メニューボタンを押す**
〈メニュー〉画面が現れます。

2 **カーソルボタンで項目を選び、決定ボタンを押す**
選んだところが水色になります。
設定画面が現れます。
(画面表示を消すときは、メニューボタンを押します。)

3 **カーソルボタンで設定する**
カーソルボタンで項目を選んで、決定ボタンで設定 (または選択、調節) します。
〈映像設定を選んだときの設定画面表示の例〉

4 **設定が終わったら、カーソルボタンで「終了」を選び、決定ボタンを押す**

「戻る」を選んだときは、ひとつ前の画面に戻ります。
画面表示が消えて、設定が完了します。メニューボタンを2回押ししても、画面表示が消えます。



メモ
リモコンの戻るボタンについて
戻るボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ることができます。

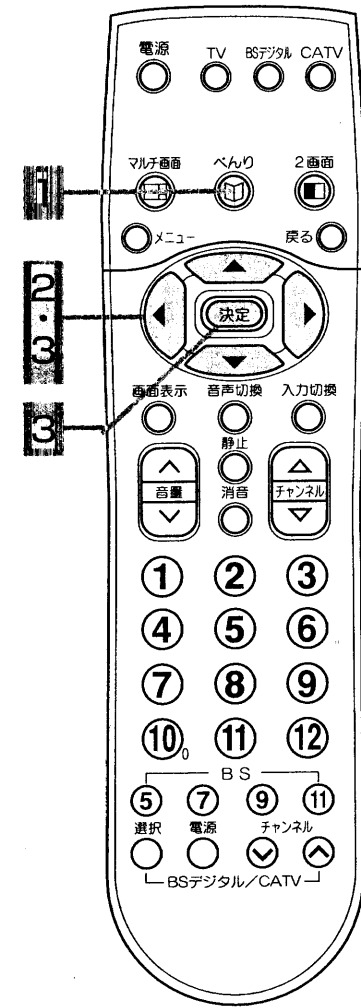
基本の使いかた
●べんり機能の使いかた
●メニュー機能の使いかた

ワイド機能を楽しみたいとき

本機は横長のワイド画面を採用していますので、現行テレビ放送の映像も、映画など横長サイズの映像も、ワイド機能を使って画面一杯に拡大してお楽しみいただけます。さらに映像を上下に移動させて見やすい位置にすることもできます。

オートワイド (ジャスピタツワイド)

本機は、見ている映像に合わせて最適なワイドモードを設定する「オートワイド (ジャスピタツワイド)」機能を採用しています。また、お好みに合わせてワイドモードを選ぶこともできます。



ワイドモードの選びかた

1. べんりボタンを2回押す

べんり機能の設定画面 (2ページ目) が表示されます。

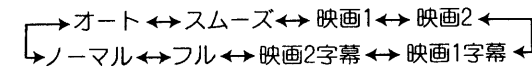


2. [ワイド切換] を選び、[ワイドモード] を設定する



ワイド切換	スムーズ
画面位置	0
サラウンド	入
BSSch固定	入 (BS11)
TV/独立	TV
戻る	終了
☺で選んで ☺で設定	

[ワイド切換] を押すたびにワイドモードは次のようになります。(コンポーネント入力時は、オートは選択できません。)



お買い上げ時は、オート (オートワイド) が設定されています。通常はオートでお使いください。

3. [終了] を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを押して表示を消すこともできます。



メモ
オート以外のワイドモードに設定した場合は、電源「入」「切」、チャンネル切り換えなどの操作により、ワイドモードが初期化されます。オートワイド設定 46 で設定されているワイドモード (スムーズまたはノーマル) に戻ります。

お知らせ

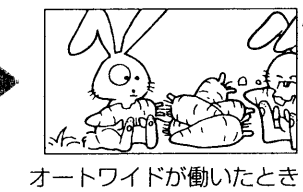
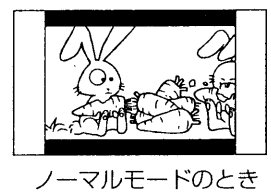
- 通常の4:3の映像を見ているときにオートワイドが動くと、「他の設定」の「オートワイド設定」が「スムーズ」に設定されている場合は、画面一杯にスムーズサイズで表示します。「オートワイド設定」が「ノーマル」の設定になっている場合は、ノーマルサイズで表示します。46
- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選びますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。

- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来 (通常) の4:3の映像をオートまたはスムーズモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
- 本機は、フルモード制御信号またはレターボックス制御信号の入った映像がビデオ1~3のS2映像入力に入力されると自動的にワイド画面一杯に表示します。

オートワイドの効果

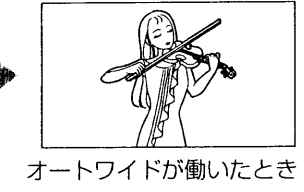
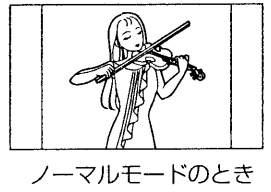
見ている映像が上下に黒い帯の入った横長サイズの映像のとき

横長サイズの映像を画面のサイズ、画面の中心位置を最適にして上下の黒帯を最小になるように表示します。また、字幕などの文字を最適に再生できます。



見ている映像が通常の映像のとき

通常の4:3の映像を横方向に不自然にならないように拡大し、垂直方向にも10%拡大してワイド画面一杯に違和感なく表示します。



- メモ**
- ### オートワイドについて
- 映像のサイズによっては上下に黒い帯が残る場合があります。
 - 暗い映像の画面などでは、最適なワイドモードにならない場合があります。このような場合は、「オート」モード以外のお好みのワイドモードに設定してください。
 - 最適なワイドモードになるまで、映像の内容によって多少時間がかかる場合があります。

- ### コンポーネント入力時のワイドモードについて
- コンポーネント入力端子に525p (480p) または1125i (1080i) 信号を入力したときは自動的にフルモードになります。
 - ビデオ5のコンポーネント2入力端子 (D3映像) に525i (480i) 信号を入力したときは、アスペクト比制御信号を検出して、自動的にワイドモードを切り換えます。
 - コンポーネント入力時はオートワイドは選択できません。
 - コンポーネント入力端子に1125i (1080i) 信号を入力したときはワイド切り換えはできません。

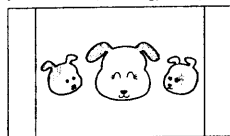
- ### ワイドクリアビジョン放送識別について
- ワイドクリアビジョン放送は、現行の放送方式と両立性を保ちながら、放送信号にワイドクリアビジョン放送識別信号と画質向上信号を付加し、ワイド画面化と画質向上を図ろうとする放送方式です。本機は上記ワイドクリアビジョン放送識別信号に対応して、現行方式がワイドクリアビジョン放送かを識別し、ワイドクリアビジョン放送であれば自動的に最適サイズに切り換える回路を搭載しています。
 - ワイドクリアビジョン放送識別は「オート」モード時のみ有効です。
 - ワイドクリアビジョン放送受信中に画面表示ボタンを押したとき、またはチャンネル切り換え、入力切り換えをしてワイドクリアビジョン放送を受信したときは [21] が表示されます。
 - ワイドクリアビジョン放送をビデオに録画して再生する場合や電波受信状態 (ゴースト、弱電界など) によっては、ワイドクリアビジョン放送識別がうまく動作しない場合があります。このような場合は、「オート」モード以外のお好みのワイドモードに設定してください。

●ワイド機能を楽しみたいとき
基本の使いかた

ワイド機能を楽しみたいとき (つづき)

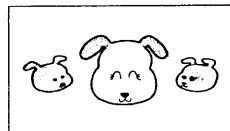
その他のワイドモードについて

ノーマル (通常の状態)



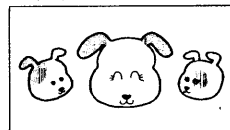
通常のテレビ放送の映像は中央に映ります。

スムーズ



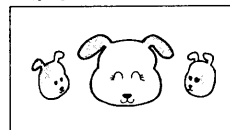
4:3の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向に不自然にならないように画面一杯にし、垂直方向に10%拡大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。

映画1



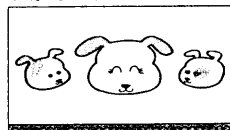
ビスタサイズの映画などを水平・垂直両方向に約30%拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。

映画2



シネスコサイズの映画などの両側を少し縮小し、画面一杯に拡大します。上下に黒い部分がなくなり迫力の画面で楽しめます。

映画1字幕



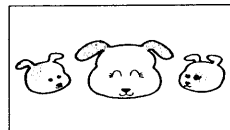
字幕付のビスタサイズの映像に最適です。

映画2字幕



字幕付のシネスコサイズの映像に最適です。
(お買い上げ時の画面位置は+10に設定されています。)

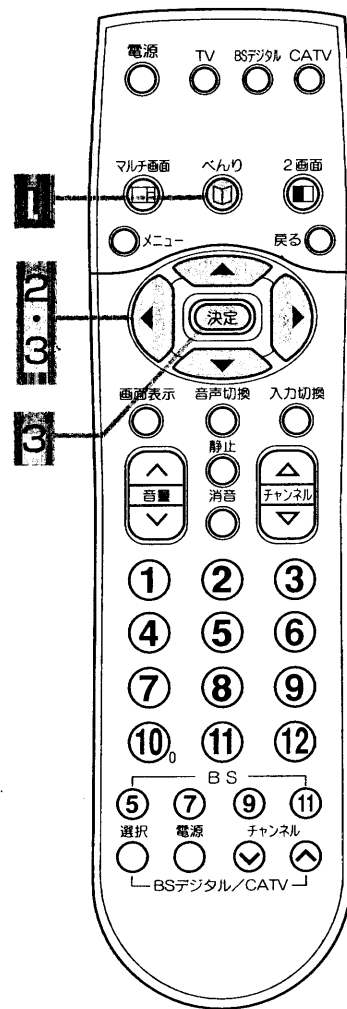
フル



横方向を圧縮して記録された映像 (スクィーズ映像) を横方向に画面一杯まで拡大します。
ハイビジョン番組をビデオに録画し、それを再生して楽しむときなどに使います。

画面位置を調整したいとき

「ノーマル」「フル」以外のワイドモード時は、画面を上下に移動することができます。「映画1」「映画2」モード時に字幕が消えてしまうようなときにお使いになると便利です。



べりりボタンを2回押す

べりり機能の設定画面 (2ページ目) が表示されます。



ベリリ	
ワイド切換	: スムーズ
画面位置	: 0
サラウンド	: 入
BSch固定	: 入 (BS11)
TV/独立	: TV
戻る	終了
↑	で選んで ↓
↓	で設定

2 「画面位置」を選び、で好みの位置に調節する



ベリリ	
ワイド切換	: スムーズ
画面位置	: 画面位置5
サラウンド	: 入
BSch固定	: 入 (BS11)
TV/独立	: TV
戻る	終了
↑	で選んで ↓
↓	で調節

スムーズ、映画1字幕は±12、映画1、映画2、映画2字幕は±31の範囲で画面位置調節ができます。



3 「終了」を選び、決定ボタンを押す

べりりボタンを押して表示画面を消すこともできます。



メモ **ワイド機能の上手な使いかた**

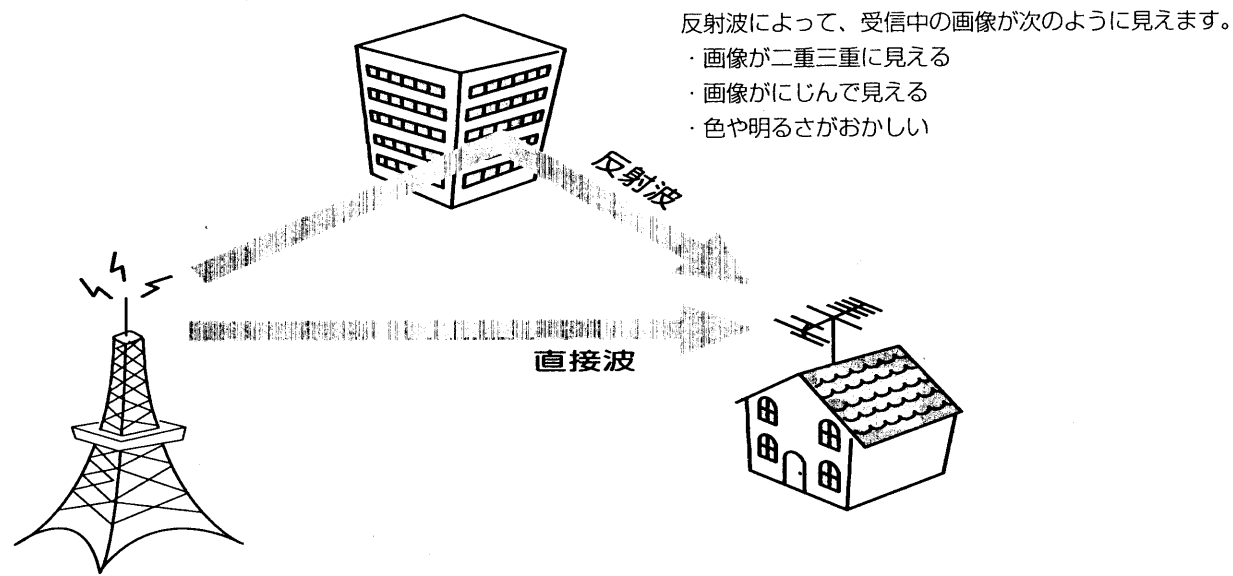
<p>通常のテレビ放送</p> <p>「ノーマル」 → 「スムーズ」にして楽しむ</p>	<p>上下に黒帯のある映像</p> <p>「ノーマル」 → 「映画1」または「映画2」にして楽しむ</p>
<p>上下に黒帯があり字幕のある映像</p> <p>「ノーマル」字幕部 → 「映画1字幕」または「映画2字幕」にして楽しむ</p>	<p>スクィーズ映像(横圧縮映像)</p> <p>「ノーマル」 → 「フル」にして楽しむ</p>

ゴースト妨害を低減したいとき (ゴーストリダクション)

本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー (GRT) を搭載しています。地上放送のゴースト妨害を低減した映像を楽しめます。

ゴースト妨害とは

放送局から直接到着する電波 (直接波) と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波 (反射波) を同時に受信すると、二重三重の画像になります。この現象をゴースト妨害といいます。

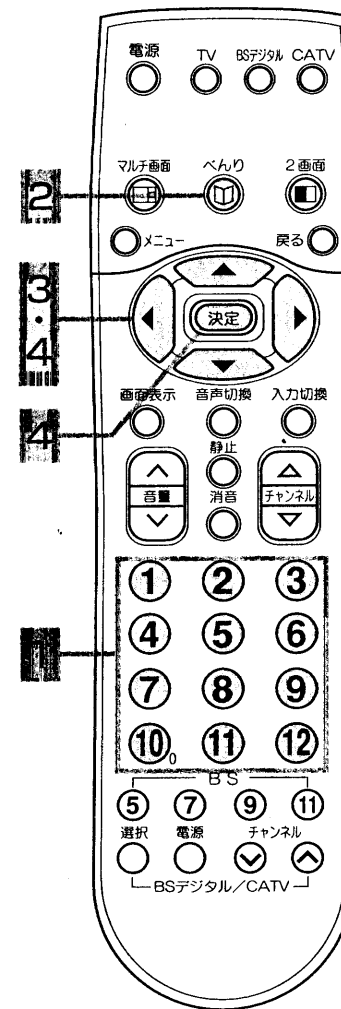


お知らせ

- ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号 (GCR信号) に基づいて行います。このGCR信号がないときは、ゴーストは低減できません。
- ゴーストリダクションは、地上放送をご覧になっているときに働きます。衛星放送やビデオ入力端子に入力した映像に対しては動きません。
- 地上放送をご覧になっているときでも、次のような場合はゴーストリダクションが働かなかったり、ゴーストが残ることがあります。
 - ・受信状態が良くないとき
UHF/VHFアンテナの向きが合っていない場合やアンテナ線の接続が正しくない場合など **72**
 - ・ゴースト妨害が大きいとき
 - ・飛行機など動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき
 - ・ゴーストの数が多いとき
- 付属のRFケーブルをUHF/VHF混合アンテナ端子に接続する場合は、フェライトコアを巻き付けて接続することをおすすめします (**73**をご覧ください)。よりきれいな信号を受信することができます。

ゴーストを低減したいとき

地上放送をご覧になっているとき、ゴーストが気になるときはGRT設定を行います。GRT設定は、地上放送の各チャンネルごとに設定することができます。複数のチャンネルのGRT設定をまとめて行いたいときは、メニュー画面で設定することもできます。 **88**



1 チャンネルボタンを押す

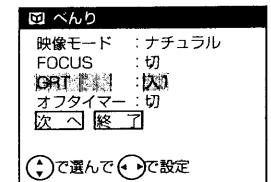
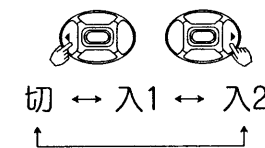
ゴーストが気になるチャンネルを選びます。



2 べんりボタンを押す



3 設定ボタンで「GRT」を選び、設定ボタンでお好みに設定する



- 「入1」 : 通常はこの位置で使用します。お買い上げ時は「入1」が設定されています。
- 「入2」 : 「入1」でゴースト低減の効果が小さいときに選びます。
- 「切」 : ゴーストリダクション機能は動きません。「入1」や「入2」のときよりも「切」のほうが見やすいときは「切」にしてください。

4 設定ボタンで「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを2回押して表示画面を消すこともできます。

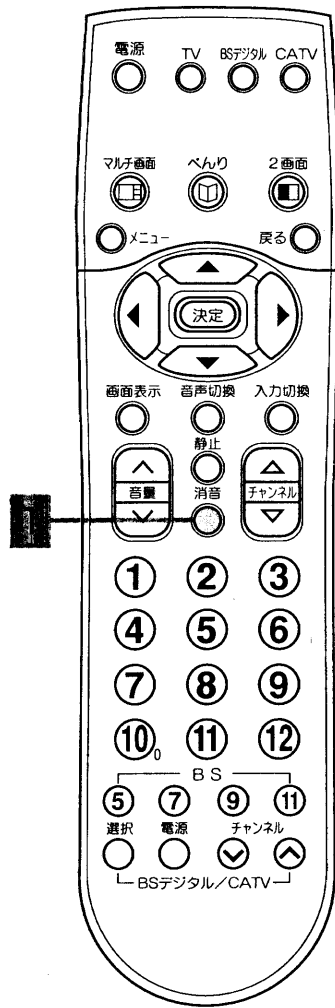


お知らせ

- ゴーストの無い地域では、GRT設定を「切」にしてお使いになることをおすすめします。
- ゴーストの状態によっては、「入1」または「入2」の設定でも、ゴーストが取り切れない場合があります。
- 衛星放送やビデオ入力端子から入力した画面を見ているときのGRT設定は「-」と表示され設定することができません。
- チャンネル合わせ (地域番号) で地域番号を変更したり **76**、チャンネル合わせ (マニュアル) でチャンネル設定を変更する **84** と、GRT設定は自動的に「入1」が設定されます。必要に応じてもう一度設定してください。
- ゴースト低減された信号をモニター出力端子から出力することはできません。
- ゴーストリダクション機能は、テレビの電源を入れたとき、またはテレビチャンネルを選んだときに働きます。
- ゴーストリダクション機能が働くときに画面がガタつくことがありますが、故障ではありません。
- VHF/UHFアンテナの設置や調整を行うときは、GRT設定を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。
- ビデオのアンテナ出力を1chまたは2chにしてテレビと接続しているときは、GRT設定を「切」にしてください。

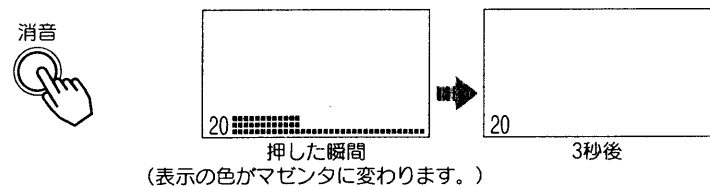
音を一時的に消したいとき

電話がかかってきたとき、来客のときなど便利です。



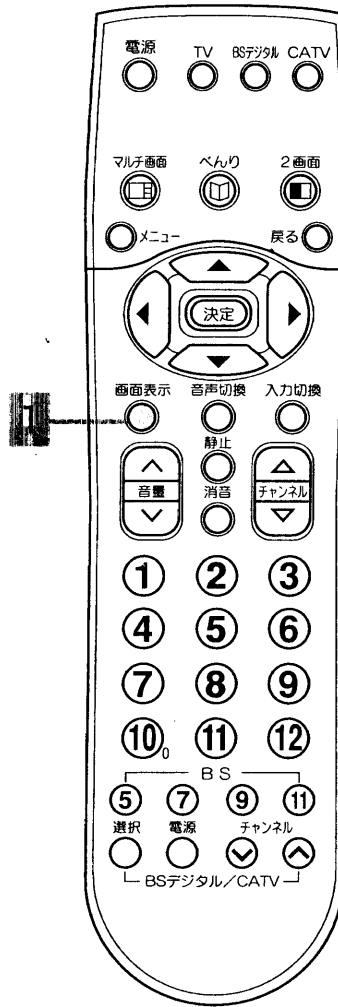
消音ボタンを押す

音が消えて、画面に図のような表示が出ます。もう一度押すともとの音量に戻ります。



メモ
 消音時でも小さな音を出しておきたいとき
 ●消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。
 ミュート音量の設定をしてください。 **28**
 ●消音にしたままでも音量 ボタンを押すことにより、音量の設定を変えることができます。音を出すときは、もう一度消音ボタンを押すか、音量 ボタンを押してください。

チャンネル番号などを知りたいとき



画面表示ボタンを押す

ご覧のチャンネルの番号が画面に表示されます。表示を消すときは、もう一度押します。



マークについて

このマークは、ワイドクリアビジョン放送を識別した際に出るマークです。



画面表示について

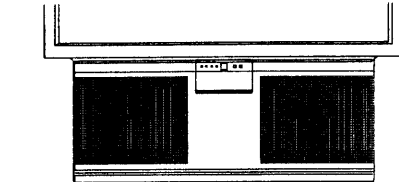
●テレビ放送のとき	●衛星放送のとき	●ビデオのとき
4 モノラル放送時 (緑で表示)	BS11 モノラル放送時 (緑で表示) A TV 例) Aモード、テレビ音声	ビデオ1-ビデオ入力番号 ただしビデオ4,5のコンポーネント入力時は以下のように表示されます。
4 モノラル指定時 (緑で表示) モノラル	BS11 ステレオ放送時 (黄で表示) B 例) Bモード	ビデオ4 ビデオ5 コンポーネント1 コンポーネント2
4 二重音声放送時 (赤で表示) 主 例) 主音声	BS11 二重音声放送時 (赤で表示) A TV主/副 例) Aモード、テレビ音声、主/副音声	
4 ステレオ放送時 (黄で表示)		

●音を一時的に消したいとき
 ●チャンネル番号などを知りたいとき

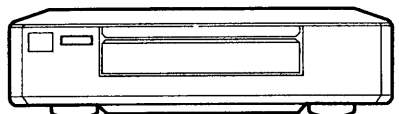
ビデオを見たいとき

準備

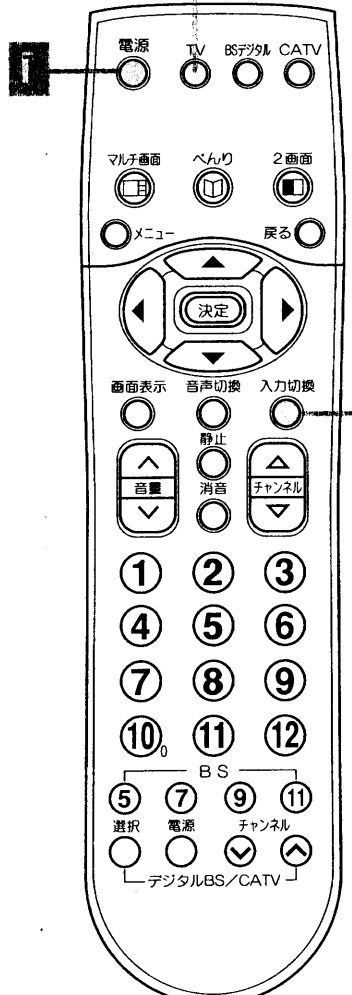
お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。
 接続についての詳しい説明をご参照ください。52 53
 日立製AV-BUS端子付ビデオと組み合わせると、操作が簡単になります。54



3 ビデオ

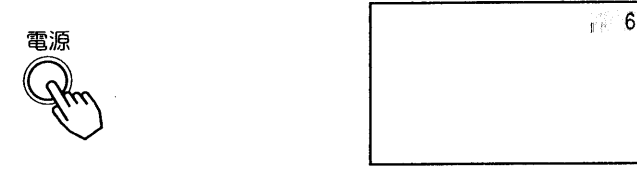


TVボタン/インジケータ



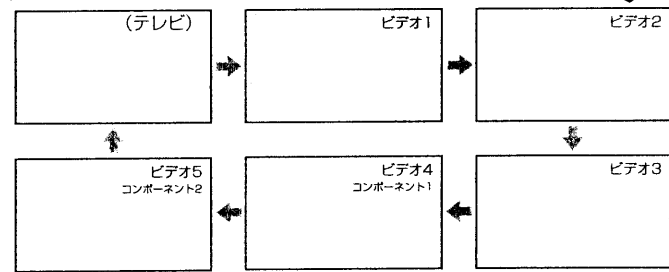
電源ボタンを押す

前に見ていたチャンネルが現れます。
 (前にビデオを見ていたときは、ビデオ1などのビデオ画面になります。)



入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。(お買い上げ時) 入力切換
 お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。



コンポーネント1: コンポーネント映像信号
 入力時のみ表示

ビデオを再生する

メモ
ビデオの再生中にテレビを見るには
 途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンまたはTVボタンを押して「テレビ」にするか、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ4について
 ビデオ4入力端子は通常の映像信号とコンポーネント映像信号の兼用端子です。映像を同時に接続したときは、コンポーネント映像信号が優先的に選択されます。コンポーネント映像が入力された場合は「コンポーネント1」の表示がでます。57

ビデオ入力のスキップ設定について
 ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し(スキップ)させることができます。51

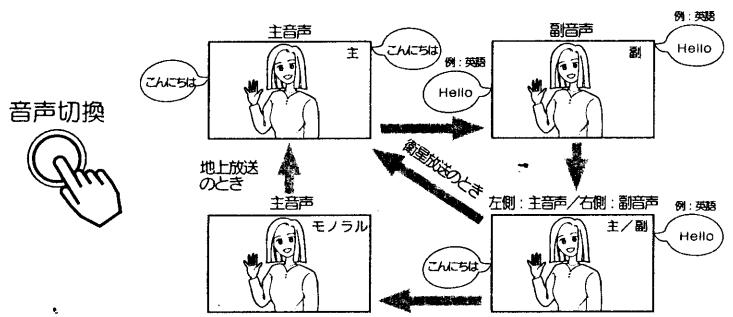
音声内容の選びかた

二重音声放送およびステレオ放送のときには、2カ国語(二重)音声、ステレオ音声など音声内容を選ぶことができます。
 衛星放送で「Aモード」音声のときは、「テレビ音声」「独立音声」を選ぶことができます。

二重音声放送のとき

音声切換ボタンを押す

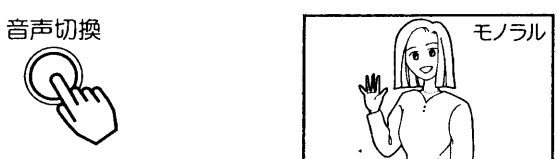
音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。



●地上放送と衛星放送はそれぞれお好みの状態に単独に設定できます。

ステレオ放送のとき

ステレオ放送が始まると自動的にステレオ音声になります。
 (「主」「副」「主/副」のいずれかに設定しているとき)
 ●地上放送時、電波が弱いとか雑音が多いなどステレオ音声聞きづらいときは「モノラル」にすると聞きやすくなる場合があります。



メモ
主音声と副音声について
 ●洋画やニュースなどの2カ国語放送のとき、日本語に吹き替えて送られてくる音声を「主音声」、原語のまま送られてくる音声を「副音声」といいます。
 ●放送によっては「主音声」を原語で、「副音声」を日本語で送る場合があります。

基本の使いかた

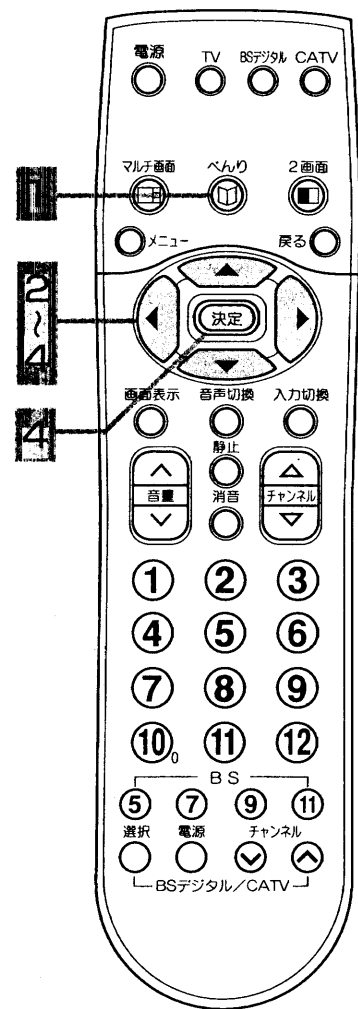
●ビデオを見たいとき
 ●音声内容の選びかた

音声内容の 選びかた (つづき)

衛星放送の独立音声を聞きたいとき

衛星放送の音声はAモードのとき、テレビ音声と独立音声を選ぶことができます。

●独立音声放送がないとき…自動的にテレビ音声を選ばれます。



べんりボタンを2回押す



2 決定ボタンで「TV/独立」を選ぶ



3 決定ボタンで「独立」に設定する



「TV」を選ぶと映像に合ったテレビ音声が出ます。
「独立」を選ぶと映像とは別の独立音声が出ます。

4 決定ボタンで「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを押して表示画面を消すこともできます。



メモ

独立音声放送について

BS-5チャンネル、WOWOW(JSB)の独立音声放送として、セント・ギガ〔衛星デジタル音楽放送(株)〕が放送されています。(2000年9月現在)
セント・ギガを聴くにはWOWOWとは別に受信契約が必要です。有料の独立音声放送は、信号がスクランブル化されていますので、そのままでは受信できません。選んでも無音となります。

衛星放送の音声方式について

「Aモード」と「Bモード」の2種類があります。

Aモード

- FM放送なみの音声が楽しめます。
- テレビの画面に関連した「テレビ音声」と、テレビ画面とまったく関係ない「独立した音声」が送られてきます。

Bモード

- コンパクトディスクなみの高品位の音声が楽しめます。
- 「テレビ音声」のみが送られてきます。

本体で 操作したいとき

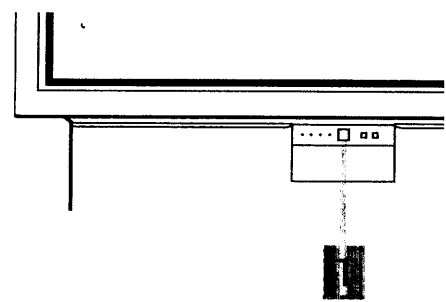
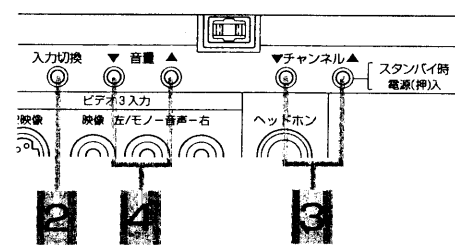
お守りください

主電源ボタンで電源を「切」にする場合のご注意

本機は電源が「入」の状態、またはクールダウン中に本体の主電源ボタンで電源を「切」にすると、内部の温度が下がらないために、ランプなどが劣化する場合があります。

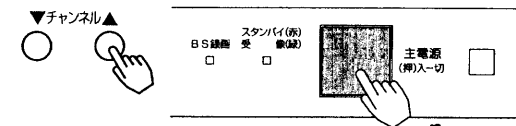
主電源ボタンで電源を「切」にする場合は、リモコンで電源を「切」にし、スタンバイ状態(スタンバイ/受像インジケータが赤で点灯)となってから行ってください。

とびら内



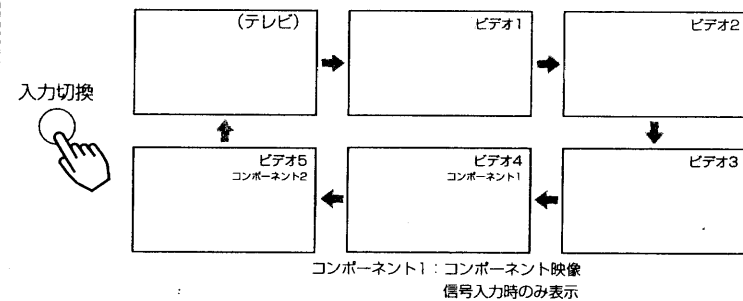
電源を入れる

スタンバイ/受像インジケータが赤く点灯または点滅している場合は、チャンネル▲ボタンを押します。電源が入り、スタンバイ/受像インジケータが緑で点滅し、その後点灯に変わります。



2 入力切換ボタンで「テレビ」を選ぶ

入力切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。(お買い上げ時)

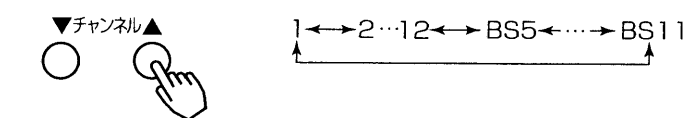


メモ

空きチャンネルの飛び越し選局 92 の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルを早く選局することができます。

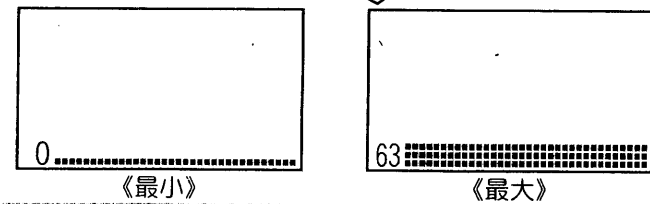
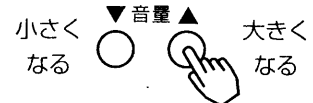
3 チャンネルを選ぶ

ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。(お買い上げ時)



4 音量を調節する

音量の大きさが数字と [音量バー] で画面に表示されます。

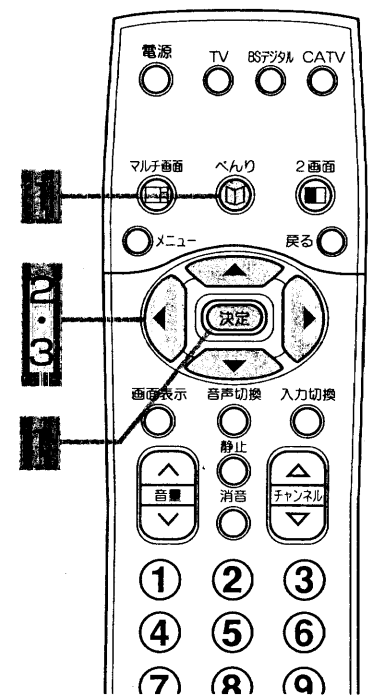


基本の使いかた
●音声内容の選びかた(つづき)
●本体で操作したいとき

映像の自動調整モードを選びたいとき

設置場所や映像ソフトに合わせて「スーパー」、
「ナチュラル」、「クリエイト」の3つからお好みの
映像を選ぶことができます。

映像モードの選びかた



1. べんりボタンを押す

2. 映像モードを選び、お好みのモードに設定する

3. 「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを2回押しして表示画面を消すこともできます。

モードは下図のように切り換わります。

スーパー ↔ ナチュラル ↔ クリエイト

映像モード: ナチュラル
FOCUS: 切
GRT: 入
オフタイマー: 切
戻る

メモ
映像モードは、メニューの「映像設定」画面で選ぶこともできます。

各機能について

スーパー

- 鮮明でコントラストのある画像に調整します。
- 明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。

クリエイト

- 黒補正、LTI、CTI、DSBなど、お好みに合わせてより細かな設定ができます。36
- お買い上げ時は、映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどでの長時間視聴に適した設定となっています。

ナチュラル

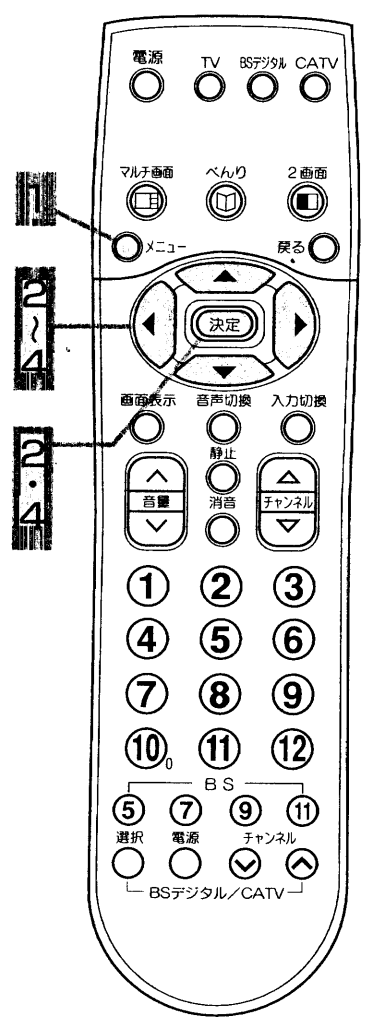
- 周囲の明るさに合わせ、画面の明るさを自動的にコントロールします。(周囲の明るさは、ディマアイ受光窓15で検出します。ディマアイ受光窓をふさいでしまうと適度にコントロールできなくなります。)
- 通常のテレビ番組、ビデオカメラの再生などを楽しむときに適したモードです。

メモ
各モードについて
各モードについて、明るさ(ナチュラルを除く)、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は、お好みの画像に設定できます。35

映像設定をしたいとき

映像モードごとにお好みに合わせて明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度の設定ができます。

明るさ、黒レベルなどの設定



1. メニューボタンを押す

2. 映像設定を選び、決定ボタンを押す

3. 設定したい項目を選び、調節する

4. 「終了」を選び、決定ボタンを押す

設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

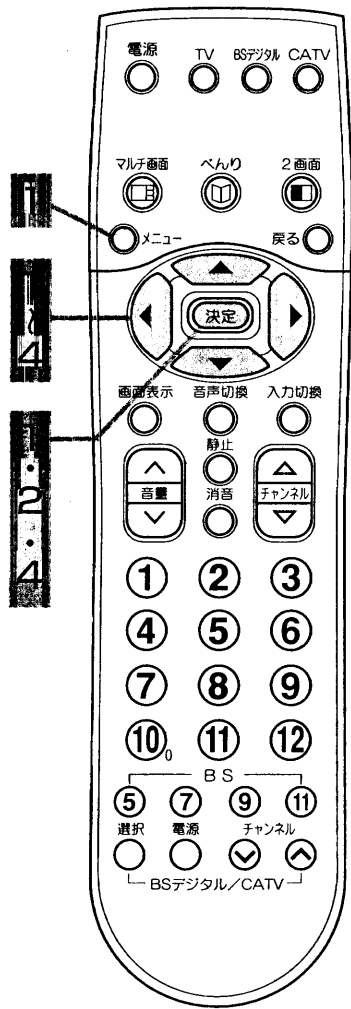
映像設定項目	調節	設定のポイント
映像モード	スーパー ↔ ナチュラル ↔ クリエイト	設置場所や映像ソースに合わせて設定します。映像モードの設定は、べんりボタンでも設定することができます。34
明るさ	暗くなる / 明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく表示が「明るさ—」となつて設定できないときは「お知らせ」を参照ください。
黒レベル	暗い部分がより暗くなる / 暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく
色の濃さ	色が淡くなる / 色が濃くなる	お好みの濃さに(ややうす目の方が自然です。)
色あい	赤っぽくなる / 緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように
画質	やわらかな画質になる / くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ
色温度	オート ↔ 高 ↔ 低	「オート」は入力モードに応じて色温度が切り換ります。室内照明などによる影響から色調を補正するときは「高」「低」のいずれかに設定します。
標準	—	お買い上げ時の設定に戻ります。

お知らせ
映像モードで「ナチュラル」を選んでいるときは、周囲の明るさに合わせ、画面の明るさを自動的にコントロールするため、明るさの設定はできません。

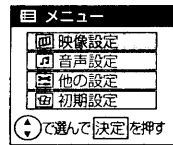
映像・音声の設定
●映像の自動調整モードを選びたいとき
●映像設定をしたいとき

さらにお好みの映像設定をしたいとき

3次元Y/C、ライン補間の設定ができます。また、映像モードで「クリエイト」を選んでいるときは、お好みに合わせて黒補正、LTI、CTI、DSBの設定ができます。



1 メニューボタンを押し、 で「映像設定」を選び、決定ボタンを押し



2 で「次へ」を選び、決定ボタンを押し

映像モード: クリエイト
スーパー、ナチュラルのとき クリエイトのとき

映像設定	3次元Y/C	切入
映像設定	ライン補間	切入
映像設定	黒補正	強 中 弱 切
映像設定	LTI	強 中 弱 切
映像設定	CTI	強 中 弱 切
映像設定	DSB	強 中 弱 切
映像設定	標準	—

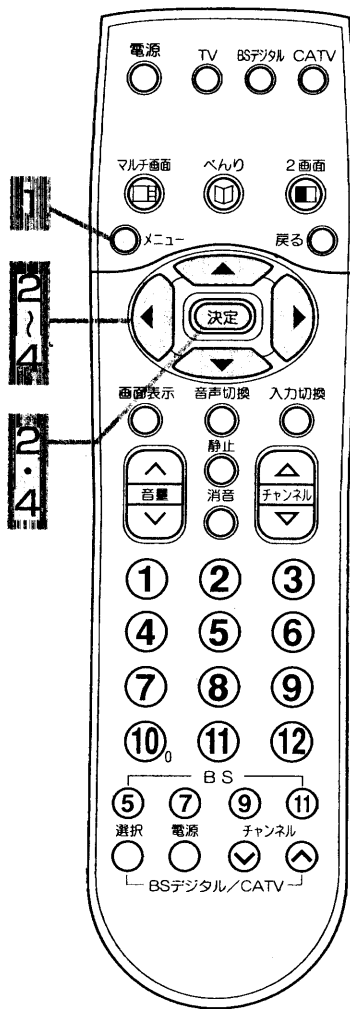
3 で設定したい項目を選び、 で調節する

映像設定項目	調節	設定のポイント
3次元Y/C	切→入	ビデオなどの映像が自然に見えないときは、「切」にします。通常は「入」でご使用ください。
ライン補間	切→入	「入」: 立体ビデオディスクをご使用の場合に設定します。一度電源を切ると「切」になります。 「切」: 通常
黒補正	強 → 中 → 弱 → 切	黒レベル補正を調整できます。
LTI	強 → 中 → 弱 → 切	輝度信号の鮮鋭度を調整できます。
CTI	強 → 中 → 弱 → 切	色信号の鮮鋭度を調整できます。
DSB	強 → 中 → 弱 → 切	輪郭強調効果を調整できます。LTIの設定が「切」のときは、DSBによる輪郭強調は動作しません。
標準	—	お買い上げ時の設定に戻ります。

4 で「終了」を選び、決定ボタンを押し

音声設定をしたいとき

お好みに合わせて高音、低音、バランスの設定ができます。



1 メニューボタンを押し

2 で「音声設定」を選び、決定ボタンを押し

音声設定

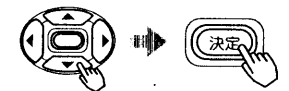
高音	+10
低音	+5
バランス	0
次へ	戻る
終了	終了

3 で設定したい項目を選び、 で調節する

設定のポイント
高音、低音、バランスはそれぞれ-15~+15までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。一度設定すると、そのまま記憶されます。

音声設定項目	調節	設定のポイント
高音	高音がおさえられる	高音が強調される
低音	低音がおさえられる	低音が強調される
バランス	左スピーカーの音が強調される (-)	右スピーカーの音が強調される (+)

4 で「終了」を選び、決定ボタンを押し

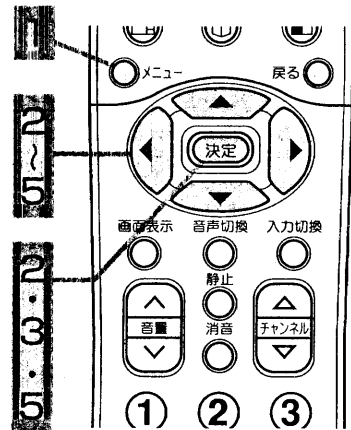


映像・音声の設定

さらにお好みの映像設定をしたいとき
音声設定をしたいとき

さらにお好みの音声設定をしたいとき

FOCUSは、スピーカーの位置によらずに画像と音の位置を一致させる（音像の縦方向の移動）ことにより、より自然でリアルな音を楽しむようにした技術です。
また、サラウンド、ステレオミュート（コマーシャル音などを小さくする）、ミュート音量（消音時の音量調節）、ヘッドホン音量などの設定ができます。



メモ
音声設定の効果
FOCUS：入
音像を上部に移動することにより、より自然でリアルな音を再生することができます。また、音の輪郭をはっきりさせることで、ニュースなどの話し声が更に聞き取りやすくなります。

サラウンド：入
臨場感のあるステレオサウンドを楽しむことができます。
モノラル放送や、ステレオ放送であっても「モノラル」の設定にしているとき（31）は、サラウンドの効果はありません。ステレオ放送時雑音が多いとき、サラウンドを「入」にすると雑音が強調されて聞こえる場合があります。このようなときには音声設定で高音を一側にする（37）か、またはサラウンドを「切」にしてください。

ステレオミュート：入
ドラマや映画番組の途中で入るコマーシャル（ステレオの場合）音を小さくすることができます。ただし、ステレオ放送の番組の場合、番組の音も小さくなります。

ミュート音量
消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。

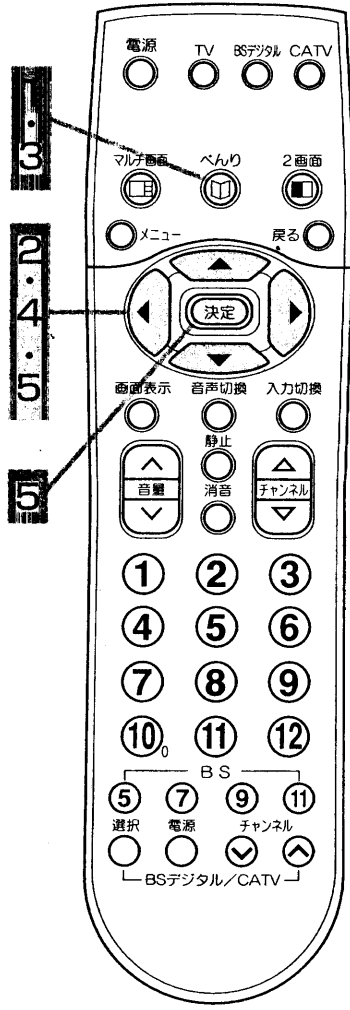
ヘッドホン音量
ヘッドホンの音量を63段階に切り換えられます。ヘッドホンを差し込んでもスピーカーの音は消えません。
スピーカーからの音を小さくしたいときは、音量ボタンで調節してください。

- メニューボタンを押す
- で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す
- で「次へ」を選び、決定ボタンを押す
- で設定したい項目を選び、で選択、または調節する
- で「終了」を選び、決定ボタンを押す

音声設定項目		設定のポイント
FOCUS	切→入	お買い上げ時は「入」になっています。FOCUS機能を使わないときは「切」にします。
サラウンド	切→入	「入」にすると、臨場感のあるステレオサウンドを再生することができます。
ステレオミュート	切→入	「入」にすると、コマーシャル音（ステレオ放送）などを小さくすることができます。
ミュート音量	音量が小さくなる→音量が大きくなる 最小 [0] 最大はミュート前の音量	消音ボタンを押したときの音量が変わります。28
ヘッドホン音量	音量が小さくなる→音量が大きくなる 最小 [0] 最大 [63]	お好みの音量に合わせます。

お知らせ

FOCUSとサラウンドは、べんり機能で設定することもできます。



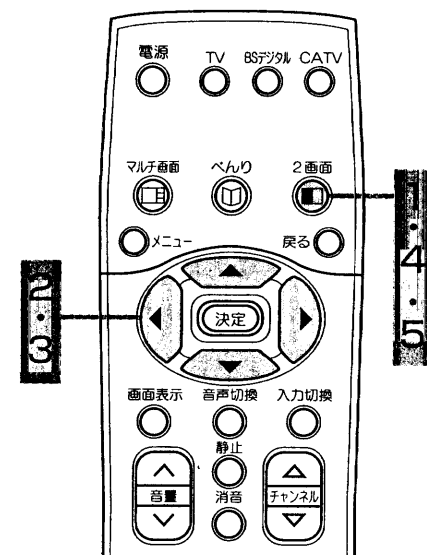
- べんりボタンを押す
- で「FOCUS」を選び、でお好みの設定にする
- べんりボタンを押す
設定画面の2ページ目が表示されます。
- で「次へ」を選び、決定ボタンを押したときも設定画面の2ページ目が表示されます。
- で「サラウンド」を選び、でお好みの設定にする
- で「終了」を選び、決定ボタンを押す
べんりボタンを押して表示画面を消すこともできます。

映像・音声の設定

さらにお好みの音声設定をしたいとき

マルチ画面を 楽しみたいとき

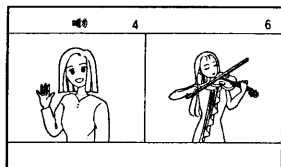
気になる裏番組のチェックや何かおもしろい番組はないかといったときに、簡単な操作で番組の検索をすることができます。



マルチ画面モードについて

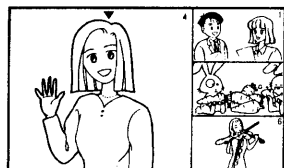
マルチ画面モードには2画面モードと4画面モードの2種類があります。

2画面モード：同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利なモードです。 **40**



4画面モード：裏番組のチェックに便利なモードです。

よくご覧になる番組をあらかじめ設定しておきます。 **42**

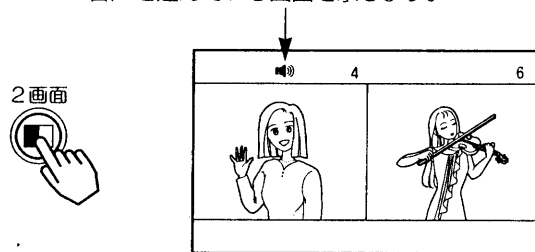


2画面を楽しみたいとき

同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利な機能です。

1 2画面ボタンを押す

音声を選んでいる画面を示します。

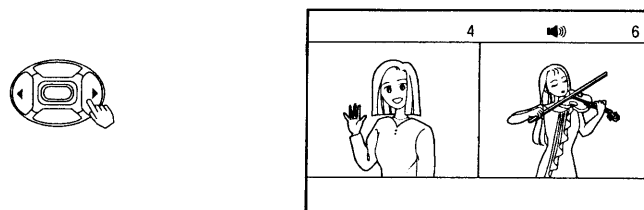


- 右画面と左画面は、同じチャンネル、または同じビデオモードは選べません。
- BSチャンネルは、同時に2画面で見ることができません。

2 画面切り換え

で左画面と右画面を切り換える

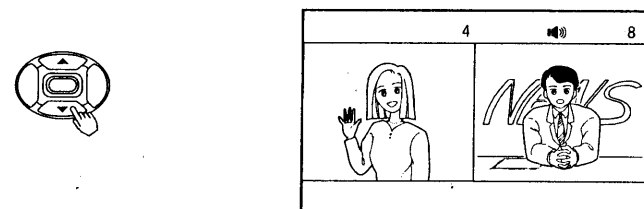
表示が選ばれた画面を示します。



3 チャンネル切り換え

でチャンネルを切り換える

が表示している画面のチャンネルが切り換えられます。

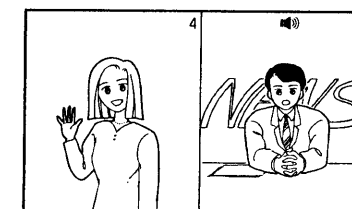


- 左画面を選んでいる場合も同様に、チャンネルを切り換えることができます。
- チャンネルボタン、または入力切換ボタンでも選べます。

4 2画面の拡大

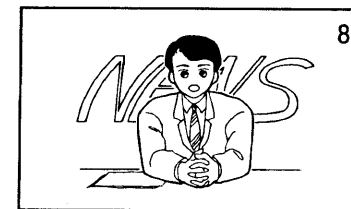
2画面ボタンを押す

画面が大きくなります。



- 、と同様に画面切り換え、チャンネル切り換えができます。

もう一度2画面ボタンを押すと 表示の画面が1画面となって2画面を終了します

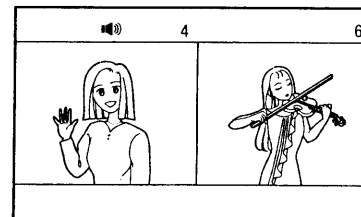


- リモコンの戻るボタンを押して、2画面モードを終了することもできます。

メモ

2画面について

2画面のときの音声出力、モニター出力は、下記のようになっています。



	選んでいる画面	
	左画面	右画面
スピーカー	左画面の音声	右画面の音声
ヘッドホン	右画面の音声	右画面の音声
モニター出力	左画面の映像、音声	右画面の映像、音声

2画面時のモニター出力について

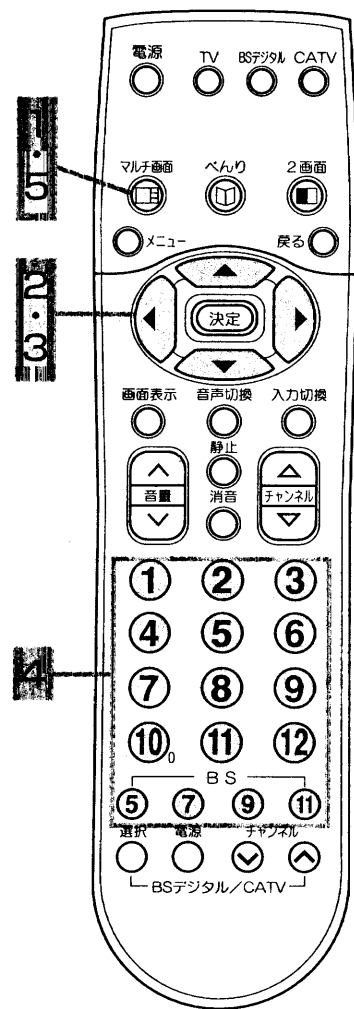
●モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。

BSch固定していないとき、モニター出力端子からは選んでいる画面の映像と音声が出力されます。

BSch固定については **69** をご覧ください。

●ビデオ1入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニューの「初期設定」「外部機器接続」の「モニター出力 (ビデオ1)」を「する」に設定してください。 **49**

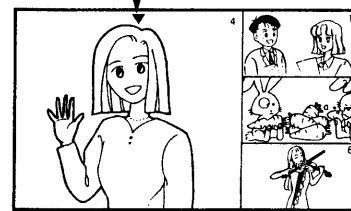
マルチ画面を 楽しみたいとき (つづき)



4画面を楽しみたいとき

1 マルチ画面ボタンを押す

選んでいる画面を示します。



2

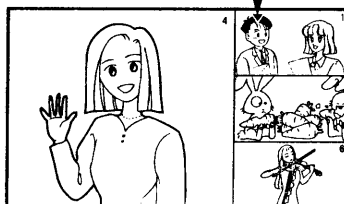
画面切り換え

で操作画面を切り換える

▼表示が選んでいる画面を示します。



選んでいる画面を示します。

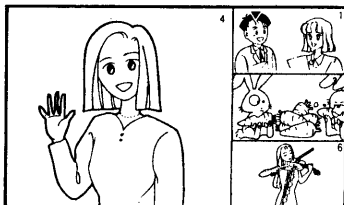


3

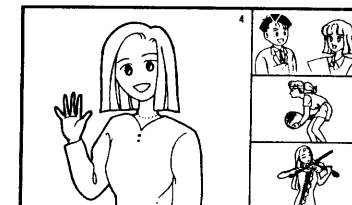
チャンネル切り換え

で子画面を選ぶ

選んでいる子画面の表示色が緑色になります。



4 チャンネルボタンで選局する



●入力切換ボタンでビデオモードを選ぶこともできます。

①子画面を選択したときは、で好みの子画面を選ぶと、選んだ画面(表示色が緑色)が動画で表示されます。

他の子画面は、静止画で表示されます。

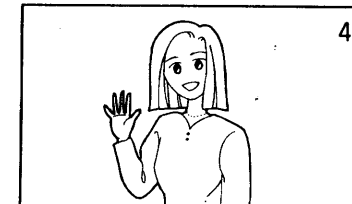
何も操作しないときは、自動的に番組内容を更新します。

②決定ボタンを押すと、選んでいた子画面を選択して4画面を終了します。

●操作画面が親画面のときは、チャンネルボタンまたは入力切換ボタンで切り換えることができます。

5

もう一度マルチ画面ボタンを押すと終了する



●リモコンの戻るボタンを押して、4画面を終了することもできます。

メモ

4画面のモニター出力について

●モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。

BSch固定していないとき、モニター出力端子からは、親画面の映像と音声が出力されます。

BSch固定については 69 をご覧ください。

●ビデオ1入力の映像および音声をモニター出力するとき、メニューの「初期設定」 「外部機器接続」の「モニター出力(ビデオ1)」を「する」に設定してください。 49

BSチャンネルについて

親画面がBSチャンネルを選局しているときは、子画面には他のBSチャンネルは表示されません。

チャンネル合わせでチャンネル設定を変更したいときは

引越などにより、チャンネル合わせ(地域番号)で地域番号を変更したり、受信設定でCHボタンの設定を10キー(CATV)に変更したときは、マルチ画面のチャンネルが自動的に更新されます。必要に応じて、もう一度設定してください。

お知らせ

コンポーネント入力についての注意

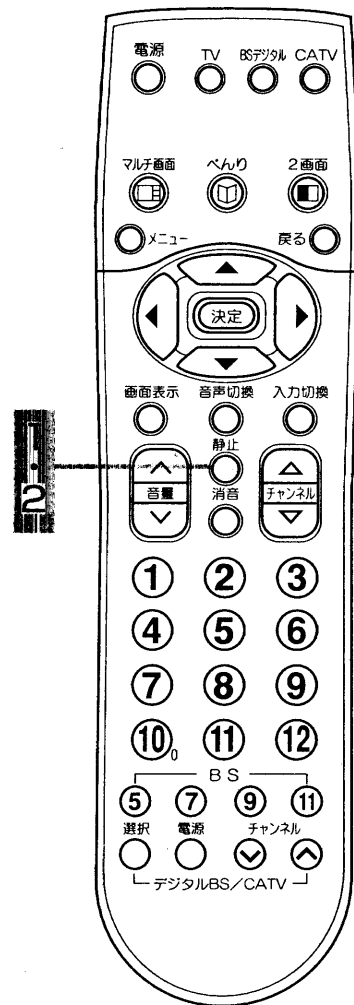
コンポーネント入力はマルチ画面で表示することはできません。

4画面時の音声についての注意

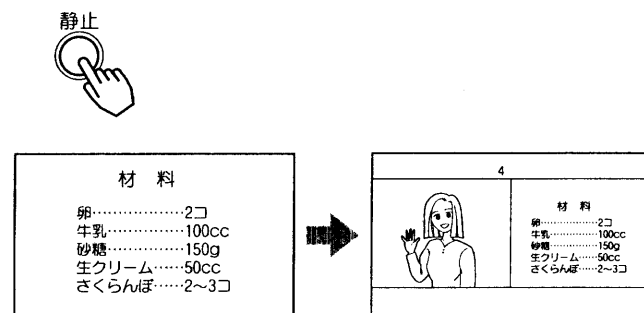
4画面時は、スピーカー、ヘッドホン共に親画面の音声が出力されます。子画面の音声は出力されません。

静止画にしたいとき

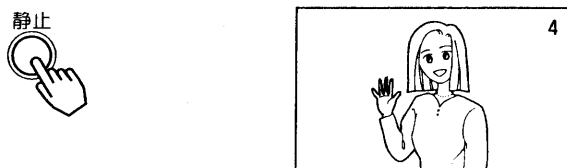
テレビ画面を一時的に止めて見たいときに便利な機能です。



静止ボタンを押す



もう一度静止ボタンを押すと終了する

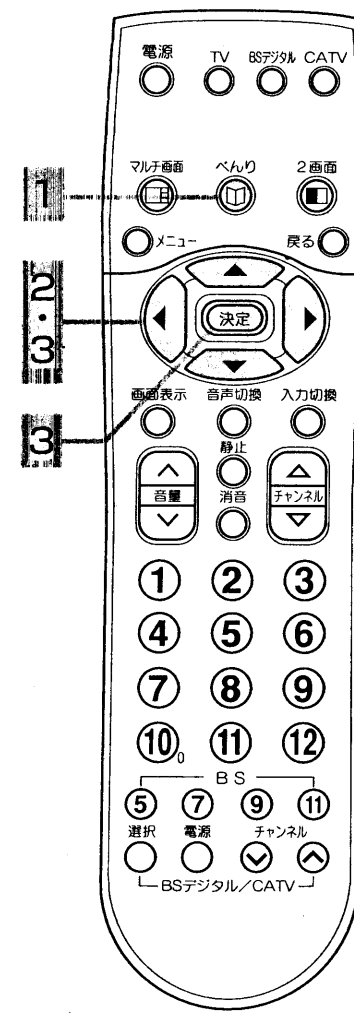


お知らせ

- 2画面、4画面を表示中は、静止ボタンで静止画にすることはできません。
- コンポーネント入力時は、静止画にすることはできません。

自動的に電源を切りたいとき

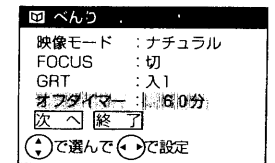
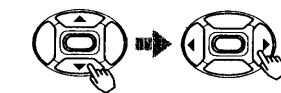
指定した時間が経つと、自動的に電源を切ることができます。
お休みのときなどにご利用ください。



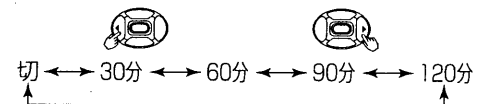
べんりボタンを押す



で「オフタイマー」を選び、でお好みの時間を設定する



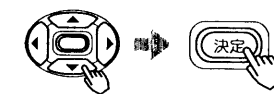
ボタンを押すことにより、図のように切り換わります。



- オフタイマーの設定時間は30分間隔で最大120分までです。
- 時間を設定したときからタイマー動作が始まります。

で「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを2回押して、表示画面を消すこともできます。



オフタイマーを確認・解除したいとき

- ① の操作を行います。
オフタイマーの残量時間が1分間隔で確認できます。
- ② オフタイマーを解除するときは、の操作で「切」に設定します。
- ③ の操作で画面表示を消します。

お知らせ

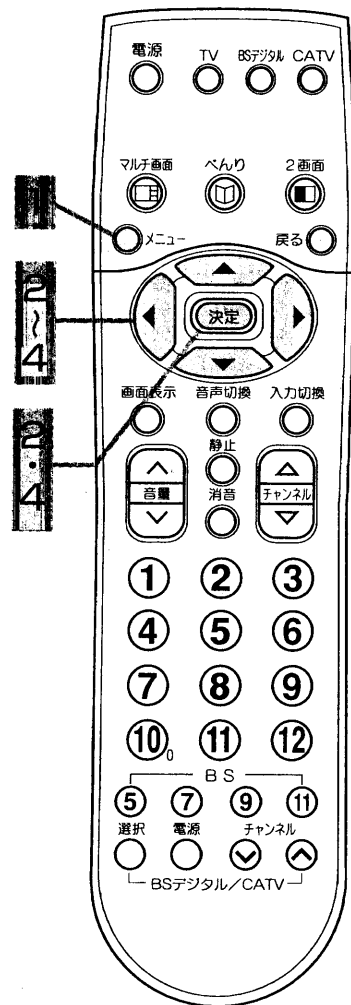
- 電源を切るとオフタイマーは解除されます。
- オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
- オフタイマー動作中に停電になると、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。

電源が切れる

設定した時間になると電源が切れます。

他の設定を変えたいとき

オートワイド設定をお好みに合わせて設定することができます。



1 メニューボタンを押す

2 で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で「オートワイド設定」を選び、 で設定する

4 で「終了」を選び、決定ボタンを押す

メニュー

- 映像設定
- 音声設定
- 他の設定
- 初期設定

↑で選んで決定を押す

他の設定

オートワイド設定: スムーズ ノーマル

ランプ時間

戻る 終了

↑で選んで ↓で選択

設定項目	設定目	設定のポイント
オートワイド設定	スムーズ→ノーマル	オートワイド時に、通常の映像(4:3信号)を見るときはワイドモードを設定します。お買い上げ時はスムーズに設定されています。

ランプ時間 については **99** をご覧ください。

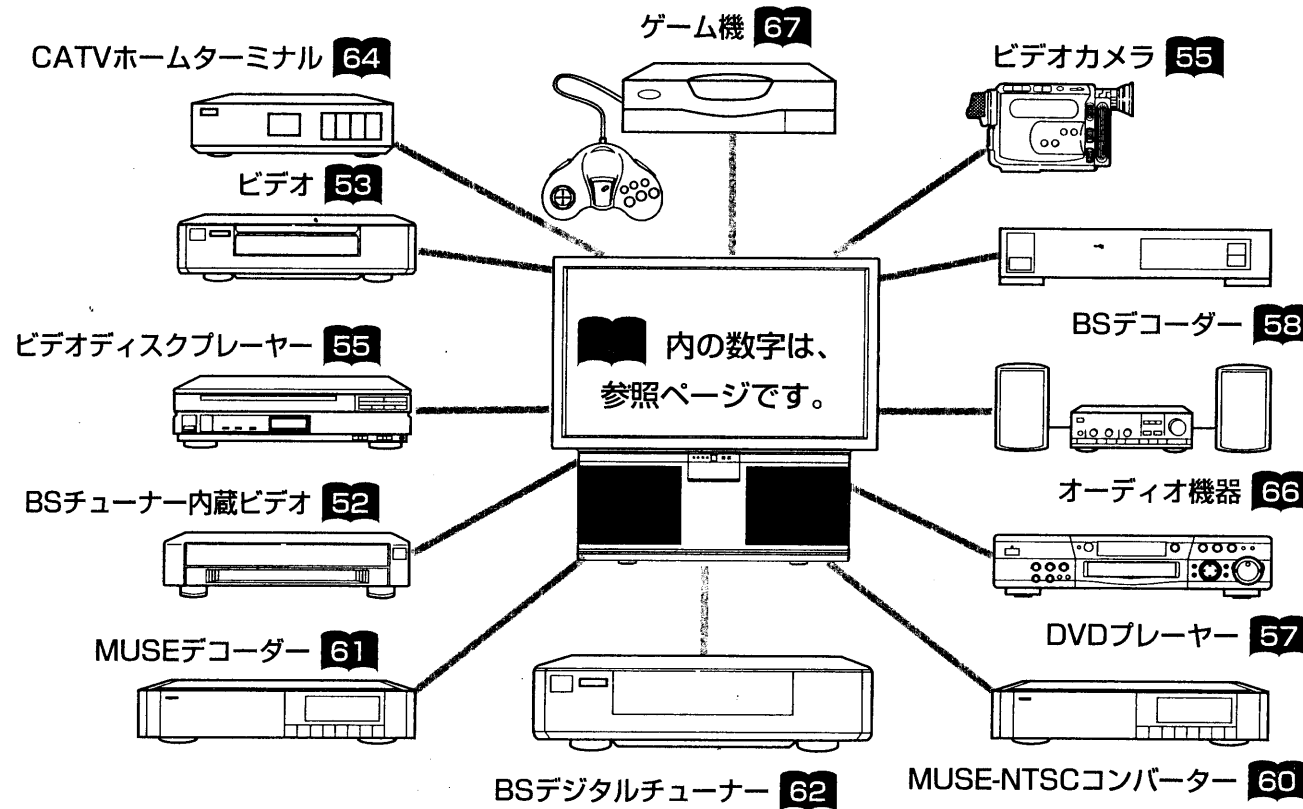
他の外部機器と接続したいとき

お守りください

接続時のご注意

- 他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- 接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
- 他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。

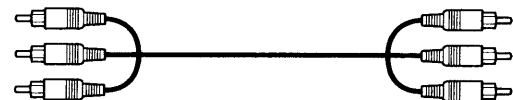
接続できる機器 (下記から入力端子数に合わせて、お選びください。)



システムアップに必要な接続コード (別売り)

これらと同等のコードが相手側の機器に付属している場合には、新しく購入される必要はありません。

- 映像・音声信号入出力接続コード VS-120G(コード長2m)



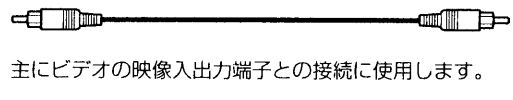
主にHi-Fiビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

- 映像・音声信号入出力接続コード VS-315G(コード長1.5m)



主にモノラルビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

- 映像信号入出力接続コード VS-220G(コード長2m)



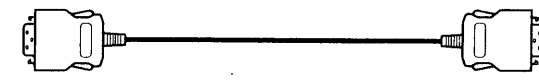
主にビデオの映像入出力端子との接続に使用します。

- 音声信号入出力接続コード AR-115G(コード長1.5m)



主にHi-Fiビデオの音声入出力端子との接続、ステレオ装置との接続に使用します。

- D端子ケーブルTP-CDD02(コード長1.5m)



将来実用化予定のデジタル機器 (BSデジタルチューナーなど) との接続に使用します。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

多機能の使いかた

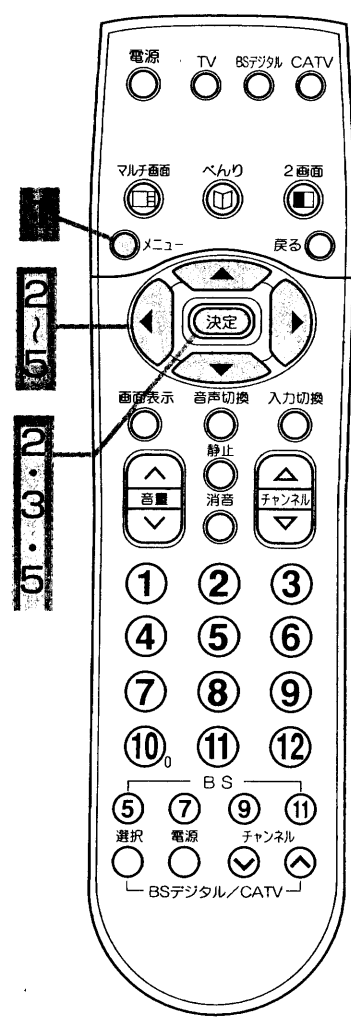
●他の設定を変えたいとき
●他の外部機器と接続したいとき

他の外部機器と接続したいとき (つづき)

外部機器を接続するとき便利な設定

ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定することができます。

- コントロール (ビデオ1)**ビデオ1入力端子に日立のビデオを接続したときにビデオの操作でテレビの電源やビデオ1選択などを行うことができます。
- モニター出力 (ビデオ1)**ビデオ1入力端子に接続した映像および音声を出力したいときに設定します。
- 入力検出 (ビデオ2)**ビデオ2入力端子に接続した機器の映像信号を検出すると、自動的にテレビの電源をオンしてビデオ2を選択することができます。
- ゲームモード (ビデオ3)**テレビ前面のビデオ3入力端子に接続したテレビゲームを楽しむときに映像設定と画面のワイドモードを自動的に選択することができます。
- コンポーネント設定**コンポーネント1 (ビデオ4) およびコンポーネント2 (ビデオ5) に接続する機器を設定します。
- 入力スキップ設定**ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したときに飛び越し (スキップ) させることができます。



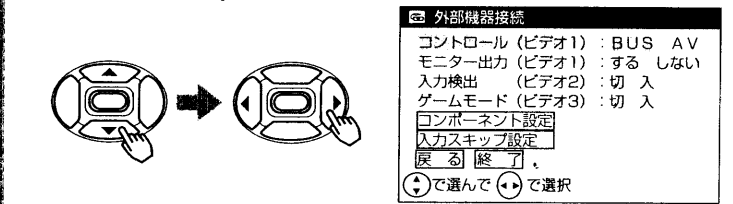
コントロール、モニター出力、入力検出、ゲームモードの設定

- メニューボタンを押す**
- で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**
- で「外部機器接続」を選び、決定ボタンを押す**

お知らせ
入力検出 (ビデオ2) : (「入」の場合)
 ビデオ2入力端子の映像信号を検出すると、テレビの電源が入り、ビデオ2に切り換わります。ビデオ2入力端子の映像信号がなくなると、ビデオ2を選択しているときはテレビに戻ります。この時電源は切れません。
 ●ビデオ2入力検出は、S2映像入力端子の信号は検出されません。
 S2映像端子の信号をご覧になる場合は、映像端子にも信号を接続することにより、ビデオ2入力検出機能をお使いいただけます。
 ●留守録などで自動的に電源が入るような外部機器を接続されている場合は、テレビの電源が自動的にオンすることがあります。このような外部機器をご使用になるときは「切」でお使いください。

- CATVホームターミナルなどの外部機器の電源を「切」にしても、ビデオ2入力端子に何らかの信号が入力されている場合は正常に動作しないことがあります。このようなときは、「切」でお使いください。
- デコーダー入力設定を「V2 (ビデオ2)」に設定 **91** している場合、BSチャンネルを選ぶとビデオ2モードに切り換わることがあります。このようなときは「切」にしてお使いください。
- テレビ本体の主電源ボタンでテレビの電源を切ると、入力検出は動作しません。

で設定したい項目を選び、で設定する



設定項目		設定のポイント
コントロール (ビデオ1)	BUS ↔ AV	日立のビデオと接続するときに合致します。 54
モニター出力 (ビデオ1)	する ↔ しない	ビデオ1の映像と音声をモニター出力端子から出力するときは「する」を選択します。BSch固定「入」のときは、衛星放送の信号が出力されます。 69
入力検出 (ビデオ2)	切 ↔ 入	ビデオ2の映像信号を検出したとき、テレビ電源をオンしてビデオ2を自動的に選択したいときに「入」にします。一度本体の主電源ボタンで電源を切った場合または、電源プラグを抜いた場合は、「切」になります。
ゲームモード (ビデオ3)	切 ↔ 入	ビデオ3を選択したときにワイドモードと映像設定を自動的に切り換えたいときは「入」にします。 67

で「終了」を選び、決定ボタンを押す

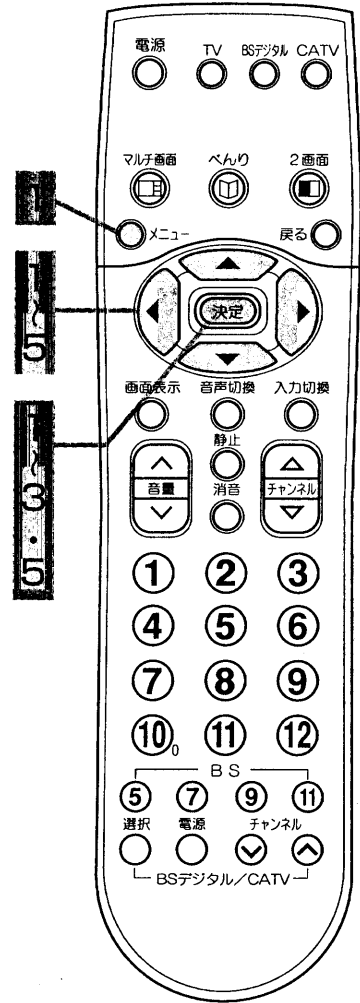


メモ
設定を変えたときの効果
コントロール (ビデオ1)
 後面のAV-BUS II端子の信号方式が切り換わります。日立のAVコントロール、AV-BUS、BSコントロール端子付ビデオをお使いのときに、「ビデオを再生するだけでテレビにビデオの映像が出る」といった自動機能を確実に動かせるための切り換えです。BUS : AV-BUS (AV-BUS II / AV-BUS III) 端子、BSコントロール端子付ビデオのとき
 AV : AVコントロール端子付ビデオのとき

多機能の使いかた
 ●他の外部機器と接続したいとき (つづき)

他の外部機器と接続したいとき (つづき)

コンポーネントの設定



1 メニューボタンを押し、 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押し

目メニュー

- 映像設定
- 音声設定
- 他の設定
- 初期設定

↑で選んで決定を押す

2 で「外部機器接続」を選び、決定ボタンを押し

目初期設定

- 受信設定
- BS設定
- 外部機器接続
- 戻る 終了

↑で選んで決定を押す

3 で「コンポーネント設定」を選び、決定ボタンを押し

目外部機器接続

- コントロール (ビデオ1) : BUS AV
- モニター出力 (ビデオ1) : する しない
- 入力検出 (ビデオ2) : 切 入
- ゲームモード (ビデオ3) : 切 入
- コンポーネント設定
- 入力スキップ設定
- 戻る 終了

↑で選んで決定を押す

4 で設定したい項目を選び、 で設定する

目コンポーネント設定

- コンポーネント1 : オート 1 2 MUSE
- コンポーネント2 : オート 1 2 MUSE
- 戻る 終了

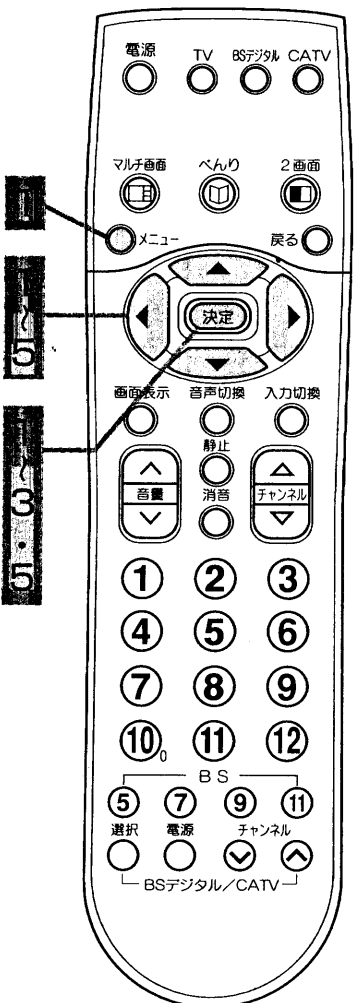
↑で選んで → で選択

設定項目		設定のポイント
コンポーネント1 (ビデオ4)	オート→1→2→MUSE	コンポーネント1入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。
コンポーネント2 (ビデオ5)	オート→1→2→MUSE	コンポーネント2入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。

5 で「終了」を選び、決定ボタンを押し

メモ
 コンポーネント1、2設定について
 コンポーネント信号は、接続する機器や信号によって色合いが異なる場合があります。DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーを接続する場合は「オート」でお使いください。
 色合いが正しく再現できない場合は、「1」または「2」に設定してください。また、MUSEデコーダー、W-VHSビデオを接続する場合は、「MUSE」に設定してください。

入力スキップの設定



1 メニューボタンを押し、 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押し

目メニュー

- 映像設定
- 音声設定
- 他の設定
- 初期設定

↑で選んで決定を押す

2 で「外部機器接続」を選び、決定ボタンを押し

目初期設定

- 受信設定
- BS設定
- 外部機器接続
- 戻る 終了

↑で選んで決定を押す

3 で「入力スキップ設定」を選び、決定ボタンを押し

目外部機器接続

- コントロール (ビデオ1) : BUS AV
- モニター出力 (ビデオ1) : する しない
- 入力検出 (ビデオ2) : 切 入
- ゲームモード (ビデオ3) : 切 入
- コンポーネント設定
- 入力スキップ設定
- 戻る 終了

↑で選んで決定を押す

4 で設定したいビデオ入力を選び、 で設定する

目入力スキップ設定

- ビデオ1 : スキップする スキップしない
- ビデオ2 : スキップする スキップしない
- ビデオ3 : スキップする スキップしない
- ビデオ4 : スキップする スキップしない
- ビデオ5 : スキップする スキップしない
- 戻る 終了

↑で選んで → で選択

5 で「終了」を選び、決定ボタンを押し

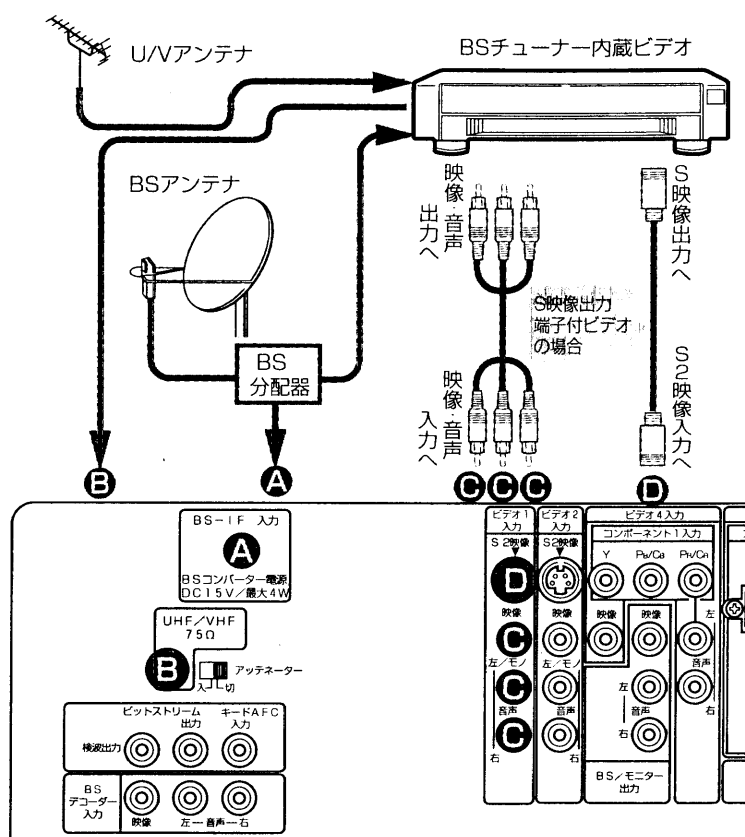
多機能の使いかた

●他の外部機器と接続したいとき (つづき)

他の外部機器と
接続したいとき
(つづき)

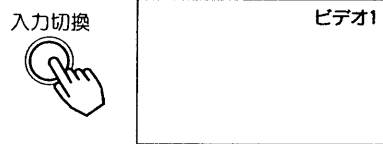
BSチューナー内蔵のビデオとの接続

S映像出力端子付のビデオをご使用のときは、S映像コードで接続されることをおすすめします。より良い画質でビデオを楽しめます。(図の同じ記号のところへ接続してください。)



1 入力切換ボタンで「ビデオ1」にする

●画面に「ビデオ1」の表示が出ます。



2 ビデオを操作する

お知らせ

アンテナ線はテレビとビデオ両方に接続します。受信方式の違いなどによって、接続のしかたが異なりますので、詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

メモ

BS/モニター出力端子について

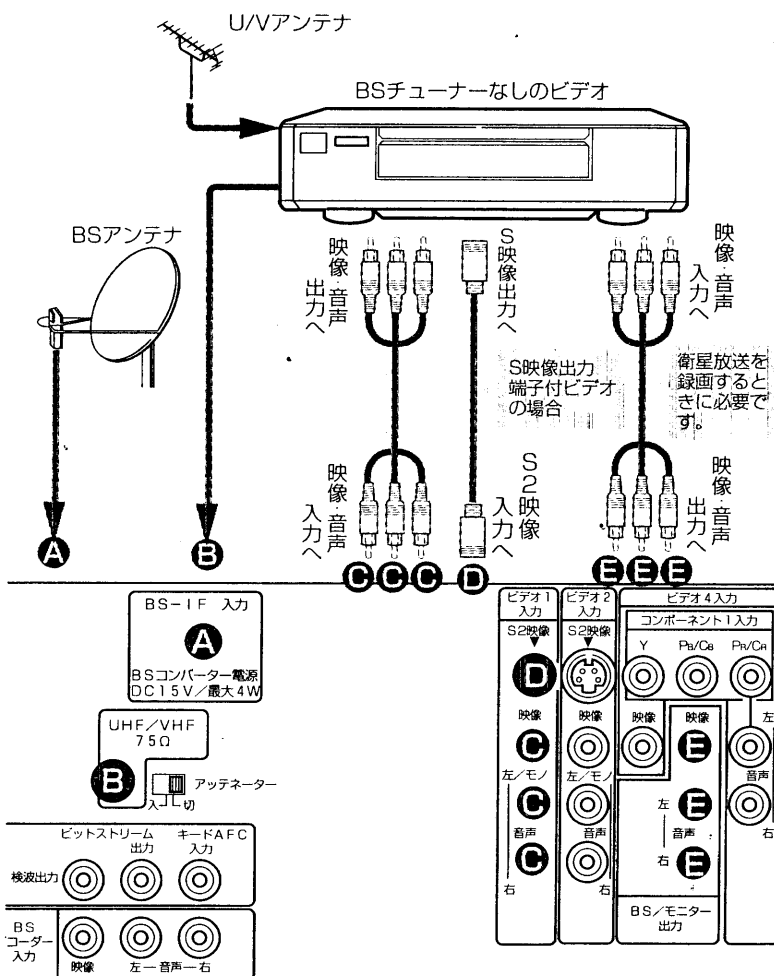
- BSch固定「切」時は、画面に映っているものを出力します。BSch固定については **69** をご覧ください。
BSch固定「入」時は、衛星放送の信号が出力されます。
- メニューの「初期設定」「外部機器接続」の「モニター出力 (ビデオ1)」を「しない」に設定している **49** ときは、ビデオ1入力の映像と音声は出力されません。ビデオの外部入力を使用して録画する場合は、「しない」に設定してください。
- コンポーネント入力時は、モニター出力端子からは出力されません。
- ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。

S2映像端子について

明さの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2映像入力端子と映像入力端子が両方接続されている場合は、S2映像が優先されます。本機はフルモード制御信号、またはレターボックス制御信号の入った映像が、ビデオ1、2、3のS2映像入力端子より入力されるとワイドモードは自動的にワイド画面一杯に表示されます。

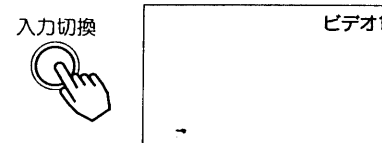
BSチューナー内蔵でないビデオとの接続

BSチューナー内蔵でないビデオをご使用のときは、テレビのBS出力端子をビデオ入力端子に接続してください。本機のBSチューナーを使って衛星放送の録画ができます。



1 入力切換ボタンで「ビデオ1」にする

●画面に「ビデオ1」の表示が出ます。



2 ビデオを操作する

お知らせ

アンテナ線はテレビとビデオ両方に接続します。受信方式の違いなどによって、接続のしかたが異なりますので、詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

メモ

BS/モニター出力端子について

- BSch固定「切」時は、画面に映っているものを出力します。BSch固定については **69** をご覧ください。
BSch固定「入」時は、衛星放送の信号が出力されます。
- メニューの「初期設定」「外部機器接続」の「モニター出力 (ビデオ1)」を「しない」に設定している **49** ときは、ビデオ1入力の映像と音声は出力されません。ビデオの外部入力を使用して録画する場合は、「しない」に設定してください。
- コンポーネント入力時は、モニター出力端子からは映像は出力されません。
- ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。

多機能の使いかた

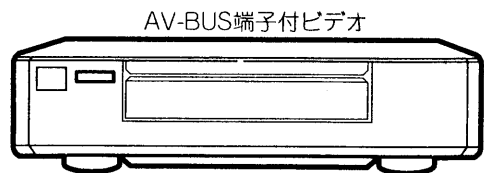
●他の外部機器と接続したいとき (つづき)

他の外部機器と接続したいとき (つづき)

日立的AV-BUS端子付ビデオとの接続

日立的AV-BUS(AV-BUSⅡ/AV-BUSⅢ)端子付ビデオをご使用になると、ビデオの操作でテレビの電源の「入・切」と入力を切り換えることができます。

52 または **53** の接続をした後、下図の接続をします。



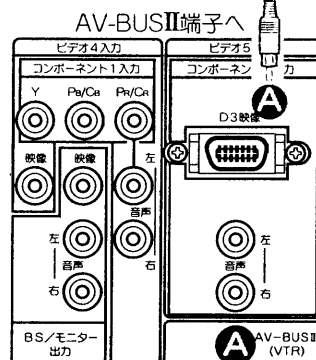
AV-BUS端子付ビデオ

BSチューナー内蔵ビデオのときは **52**、BSチューナー内蔵でないビデオのときは **53** の接続をしてください。
 コントロール (ビデオ1) の設定を「BUS」に合わせます。 **49**

メモ

AV-BUS接続時のお願い

- テレビおよびビデオの電源を切ってから接続してください。
- AV-BUSⅡは「ビデオ1」の入力で動作します。



AV-BUSⅡ端子へ

ビデオを操作する

ビデオの電源を……… テレビの電源が入り、入力切替が入れると「ビデオ1」になり、ビデオ画面になります。

※ご使用のビデオにより動作が異なる場合がありますが、詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

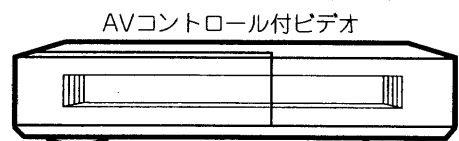
ビデオの電源を……… テレビの入力切替が「テレビ」に戻ると、テレビの受信画面になります。

ビデオのオフタイ……… テレビの電源も切れます。マー機能を使って、電源を切ると

BSチューナー内蔵でないビデオ……… テレビのBS/モニター出力端子に、選んだ衛星放送の信号が出力され、衛星放送の録画が簡単にできます。
53

日立的AVコントロール端子付ビデオとの接続

日立的AVコントロール端子付ビデオをご使用になると、ビデオの操作でテレビの入力を切り換えることができます。 **52** または **53** の接続をした後、下図の接続をします。



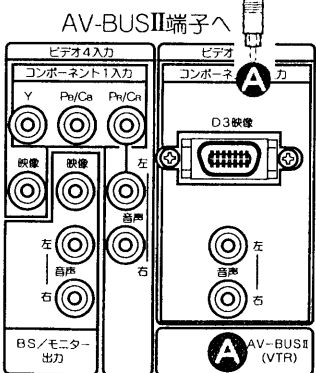
AVコントロール付ビデオ

BSチューナー内蔵ビデオのときは **52**、BSチューナー内蔵でないビデオのときは **53** の接続をしてください。
 コントロールモードの設定を「AV」に合わせます。 **49**

メモ

AVコントロール接続時のお願い

- テレビおよびビデオの電源を切ってから接続してください。
- AVコントロールは「ビデオ1」の入力で動作します。



AV-BUSⅡ端子へ

ビデオを操作する

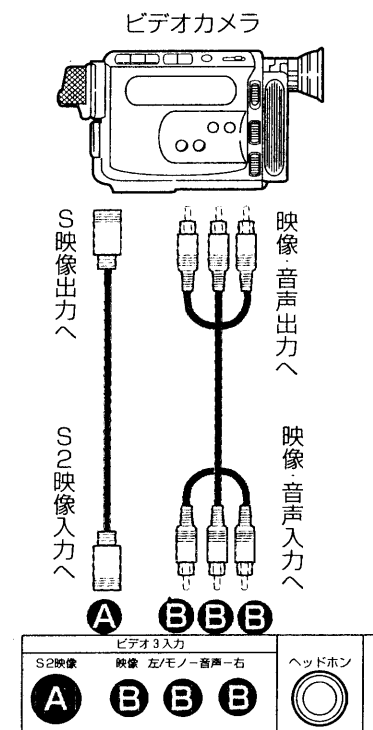
ビデオの電源を……… テレビの入力切替が入れると「ビデオ1」になりビデオの画面になります。

ビデオ/テレビ切替……… テレビの入力切替ボタンで「ビデオ」「ビデオ1」になります。

ビデオ/テレビ切替……… テレビの入力切替ボタンで「テレビ」「テレビ」になります。

電源を切ると……… テレビの入力切替が「テレビ」になります。

ビデオカメラとの接続



ビデオカメラ

S映像出力へ

S2映像入力へ

映像・音声出力へ

映像・音声入力へ



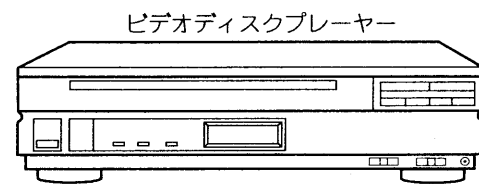
1 入力切替ボタンで「ビデオ3」にする



ビデオ3

2 ビデオカメラを操作する

ビデオディスクプレーヤーとの接続



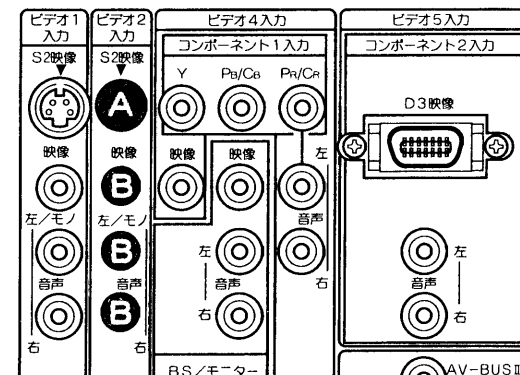
ビデオディスクプレーヤー

S映像出力へ

S2映像入力へ

映像・音声出力へ

映像・音声入力へ



1 入力切替ボタンで「ビデオ2」にする



ビデオ2

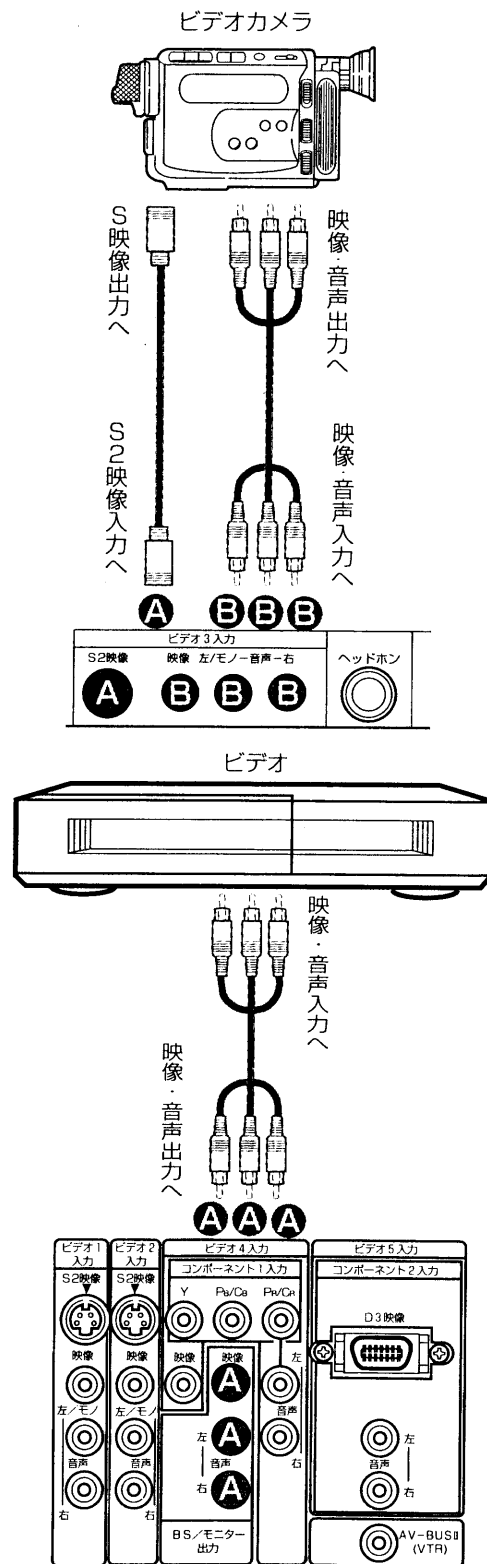
2 ビデオディスクプレーヤーを操作する

接続はビデオ1,2,3,4入力のいずれでもできます。
 (ビデオ1、ビデオ3、ビデオ4に接続したときは、入力切替ボタンで「ビデオ1」「ビデオ3」「ビデオ4」を選んでください。)

多機能の使いかた

●他の外部機器と接続したいとき (つづき)

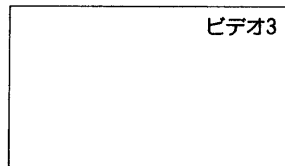
他の外部機器と接続したいとき (つづき)



画面を見ながらテープ編集をする場合の接続

1 入力切換ボタンで「ビデオ3」にする

ビデオ1、ビデオ2、ビデオ4入力に接続された機器を編集するときは、「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ4」にします。



2 ビデオを外部入力に合わせる

●詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

3 ビデオカメラを再生状態にする

4 ビデオを録画状態にする

お知らせ

メニューの「初期設定」外部機器接続の「モニター出力(ビデオ1)」を「しない」に設定している 49 ときは、ビデオ1入力の映像と音声は出力されません。

メモ

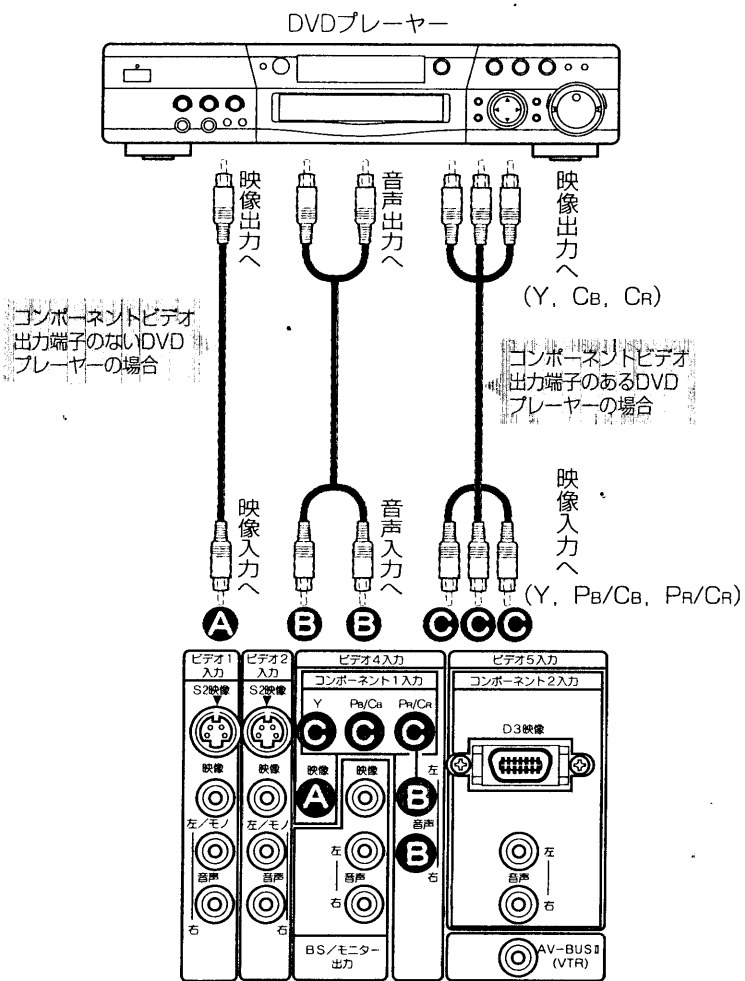
お願い

- ビデオの録画状態の設定については、お手持ちのビデオの取扱説明書をご覧ください。
- モニター出力を使用して録画する場合は、録画中に入力切り換え、チャンネル切り換えをしないでください。また、マルチ画面の(4画面および2画面)の操作もしないでください。
- モニター出力は画面に映っているものを出力しますが、ワイド処理された信号が出力されるものではありません。

DVDプレーヤーとの接続

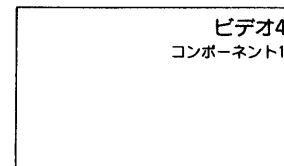
準備

「コンポーネント1設定」を「オート」に設定する。50
お買い上げ時は「オート」に設定されています。



1 入力切換ボタンで「ビデオ4」にする

●画面に「ビデオ4」の表示が出ます。



2 DVDプレーヤーを操作する

多機能の使いかた

●他の外部機器と接続したいとき (つづき)

メモ

コンポーネント1入力端子について

- コンポーネント1入力端子はDVDプレーヤー、ハイビジョン機器および将来実用化予定のデジタル機器のコンポーネント映像信号(525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)信号)を接続できます。
- コンポーネント1入力の映像はモニター出力端子に出力されません。
- コンポーネント1入力端子の音声はビデオ4入力端子の音声入力と共用です。

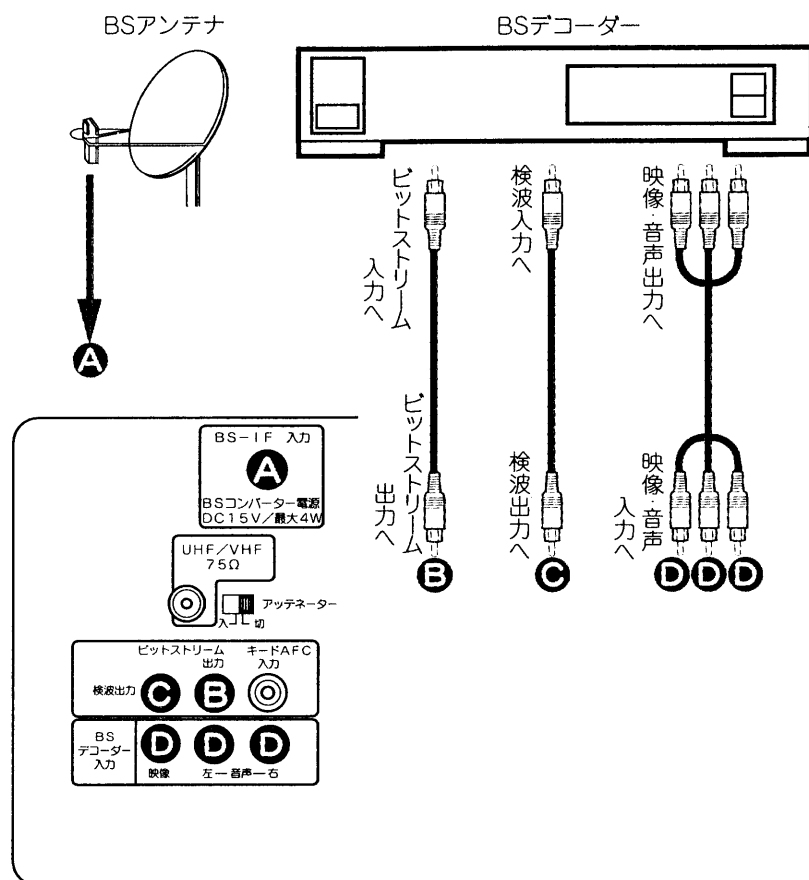
ビデオ4入力端子について

ビデオ4入力端子は、通常の映像信号とコンポーネント映像信号の兼用端子です。コンポーネント映像信号が入力された場合は、コンポーネント映像信号が優先されます。コンポーネント映像が入力された場合は、「コンポーネント1」の表示が出ます。

他の外部機器と
接続したいとき
(つづき)

BSデコーダーとの接続

BS放送のWOWOW、セントギガを受信するとき



お知らせ

WOWOWを録画するときのご注意

- BSデコーダーの電源は、入れたままにしておいてください。
- BSデコーダーの二重音声は、通常「主/副」を選んでおきます。主音声（日本語）だけを左右のチャンネルに記録したいときは、「主」を選びます。
- 有料放送に切り換わったとき、1~2秒画面が乱れることがあります。

St. GIGA（セント・ギガ）を録音するときのご注意

- BSデコーダーの電源は、入れたままにしておいてください。
- BSデコーダーの音声選択ボタンを押して、「独立」を選びます。
- 本機のデコーダー入力設定を「BS入力」にします。91

メモ

WOWOWについて

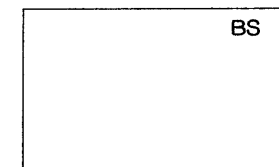
- WOWOWは受信契約していない方が視聴できないように、信号をかく乱（スクランブル化）して放送されています。放送を見るためには受信契約をして、スクランブルを正常な状態にもどすデコーダー（解読器）を接続する必要があります。
- 受信契約については、代理店（主に電器店）にご相談ください。
- WOWOWはBS5チャンネル（2000年9月現在）で放送されています。
- WOWOWはBS放送を受信しているBSアンテナで受信できます。有料放送であってもスクランブル化しないで放送されている番組は、デコーダーがなくても視聴できます。

1 左図のように接続する

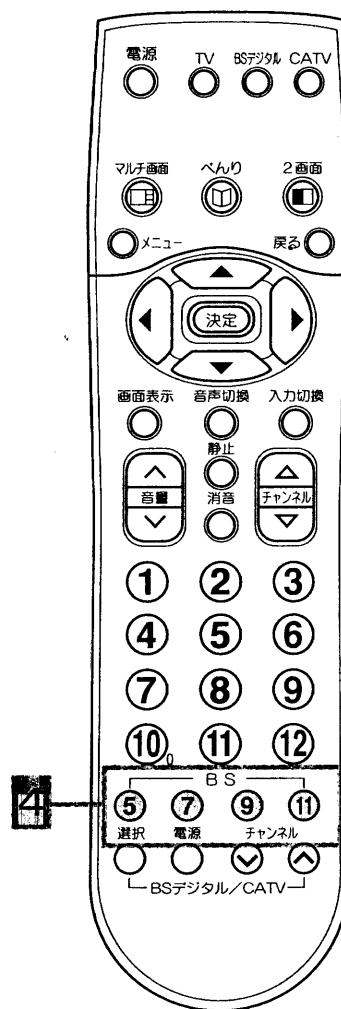
2 デコーダーの入力設定を「オート」にする 91
お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

3 BSデコーダーの電源を入れる

4 チャンネルボタンを押し選局する
WOWOWはBS5チャンネルで放送されています。（2000年9月現在）



5 BSデコーダーの二重音声ボタン、音声選択ボタンでお好みの音声を選ぶ
詳しくはBSデコーダーの取扱説明書をご覧ください。録画したいときは 68



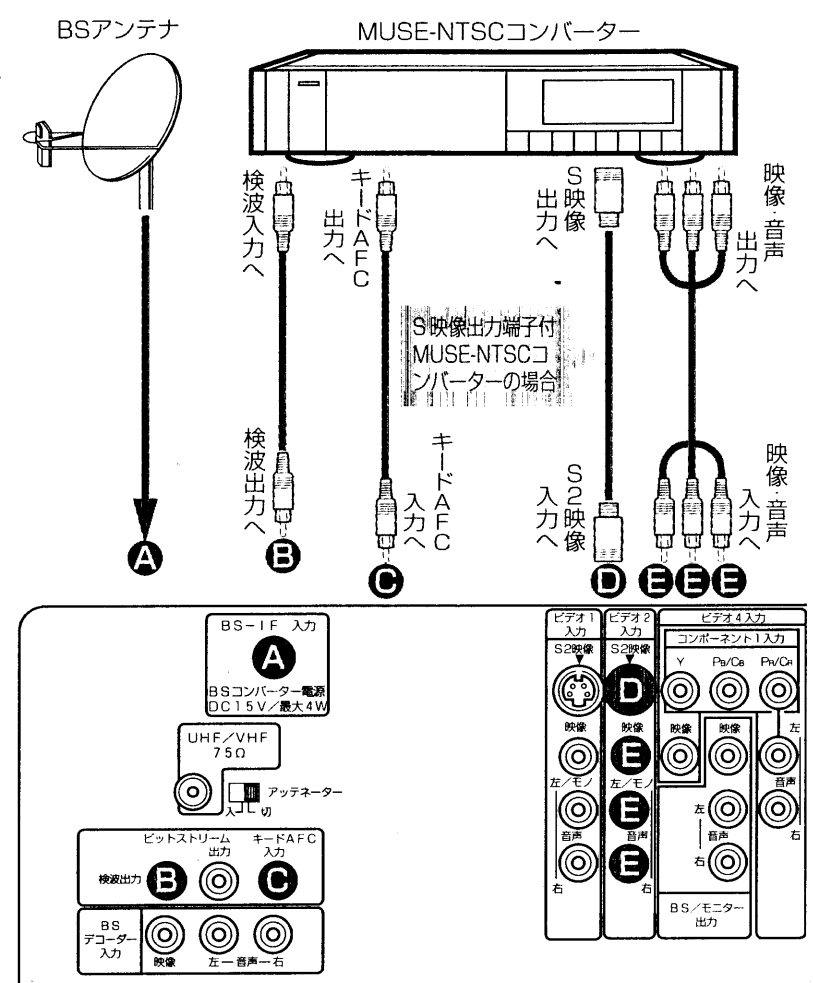
多機能の使いかた

●他の外部機器と接続したいとき（つづき）

他の外部機器と接続したいとき (つづき)

MUSE-NTSCコンバーターとの接続

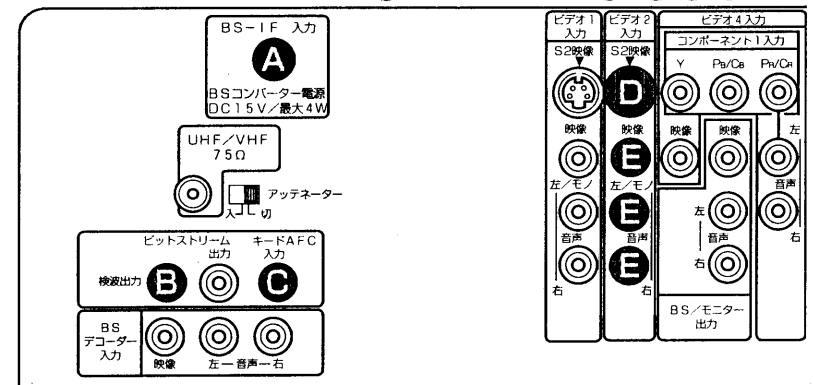
MUSE-NTSCコンバーターを接続すると、本機でハイビジョン番組を見ることができます。
 (普通のテレビ方式〈NTSC〉に変換して見るため、ハイビジョン本来の高精細な画質にはなりません。)



「デコーダー入力設定」でハイビジョン放送を設定したいチャンネルを「V2」(ビデオ2)にする **91**

2 テレビのチャンネルをハイビジョン番組が放送されているBSチャンネルに合わせる
 ハイビジョン番組はBS9で試験放送されています。(2000年9月現在)

3 MUSE-NTSCコンバーターを操作する
 詳しくはMUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

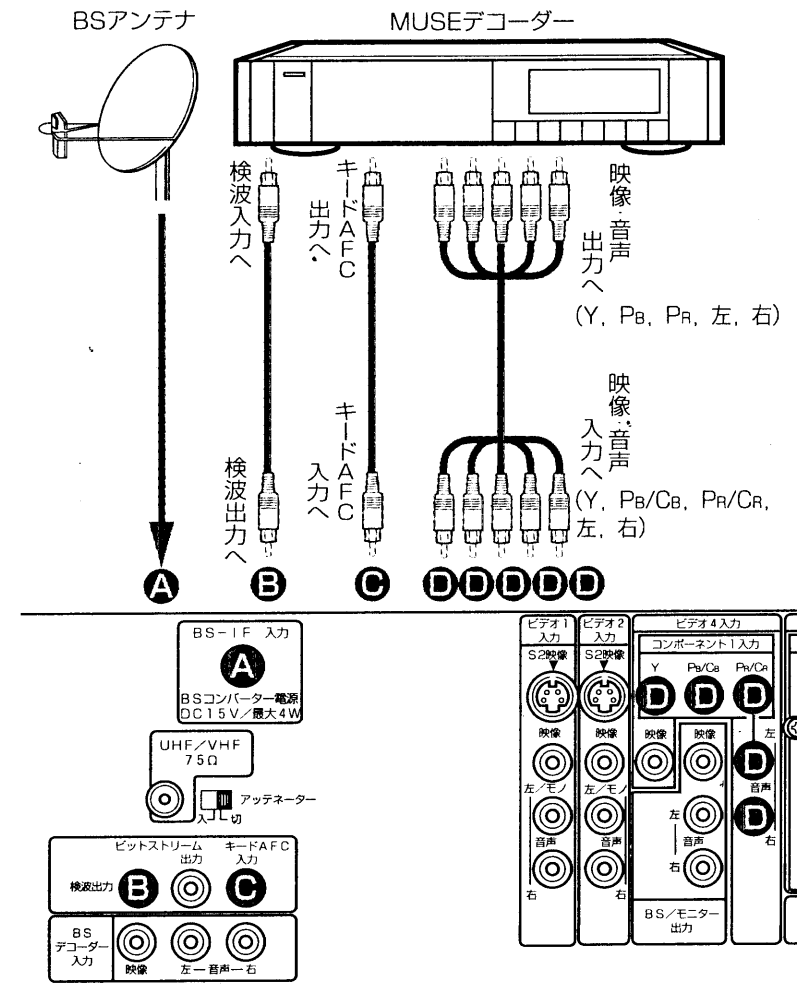


メモ
MUSE方式について
 ハイビジョン番組の映像を家庭へ送るための技術がMUSE方式です。ハイビジョンの情報量は現行テレビの5倍以上あります。このような帯域の広い信号をそのまま直接電波にのせて放送することには無理があります。そのためハイビジョン信号を圧縮する方式がMUSE方式です。

MUSEデコーダーとの接続

MUSEデコーダーを接続すると、本機でハイビジョン番組を見ることができます。

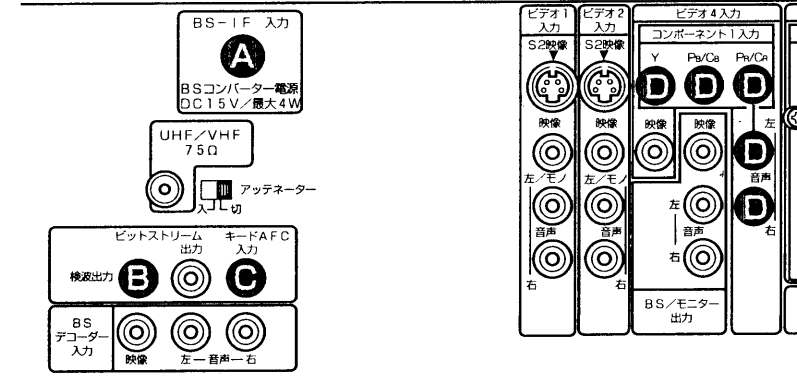
準備
 「コンポーネント1設定」を「MUSE」に設定する。 **50**



「デコーダー入力設定」でハイビジョン放送を設定したいチャンネルを「V4」(ビデオ4)にする **91**

2 テレビのチャンネルをハイビジョン番組が放送されているBSチャンネルに合わせる
 ハイビジョン番組はBS9で試験放送されています。(2000年9月現在)

3 MUSEデコーダーを操作する
 詳しくはMUSEデコーダーの取扱説明書をご覧ください。



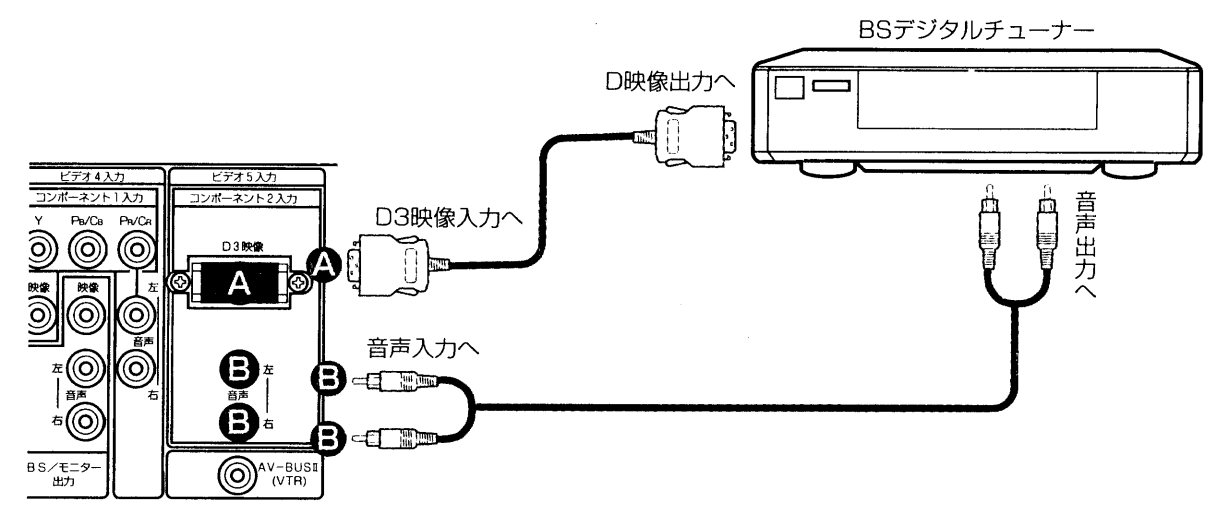
メモ
コンポーネント1入力端子について
 ●コンポーネント1入力端子はハイビジョン機器および将来実用化予定のデジタル機器のコンポーネント映像信号(525i (480i)、525p (480p)、1125i (1080i))を接続できます。525p (480p)、1125i (1080i)信号を入力時は、画面が自動的にフルモードになります。
 ●コンポーネント1入力の映像はモニター出力端子に出力されません。

多機能の使いかた ●他の外部機器と接続したいとき(つづき)

他の外部機器と
接続したいとき
(つづき)

BSデジタルチューナーとの接続

日立製BSデジタルチューナーをご利用になると、付属のリモコンで操作することができます。

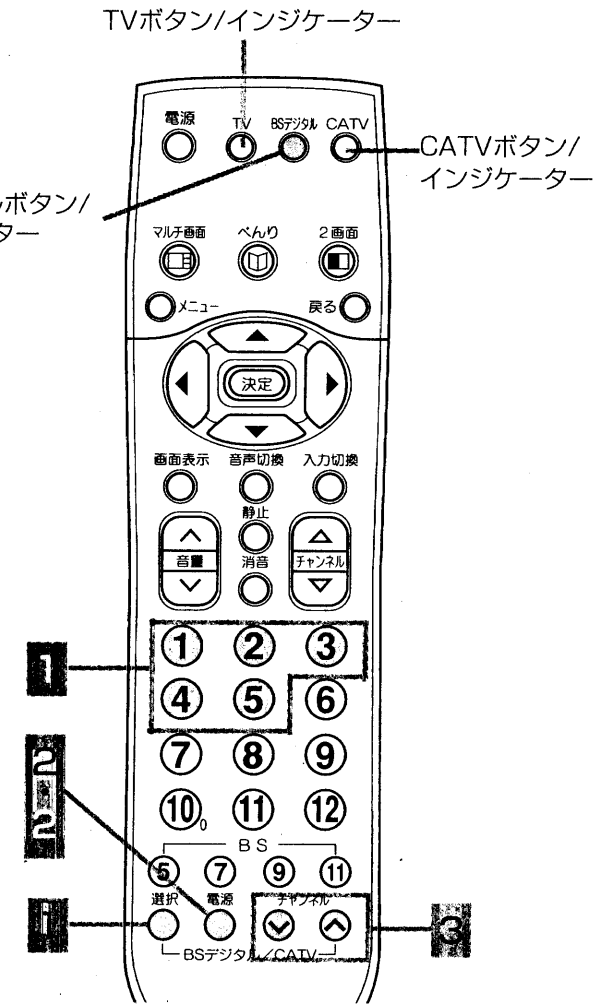


お知らせ
BSデジタルチューナーを操作するときは、BSデジタルチューナーのリモコン受信窓に向けてボタンを押してください。

BSデジタルボタンを押すと、リモコン下部のBSデジタル/CATV操作ボタンがBSデジタルチューナー操作モードに切り換わります。BSデジタルチューナー操作に関するボタンを押すと、BSデジタルインジケータが点滅します。テレビ操作に関するボタンを押すと、TVインジケータが点滅します。

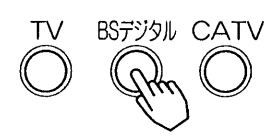
メモ
コンポーネント2入力端子について
●コンポーネント2入力端子 (D3映像) は、BSデジタルチューナーなどのD映像信号を接続できます。本機はD映像信号の525i (480i)、525p (480p)、1125i (1080i) に対応しています。525p (480p)、1125i (1080i) 信号を入力時は、画面が自動的にフルモードになります。
●コンポーネント2入力の映像はモニター出力端子に出力されません。
●詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

1 BSデジタルボタン/インジケータ



準備

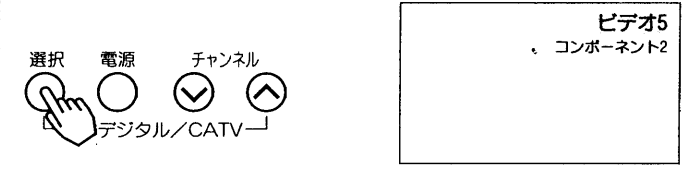
1. 左図のように接続する
2. BSデジタルボタンを押す



- BSデジタル/CATV操作ボタンがBSデジタルモードになります。
- ビデオ5 (コンポーネント2) が選択されます。

選択ボタンを押す

ビデオ5 (コンポーネント2) が選択されます。BSデジタルボタンを押してもビデオ5 (コンポーネント2) を選択することができます。
●本機のリモコンでBSデジタルチューナーを操作しないときは、入力切替ボタンでビデオ5にすることもできます。
●本機のTVまたはBSチャンネルを選局するときは ①~⑫、(⑤ ~ ⑪) のボタンを押します。



2 BSデジタルチューナーの電源を操作する

BSデジタル電源ボタンを押すと、BSデジタルチューナーの電源を入/切できます。



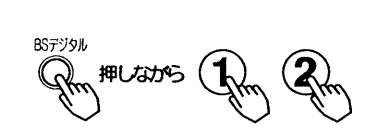
3 BSデジタルチューナーのCHを選択する

BSデジタルチャンネルV^Hボタンを押すと、BSデジタルチューナーのチャンネルを順次切り換えることができます。



BSデジタルチューナーの機器設定

- 1 リモコンのBSデジタルボタンを押しながら、数字ボタンで機器番号を設定する
ご使用のBSデジタルチューナーに合った番号を選んでください。



機器	機器番号
日立1	A ① ②
	B ① ③
	C ① ④
日立2	① ⑤

- 設定をまちがえたときは、はじめからやり直してください。
- お買い上げ時は、日立1-Aに設定されています。
- 乾電池を交換した場合は、もう一度設定してください。
- 日立1には、機器の設定状態により複数の番号があります。

- 2 BSデジタル電源ボタンを押す

BSデジタル電源ボタンを押して、BSデジタルチューナーの電源が「入/切」できれば、このリモコンでBSデジタルチューナーの操作ができます。



メモ
CATVホームターミナルを操作するときは、CATVボタンを押してください。 65

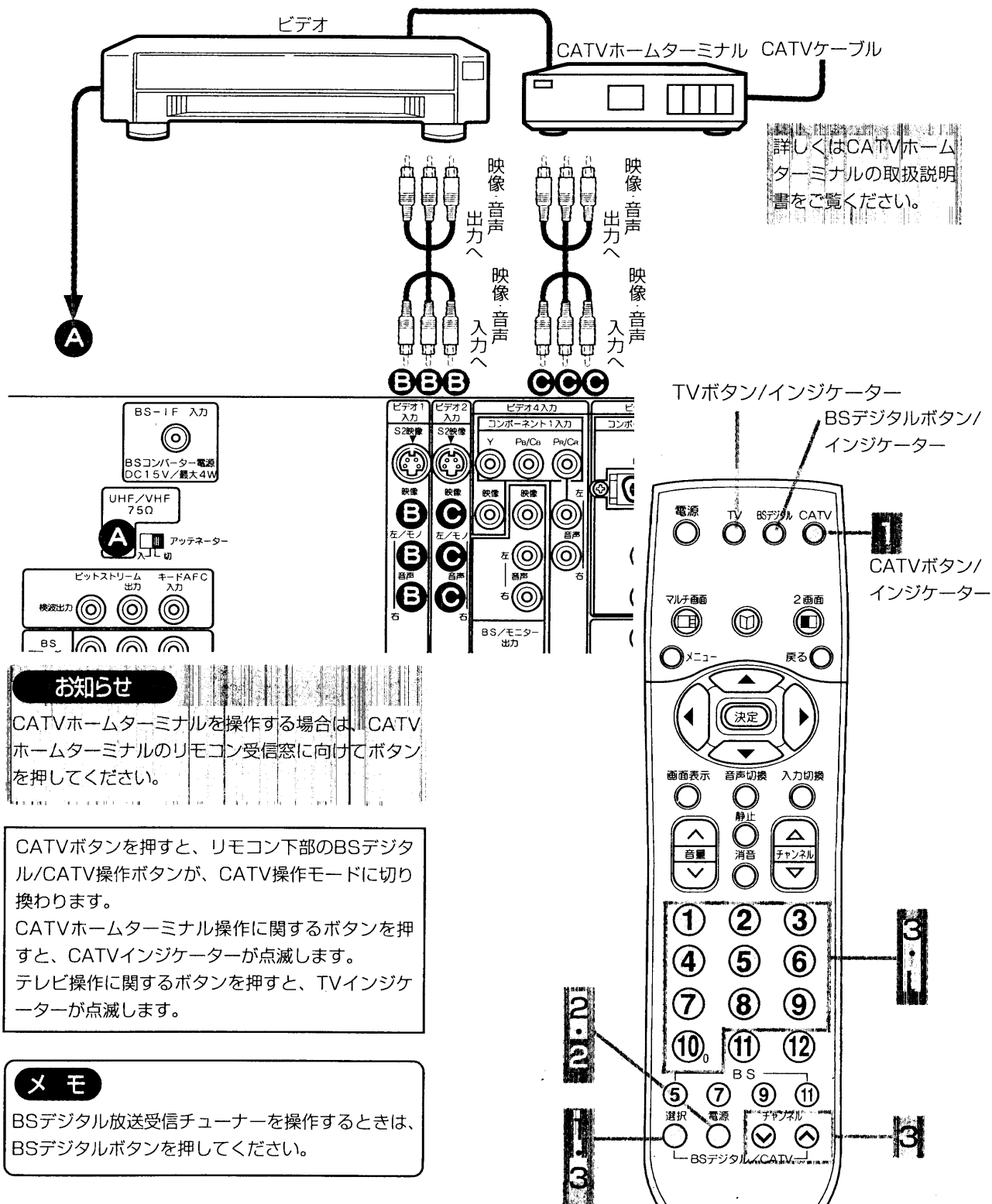
多機能の使いかた

●他の外部機器と接続したいとき(つづき)

他の外部機器と
接続したいとき
(つづき)

CATVホームターミナルとの接続

付属のリモコンで、9社のCATVホームターミナルの操作をすることができます。



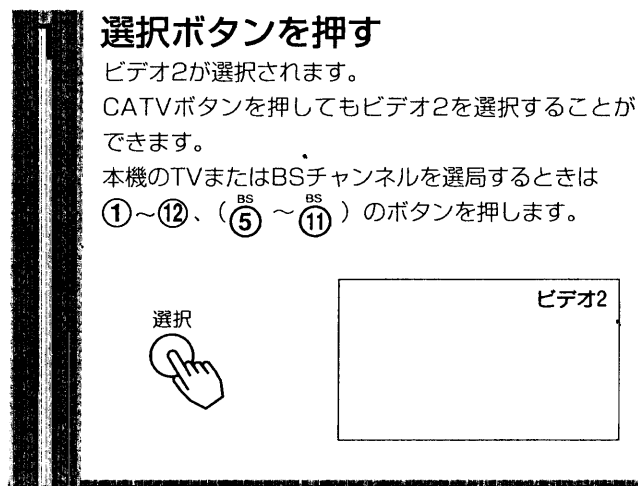
お知らせ
CATVホームターミナルを操作する場合は、CATVホームターミナルのリモコン受信窓に向けてボタンを押してください。

CATVボタンを押すと、リモコン下部のBSデジタル/CATV操作ボタンが、CATV操作モードに切り換わります。
CATVホームターミナル操作に関するボタンを押すと、CATVインジケータが点滅します。
テレビ操作に関するボタンを押すと、TVインジケータが点滅します。

メモ
BSデジタル放送受信チューナーを操作するときは、BSデジタルボタンを押してください。

準備

1. 左図のように接続する
 2. CATVボタンを押す
- BSデジタル/CATV操作ボタンがCATV操作モードになります。
●ビデオ2が選択されます。



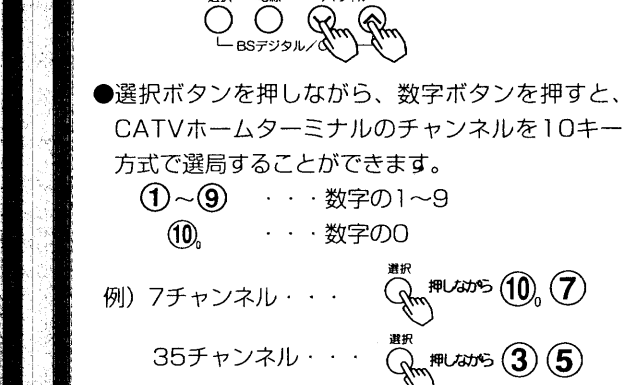
2 CATVホームターミナルの電源を入れる

CATV電源ボタンを押すと、CATVホームターミナルの電源を入/切できます。



3 CATVホームターミナルのCHを選択する

CATVチャンネルV^ボタンを押すと、CATVホームターミナルのチャンネルを順次切替えることができます。



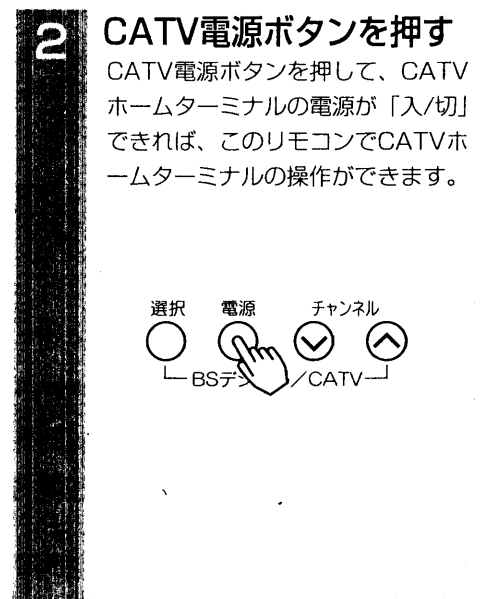
●CATVホームターミナルの電源に連動してテレビを「入」にしてビデオ2に自動的に切り換えることもできます。49

CATVホームターミナルのメーカー設定

1. リモコンのCATVボタンを押しながら、数字ボタンでメーカー番号を設定する
ご使用のCATVホームターミナルに合った番号を選んでください。
2. CATV電源ボタンを押す
CATV電源ボタンを押して、CATVホームターミナルの電源が「入/切」できれば、このリモコンでCATVホームターミナルの操作ができます。

メーカー	メーカー番号
日立	① ②
東芝	① ③
松下A	① ④
松下B	① ⑤
NEC	① ⑥
パイオニア	① ⑦
SA (サカイフィック・アソシエーツ)	① ⑧
富士通	① ⑨
DXアンテナ	① ⑩

- 設定をまちがえたときは、はじめからやり直してください。
- お買い上げ時は、日立に設定されています。
- 乾電池を交換した場合は、もう一度設定してください。



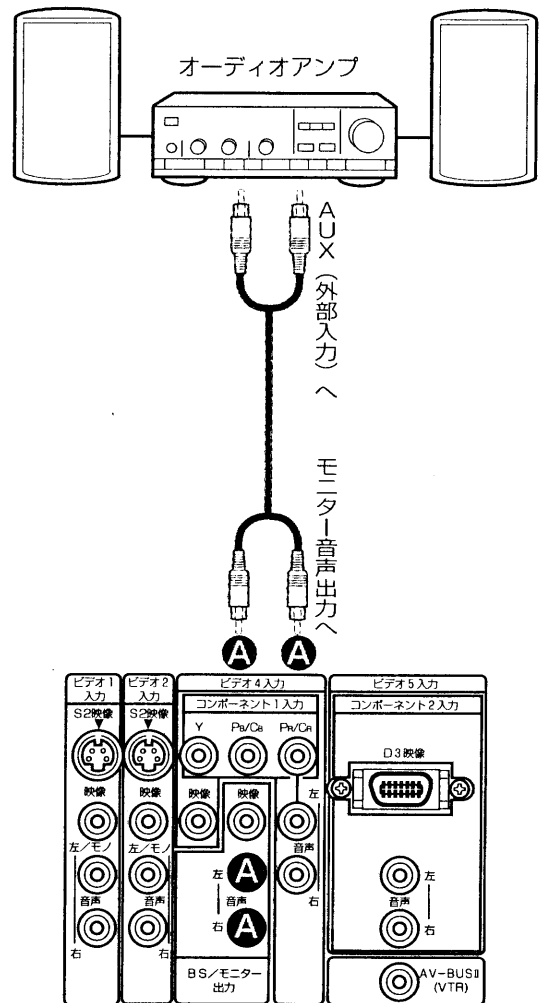
多機能の使いかた

●他の外部機器と接続したいとき(つづき)

他の外部機器と接続したいとき (つづき)

オーディオ機器との接続

ステレオ装置などを接続することにより、迫力ある音声を楽しむことができます。



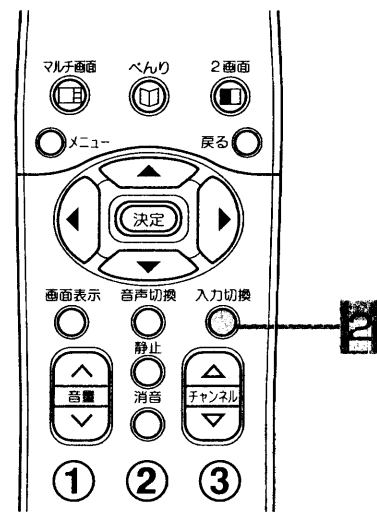
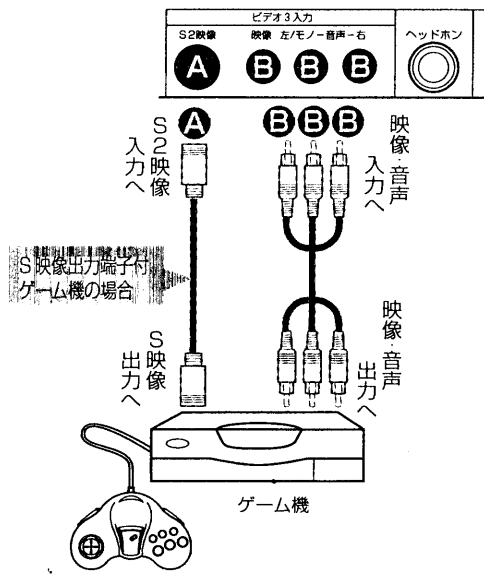
接続したステレオ装置などで音量を調節する
 ステレオ装置で音を楽しむ場合は、テレビの音量を最小にしておいてください。

将来発売予定機器との接続

テレビ関連機器の中には現在開発中で数年後に実用化されと思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使いかたなど、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

ゲーム機との接続

前面とびら内



お知らせ

- ゲームの種類・内容によっては、画面が欠ける場合があります。
- ライフルタイプやガン(銃)タイプのコントローラを使用するシューティングゲームなどは、本機では使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトおよびコントローラの取扱説明書をご覧ください。

1 テレビゲーム本体とテレビ前面のビデオ3入力端子を接続する
 テレビとの接続は、テレビゲーム本体の取扱説明書をご覧ください。

2 入力切替ボタンで「ビデオ3」を選ぶ

入力切替 ビデオ3

テレビ、またはBSチャンネルに戻すときは、チャンネルボタン①~⑫、BS5~BS11を押しします。

3 ゲーム機を操作する

ゲームモードについて

ゲームモードの設定 **49** を「入」に設定すると、ビデオ3に切り換えるだけで自動的に次のような設定が行われます。

- 映像モードはナチュラル、ワイドモードはフルモードに切り換わります。ゲーム画面でも映像モード、ワイドモードは切り換えることができます。テレビゲームを楽しむときは、目にやさしい画面の映像モード：ナチュラルをおすすめします。
- ビデオ3を選ぶと、時間が経過(1時間、1時間30分、…最大4時間)するごとに、時間を表示します(約5秒間)。表示時間を目安に適度な休憩をとり、お楽しみください。一度電源を「切」にすると、経過時間が0に初期化されます。

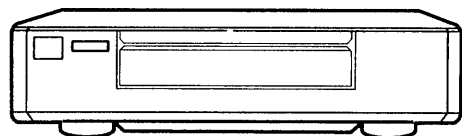
2時間たちました

多機能の使いかた ●他の外部機器と接続したいとき(つづき)

ビデオで衛星放送を録画するには

見ている衛星放送を録画したいとき

BSチューナー内蔵でないビデオで衛星放送を録画して楽しむことができます。



2

準備

ビデオをテレビに接続する 53

1 録画したいBSチャンネルを選び、音声の内容を選ぶ 31

録画するビデオに合わせて、音声内容を選んでください。(モノラルビデオ…「主」または「副」、Hi-Fiビデオ…「主/副」を選ぶ)

2 ビデオを外部入力に合わせて録画する

詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

メモ

ちょっとひとこと

- お手持ちのビデオによっては、上記「ビデオ側での操作」ができないものがあります。詳しくはお手持ちのビデオの取扱説明書をご覧ください。
- デコーダーを使用した場合、音声内容(主/副、TV/独立)は、デコーダーで指定します。

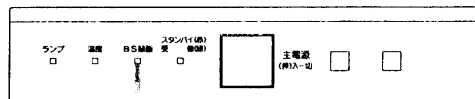


衛星放送を録画しながらテレビ放送を見たいとき

お守りください

衛星放送を録画するときの注意

- テレビ本体の主電源ボタンでテレビの電源を切ると録画ができません。1 ~ 4の操作をした後、必ずリモコンでテレビの電源を「切」にしてください。
- スクランブル放送録画中は、デコーダーの電源も切らないようにしてください。



BS録画インジケータ

準備

ビデオをテレビに接続する 53

1 録画したいBSチャンネルを選び、音声の内容を選ぶ 31

録画するビデオに合わせて、音声内容を選んでください。(モノラルビデオ…「主」または「副」、Hi-Fiビデオ…「主/副」を選ぶ)

2 べんりボタンを2回押す

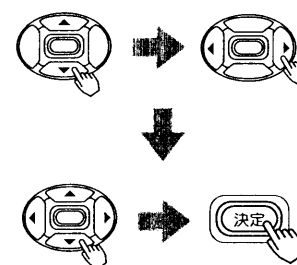


3 ⑤で「BSch固定」を選び、④で「入」にする

テレビのBS録画インジケータが点灯します。

⑤で「終了」を選び、決定ボタンを押す

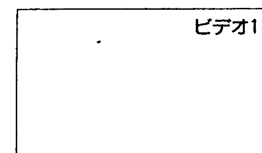
「BSch固定」を「切」にする場合は、「BSch固定」「入」にしたチャンネルを受信したときのみ「切」にできます。



べんり	
ワイド切換	スムーズ
画面位置	0
サラウンド	入
BSch固定	入 (BS 7)
TV/独立	TV
戻る	終了
↑で選んで ↓で設定	

4 入力切替ボタンで「ビデオ1」にする

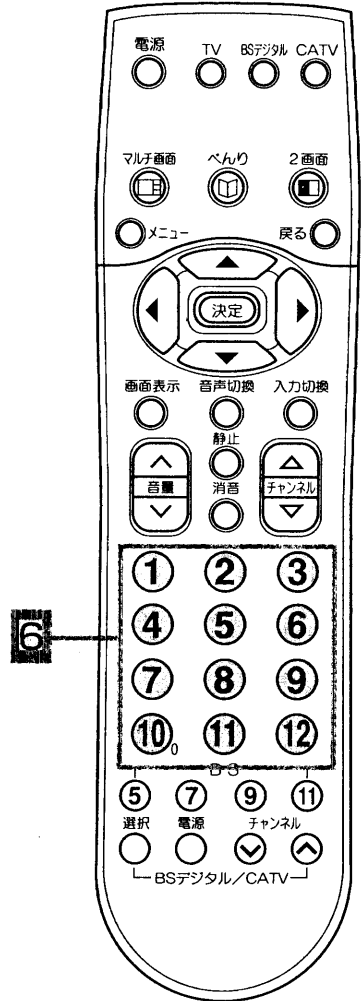
ビデオの出力を「ビデオ2」に接続している場合は、入力切替ボタンで「ビデオ2」にします。



多機能の使いかた

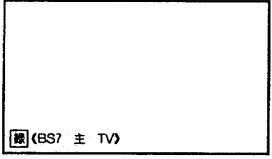
●ビデオで衛星放送を録画するには

ビデオで衛星放送を録画するには (つづき)

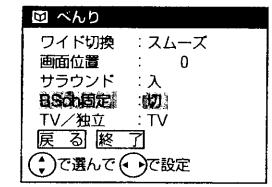


5 ビデオを外部入力に合わせて、録画したいチャンネルが映ることを確認し、録画をはじめる

6 ご覧になりたいテレビ放送のチャンネルを選ぶ
録画したいBSチャンネル以外のBSチャンネルを選ぶと、下図のような録画予約表示が出て、チャンネルが固定されていることを表示します。



7 録画が終わったらCH固定したBSチャンネルを選び、**2**、**3**と同じ手順で「BSch固定」を「切」にする
「BSch固定」を「入」にしておくと、他のBSチャンネルの選局はできません。



1番組のタイマー録画をしたいとき (留守録)

5 ~ **7**の操作をした後、ビデオを外部入力からのタイマー録画にします。
テレビの電源はリモコンで「切」にします。
ビデオのタイマー録画については、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
デコーダー入力設定を「V4 (ビデオ4)」に設定しているチャンネルは、BSch固定による録画はできません。 **91**

日立のAV-BUS端子付ビデオで衛星放送を録画したいとき

日立のBSチューナー内蔵でないビデオをご使用の場合、AV-BUS (AV-BUS II / AV-BUS III) 端子 (または、BSコントロール端子) がついているときは、ビデオからの指令によってテレビに内蔵のBSチューナーの「入・切」とチャンネル切り換えができます。タイマー録画のときには、無駄な電気を使いません。

準備

AV-BUS端子付ビデオをテレビに接続する (AV-BUS端子付でないビデオのときは、**68** ~ **70**をご覧ください。) **53** ~ **54**

見ている衛星放送を録画したいとき **68** と同じです

衛星放送を録画しながらテレビ放送を見たいとき **69** と同じです

衛星放送をタイマー録画したいとき.....

ビデオのタイマー録画を設定する

ビデオの機種により、録画するチャンネルの設定方法が異なります。詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
例1) BSボタンと数字ボタンを使い設定する機種の場合
BS5チャンネルの場合 ボタン操作: 「BS」 「0」 「5」
BS11チャンネルの場合 ボタン操作: 「BS」 「1」 「1」
例2) 数字ボタンを使い設定する機種の場合
BS5チャンネルの場合 ボタン操作: 「7」 「5」
BS11チャンネルの場合 ボタン操作: 「8」 「1」

録画したい放送	ビデオのチャンネル入力
BS1	71
BS3	73
BS5	75
BS7	77
BS9	79
BS11	81
BS13	83
BS15	85

2 設定時間がくると

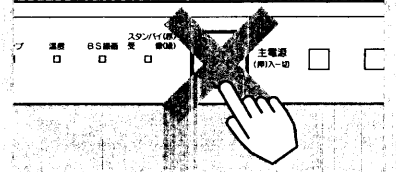
自動的にテレビ内蔵のBSチューナーの電源が入り、録画されて、終了すると電源が切れます。

お知らせ
デコーダー入力設定を「V4 (ビデオ4)」に設定しているチャンネルは、AV-BUSによる録画はできません。 **91**

お守りください

AV-BUS端子付ビデオで衛星放送を録画するときのご注意

テレビ本体の主電源ボタンでテレビの電源を切ると録画ができません。必ずテレビのリモコンでテレビの電源を切ってください。



AV-BUS II 端子は日立製のビデオのAV-BUS (AV-BUS II / AV-BUS III) 端子、BSコントロール端子にしか接続できません。

メモ

BSコントロール機能とは
BSチューナーが内蔵されていないビデオやテレビでも、BSチューナー内蔵機器と組み合わせ、BSを簡単に楽しめるようにする機能です。
日立のAV-BUS (AV-BUS II / AV-BUS III) 端子または、BSコントロール端子のついた機器で使います。

多機能の使いかた

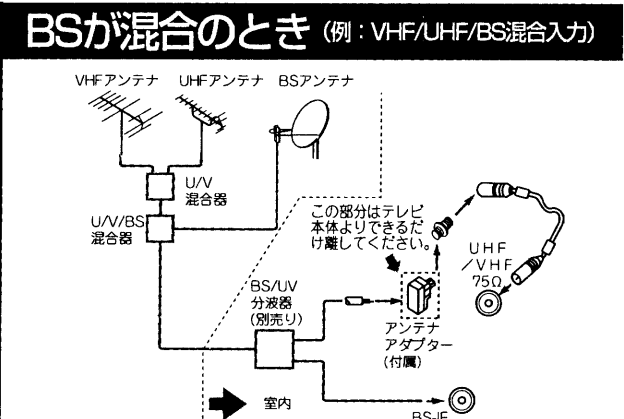
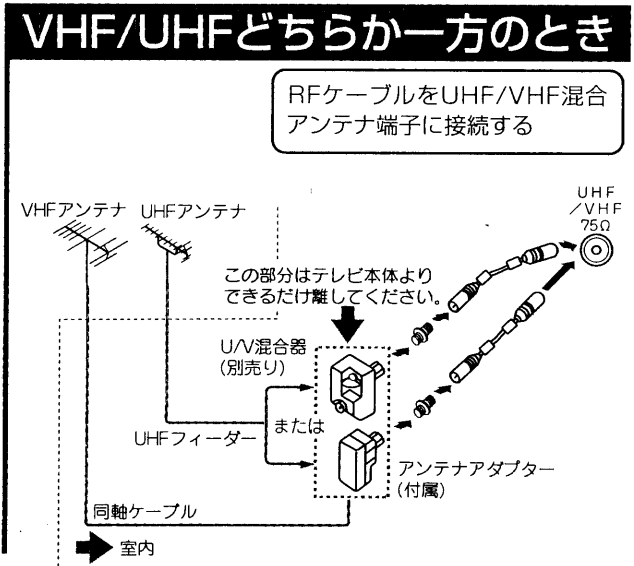
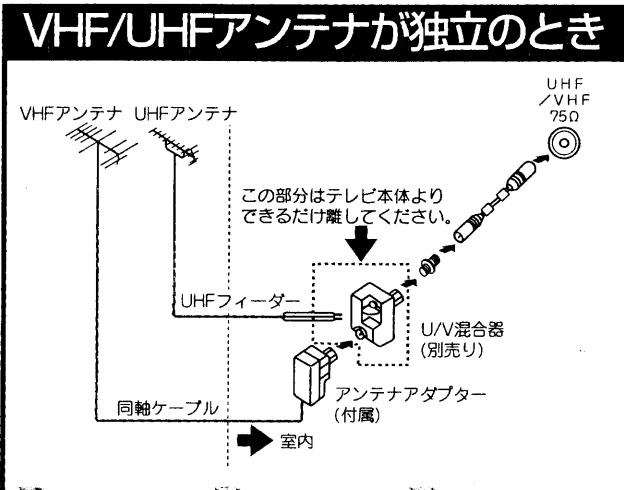
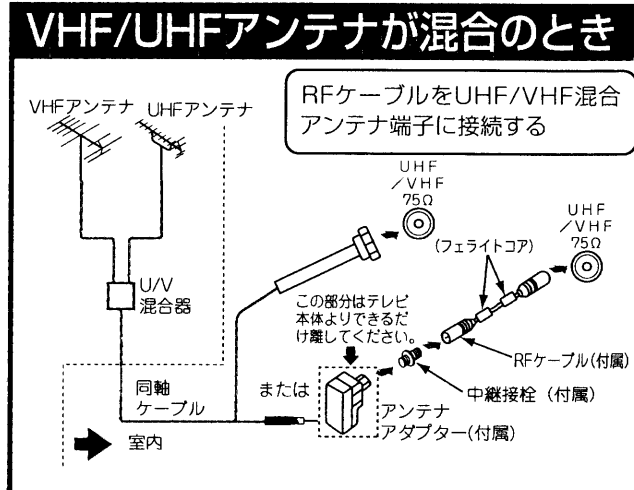
●ビデオで衛星放送を録画するには(つづき)
●日立のAV-BUS端子付ビデオで衛星放送を録画したいとき

アンテナ線の接続

△注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

VHF/UHFアンテナ線の接続

- ①アンテナの種類に応じ、下図の要領でUHF/VHF混合アンテナ端子に接続してください。
- ②本機のUHF/VHF混合アンテナ端子への接続に付属のアンテナアダプターを使用する場合は、付属の中継接栓とRFケーブルを使って、できるだけテレビ本体より離して接続してください。
- ③平行フィーダーの部分は、テレビ本体よりできるだけ離してください。



お守りください

アンテナ線接続時のご注意

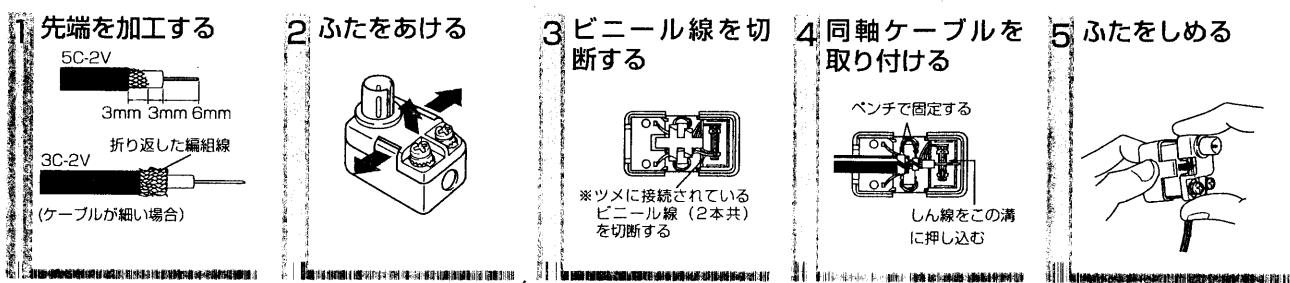
- アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
(平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、画面にしま模様が見れます。)
- 室内アンテナも妨害電波を受けやすいので、お避けください。
- アンテナ線に対して、電源コードや他の接続コード類をできるだけ離してください。

メモ

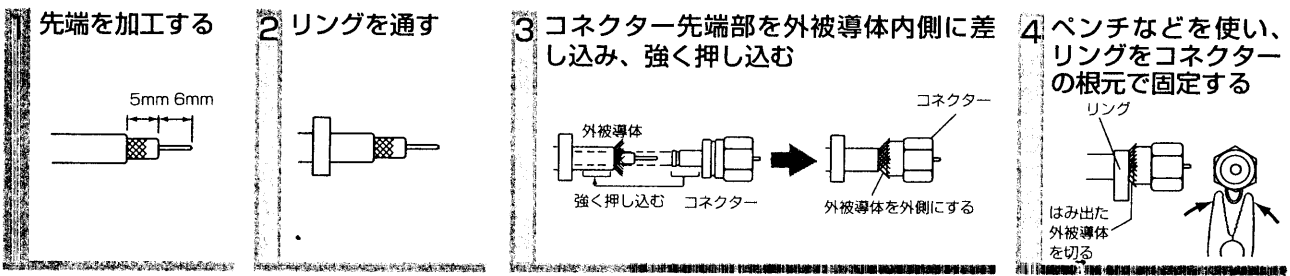
アンテナアダプターについて
同軸ケーブルやUHFフィーダーにアンテナアダプターなどが接続されていないときは、73を見て接続してください。

フェライトコア (付属) について
付属のRFケーブルを使用する場合は、フェライトコアを巻き付けて接続することをおすすめします (73をご覧ください。) フェライトコアを巻き付けることにより、弱電界時での妨害電波を抑制できます。

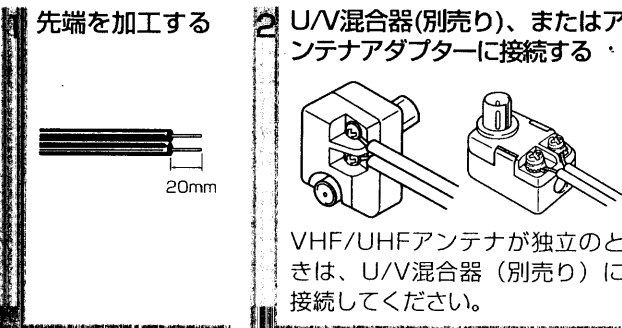
アンテナアダプターと同軸ケーブルの接続



F形接栓 (別売り) の接続

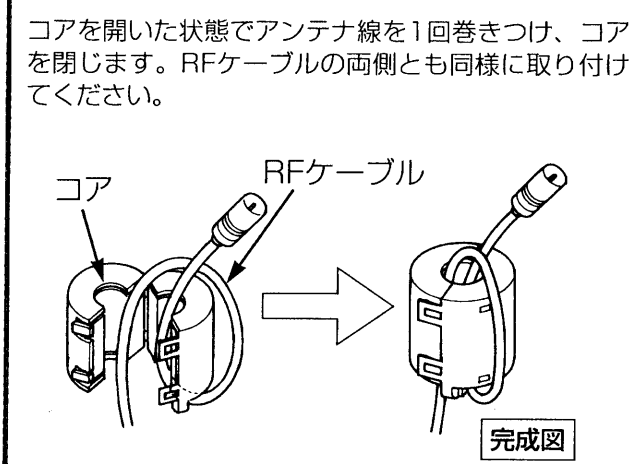


UHFフィーダーの接続



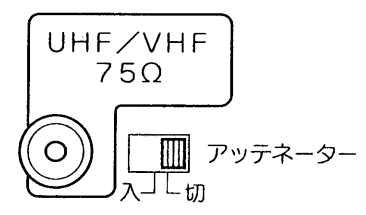
●UHFフィーダーはUHF専用のものをご使用ください。
(VHF平行フィーダーなどで、代用されますと、画質が悪くなります。)

フェライトコアの使いかた



アッテネーターについて

通常は「切」にします。アンテナから入る電波が強すぎて妨害が起こるような場合は、「入」にします。
スイッチが本体の中に入っていますので、先端の尖ったもので切り換えてください。



きれいな映像を楽しむために

きれいな映像をお楽しみいただくには、アンテナ線や各種ケーブル類の接続状態が非常に大切です。

- アンテナ線は同軸ケーブル (別売り) にF形接栓を接続して使用することをおすすめします。
- BS/UV分波器・分配器はシールドタイプの使用をおすすめします。

同軸ケーブル (別売り)

F形接栓 (別売り)

プラスチックタイプ (別売り)

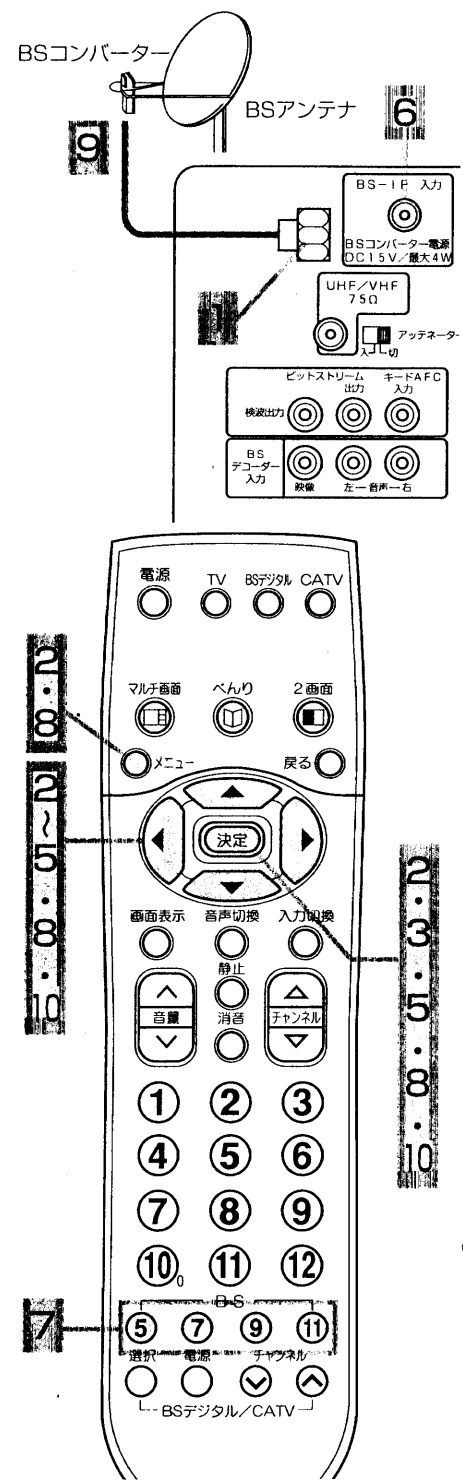
金属シールドタイプ (別売り)

設置
●アンテナ線の接続

アンテナ線の接続 (つづき)

BSアンテナ線を接続するには

接続するときには必ずテレビの電源を切ってください。BSアンテナが短絡すると、「BSコンバーター確認」と表示されます。この場合はテレビの電源を切ってからBSアンテナを確認し、もう一度電源を入れてください。現象がなおらない場合は、コンバーター電源を「切」に設定して、お買い上げの販売店にご相談ください。

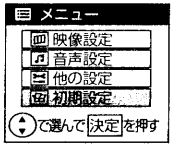


△注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。

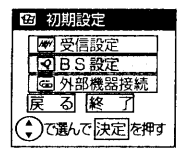
1 BSアンテナ線の同軸ケーブルをF形接栓（別売り）に接続する **73**

UHF, VHF, BSが混合されているときには、BS/UV分波器(別売り)が必要です。 **72**

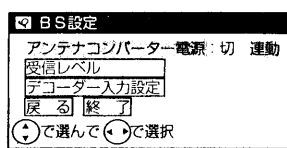
2 メニューボタンを押し、 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押し



3 で「BS設定」を選び、決定ボタンを押し



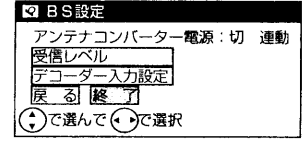
4 で「アンテナコンバーター電源」を選び、 で「連動」を選ぶ



お守りください

BSアンテナ線の接続についてのご注意
衛星放送を分配して他の機器で衛星放送を視聴する場合、BS分配器は必ず多端子タイプの電流通過形をご使用ください。
多端子タイプ電流通過形でない場合は、BSアンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。

5 で「終了」を選び、決定ボタンを押し

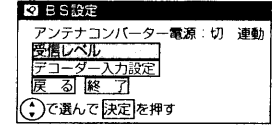


- マンションなどの共同受信の場合は、「切」でお使いください。
- 別売りのBS分配器を使って、2台以上のBSチューナー内蔵機器をご使用の場合も、共同受信でなければ「連動」にします。
※BS分配器は全端子電流通過形をご使用ください。本機および他の機器のBSコンバーター用電源スイッチは「連動」にしてください。
(1端子のみ電流通過形分配器をご使用の場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。)

6 F形接栓(別売り)をBS-IF入力端子に接続する
BS-IF入力端子は、BSコンバーターからの信号を受けるための端子です。また、この端子からBSコンバーターにDC+15Vを供給します。BSアンテナ線を接続するときには必ずテレビの電源を切ってください。

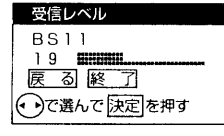
7 BSチャンネルを選局する
衛星放送を受信します。

8 **2~4**と同様の操作で、「受信レベル」を選び、決定ボタンを押し



本機は衛星放送用アンテナ入力レベル(受信レベル)を画面に表示させることができますので、設置調整時の目安として使用できます。

9 BSアンテナの向きを調節して、数値が一番大きくなる場所に設定する



10 で「終了」を選び、決定ボタンを押し

×モ
BSアンテナ線の接続についてのお願い

- 付属のアンテナアダプターはVHF/UHF用ですので、BS-IF入力端子には使用できません。F形接栓(別売り)をご使用ください。
- アンテナの方向調整、設置についてはアンテナの取扱説明書をご覧ください。また、お買い上げの販売店にご相談ください。

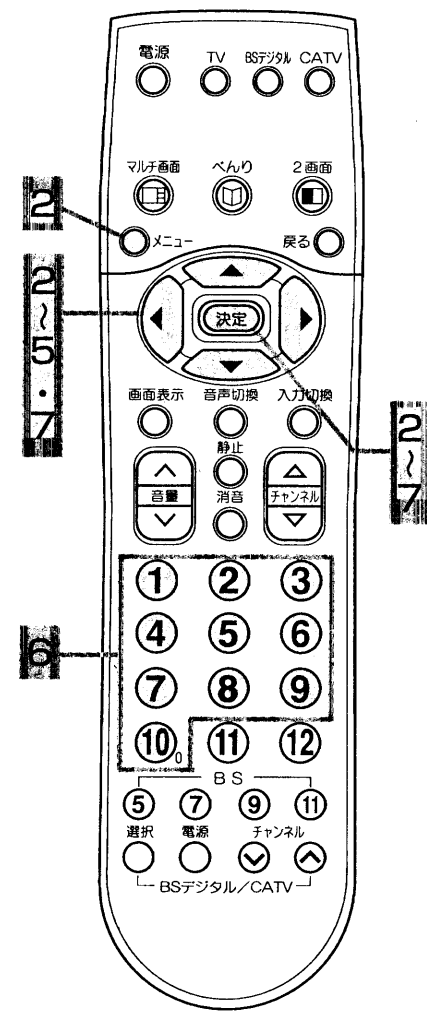
映りがよくないときには
衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナ、チューナーなどの正確な調整が必要です。もし、映りがよくないときには販売店にご相談ください。また、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できないことがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。

設置
●アンテナ線の接続(つづき)

受信設定 について

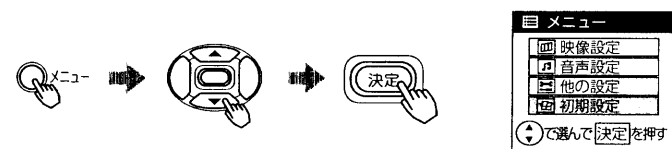
チャンネルの合わせかた (地域番号)

お住まいの都市の地域番号を入力すると、地域番号一覧表に記載された放送局を設定することができます。地域番号一覧表に記載されていない地域の方や、地域番号によるチャンネル設定後その他のチャンネルを追加した場合は、「チャンネルの合わせかた (マニュアル)」**84**をご覧ください。



1 地域番号一覧表からお住まいの都市の地域番号を調べる **78 ~ 83**

2 メニューボタンを押し、 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押し

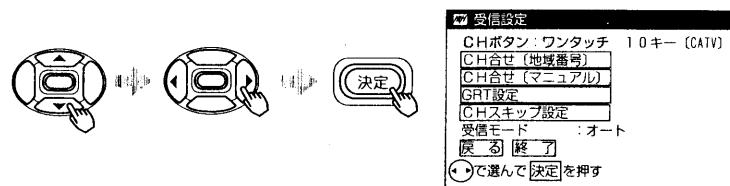


3 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押し



べんり機能で「BSch固定」を「入」に設定していると、受信設定はできません。
「BSch固定」を「切」に設定する場合は **69** を参照してください。

4 で「CHボタン」を選び、 で「ワンタッチ」を選び、決定ボタンを押し



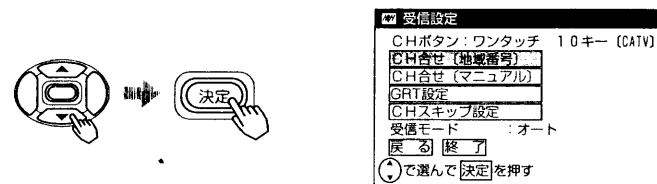
(注) 10キー (CATV) を選んでいると、CH合せ (地域番号) の設定は使用できません。
CH合せ (地域番号) の表示が消えます。

お知らせ

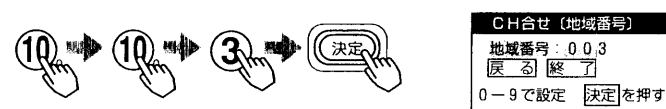
一覧表の都市名にお住まいの場合でも、場所によって放送局が異なる場合があります。このような場合は、チャンネルの合わせかた (マニュアル) **84** によって設定を行ってください。

一部の放送局 (●マーク) は、CHスキップ設定が「スキップする」に設定されています。必要に応じて、CHスキップ設定 (**92**) を「スキップしない」に設定してください。

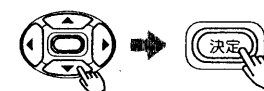
5 で「CH合せ [地域番号)」を選び、決定ボタンを押し



6 「地域番号一覧表」**89 ~ 95** を参照して、チャンネルボタンで地域番号を設定し、決定ボタンを押し



7 で「終了」を選び、決定ボタンを押し



×モ

お買い上げ時の設定に戻すには、手順 **6** で「000」(000)を入力します。

地域番号によるチャンネル合せについて

地域番号一覧表に記載されている地域の場合は、地域番号を設定するだけで自動的にチャンネルが設定されます。

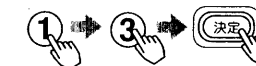
地域番号の入力について

6 の操作のときに、頭に「0」の付く番号は、「0」を省略することができます。

003のとき

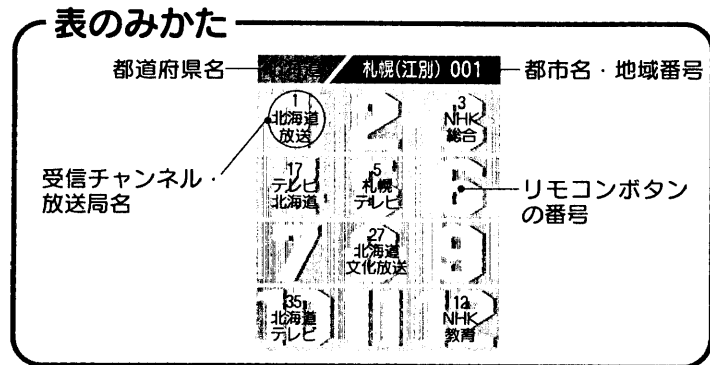


013のとき



受信設定について (つづき)

〔地域番号一覧表〕 (2000年9月現在) () 内の数字は表示番号を示します。



二戸 105				仙台 004				石巻 106				気仙沼 107				秋田 005			
大館 054				大曲 108				山形 006				鶴岡(酒田) 055				米沢 109			
北見 049				帯広 050				釧路 051				函館 052				苫小牧 066			
小樽 067				室蘭 068				名寄 100				稚内 101				網走 102			
青森(弘前) 002				八戸 053				むつ 103				盛岡 003				釜石 104			
宇都宮 009				矢板 070				前橋(高崎) 010				桐生 071				浦和 011			
熊谷 072				秩父 110				千葉 012				銚子 111				23区 013			

設置 ●受信設定を行う(ON)

受信設定について (つづき)

表のみかた

都道府県名 **北海道** 札幌(江別) 001 都市名・地域番号

受信チャンネル・放送局名

リモコンボタンの番号

※()内の数字は表示番号を示します。

明石(加古川) 089	三木 090	奈良(橿原) 029	五条 126	和歌山 030
田辺(白浜) 127	田辺(横山) 128	御坊 129	鳥取 031	松江 032
浜田 061	岡山(倉敷) 033	津山 133	笠岡 134	広島 034
福山 060	尾道 135	呉 091	山口 035	下関 092
宇部 093	岩国 094	徳島 036	高松 037	丸亀 095

松山 038	新居浜 062	今治 096	宇和島 136	高知 039
福岡 040	北九州 063	久留米 097	大牟田 098	行橋 137
佐賀 041	長崎 042	諫早 139	佐世保 099	熊本(八代) 043
大分(別府) 044	中津 138	宮崎(都城) 045	延岡 064	鹿児島 046
阿久根 065	鹿屋 140	那覇(沖縄) 047		

設置 ●受信設定したテレビ (H) (H) (H)

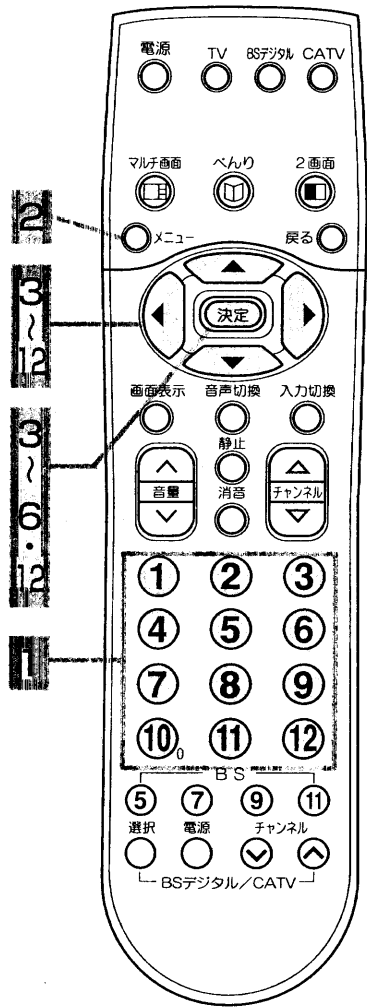
受信設定について (つづき)

チャンネルの合わせかた (マニュアル)

地域番号一覧表に記載されていない地域や、地域番号によるチャンネル合わせをした後でその他のチャンネルを追加設定することができます。

ワンタッチ方式

例) リモコンの⑥の位置にUHFの42チャンネルを設定する方法



- 変えたいチャンネルボタンを押す
- メニューボタンを押す
- で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

初期設定
映像設定
音声設定
他の設定
初期設定
- で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

初期設定
受信設定
BS設定
外部機器接続

べんり機能で「BSch固定」を「入」に設定していると、受信設定はできません。
「BSch固定」を「切」にする場合は **69** を参照してください。
- で「CHボタン」を選び、で「ワンタッチ」を選択し、決定ボタンを押す

受信設定
CHボタン: ワンタッチ 10キー (CATV)
CH合せ (地域番号)
CH合せ (マニュアル)
GRT設定
CHスキップ設定
受信モード : オート

 - お買い上げ時は、「ワンタッチ」に設定されています。
 - ワンタッチ：1回だけボタンを押せば選局できます。
 - 10キー：2桁の数字で選局できます。 **86**

お知らせ

「BSch固定」が「入」のときは、受信設定はできません。「BSch固定」を「切」にする場合は **69** を参照してください。

メモ

ボタン番号17P~20Pについて
リモコンのボタンだけでは足りない場合の予備のボタン番号です。17P~20Pに設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネルアップダウンボタンで選ぶことができます。(チャンネルスキップ設定 **92** を「スキップしない」に設定した場合)

- で「CH合せ [マニュアル]」を選び、決定ボタンを押す

受信設定
CHボタン: ワンタッチ 10キー (CATV)
CH合せ (地域番号)
CH合せ (マニュアル)
GRT設定
CHスキップ設定
受信モード : オート
- で「設定モード」を選び、で「CH」を選択する

CH合せ (マニュアル)
設定モード : CH 微調
ボタン番号 : 5P
チャンネル : 5 (VHF)
表示 : 5
- で「ボタン番号」を選び、で「5P」を選択する

CH合せ (マニュアル)
設定モード : CH 微調
ボタン番号 : 5P
チャンネル : 5 (VHF)
表示 : 5

 - 最初は現在の受信チャンネルボタンが表示されます。
- で「チャンネル」を選び、で「42」を選択する

CH合せ (マニュアル)
設定モード : CH 微調
ボタン番号 : 5P
チャンネル : 42 (UHF)
表示 : 5

 - ボタンを0.5秒以上押し続けると自動的に放送チャンネルを探して止まり、映像が出ます。
 - 設定モードが「微調」のときは、受信しているチャンネルの同調を微調節することができます。

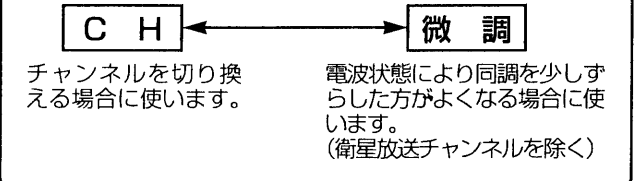
メモ

CATV (ケーブルテレビ) について
CATVはUHF62チャンネルとBS1チャンネルの間で設定できます。

—VHF1~12—UHF13~62—CATV13~35—BS1~15—

CATVは、サービスがある地域でのみ受信できます。受信するには、CATV会社との加入手続きが必要です。また、スクランブル方式など有料のCATVの場合は、受信契約に加え、アダプターの使用が必要になります。詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。

選局時の「CH」、「微調」の選択について
7の操作のときに を押し、選局モードがつぎのように変わります。



- で「表示」を選び、で「42」を選択する

CH合せ (マニュアル)
設定モード : CH 微調
ボタン番号 : 5P
チャンネル : 42 (UHF)
表示 : 42

 - 画面表示ボタンを押すと「42」と表示されるようになります。
- 設定したチャンネルで、微調したい場合は で「設定モード」を選び、で「微調」に設定する
で「チャンネル」を選び、で同調をずらし微調する
- で「終了」を選び、決定ボタンを押す

※複数のチャンネルを変更する場合 **8**~**12** の操作をくり返す

設置 ●受信設定について (つづき)

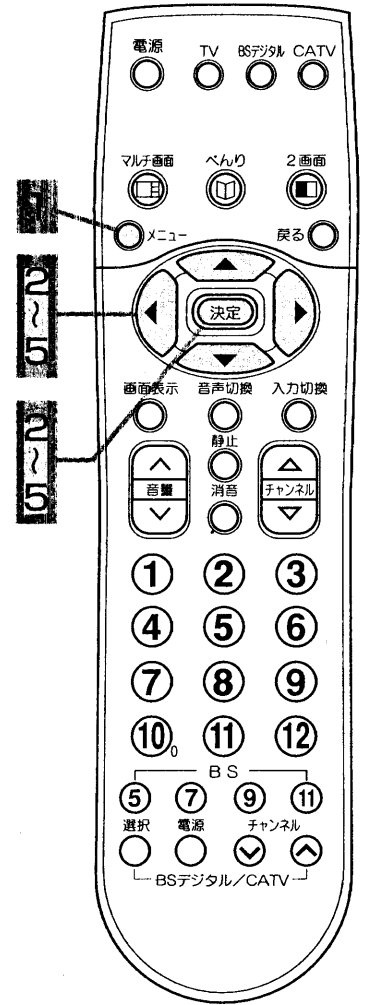
受信設定について (つづき)

10キー方式にかえる場合

10キー方式について
 CATVをご覧になるときは、10キー(CATV)を選択します。VHFおよびCATV (C13~35)が①~⑩のボタンで選局することができます。10キー方式でチャンネルを選ぶときは、リモコンCHボタンは、次の意味となります。

①~⑨ …… 数字の1~9
 ⑩ …… 数字の0

例) 7チャンネル …… ⑩⑦
 12チャンネル …… ①②
 CATV C35チャンネル …… ③⑤



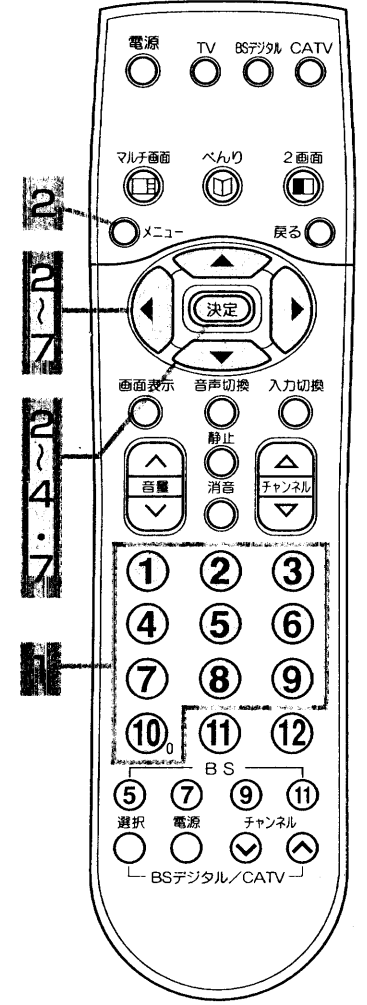
- 1 **メニューボタンを押す**
- 2 **メニューボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**
- 3 **メニューボタンで「受信設定」を選び、決定ボタンを押す**
- 4 **メニューボタンで「CHボタン」を選び、メニューボタンで「10キー〔CATV〕」を選択し、決定ボタンを押す**
- 5 **メニューボタンで「終了」を選び、決定ボタンを押す**

お知らせ
10キーモード時のご注意

- 10キー〔CATV〕を選択しますと、UHFを受信することはできません。
- 表示番号の入替はできません。
- CH合せ〔地域番号〕は設定できません。

微調する場合

電波状態により同調を少しずらした方がよくなる場合には、チャンネルの同調を微調節します。
 例) CATV(C35)チャンネルを微調したいとき



- 1 **微調したいチャンネルボタンを押す**
- 2 **メニューボタンを押し、メニューボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**
- 3 **メニューボタンで「受信設定」を選び、決定ボタンを押す**
- 4 **メニューボタンで「CH合せ〔マニュアル〕」を選び、決定ボタンを押す**
- 5 **メニューボタンで「設定モード」を選び、メニューボタンで「微調」を選択する**
- 6 **メニューボタンで「チャンネル」を選び、メニューボタンで微調する**
- 7 **メニューボタンで「終了」を選び、決定ボタンを押す**

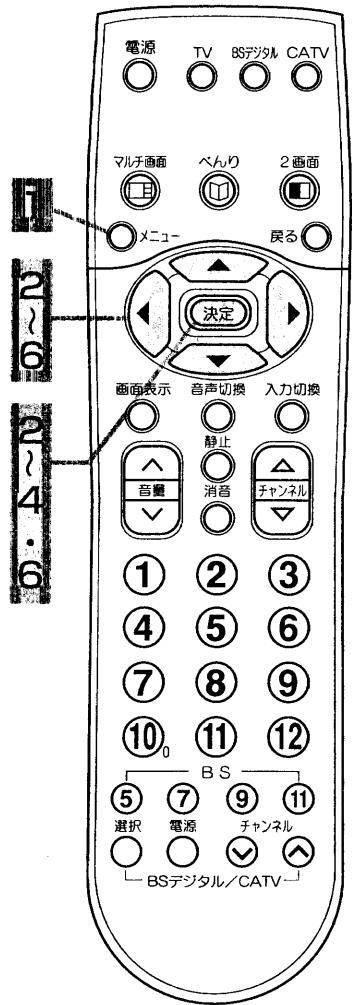
※複数のチャンネルを変更する場合 ①~⑦ の操作をくり返す

設置 ●受信設定(10キー) (CATV)

受信設定について (つづき)

ゴースト妨害を低減したいとき (ゴーストリダクション)

本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー (GRT) を搭載しています。地上放送をご覧になっているとき、ゴースト妨害が気になるチャンネルについてはGRT設定を行います。GRT設定はべんり機能で設定することもできます。**27**
 ゴースト妨害については **23** の説明をご覧ください。



1 メニューボタンを押す

2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

4 で「GRT設定」を選び、決定ボタンを押す

お知らせ

- ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号 (GCR信号) に基づいて行います。このGCR信号がないときは、ゴーストは低減できません。
- ゴーストリダクションは、地上放送をご覧になっているときに働きます。衛星放送やビデオ入力端子に入力した映像に対しては働きません。
- 地上放送をご覧になっているときでも、次のような場合はゴーストリダクションが動かなくなったり、ゴーストが残ることがあります。
 - ・受信状態が良くないとき
 - ・UHF/VHFアンテナの向きが合っていない場合やアンテナ線の接続が正しくない場合など **72**
 - ・ゴースト妨害が大きいとき
 - ・飛行機など動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき
 - ・ゴーストの数が多いとき。
- ゴーストの無い地域では、GRT設定を「切」にしてお使いになることをおすすめします。
- ゴーストの状態によっては、「1」または「2」の設定でも、ゴーストが取り切れない場合があります。
- 衛星放送チャンネルを選んだときのGRT設定は「-」と表示され設定することができません。
- チャンネル合わせ (地域番号) で地域番号を変更したり **76**、チャンネル合わせ (マニュアル) でチャンネル設定を変更する **84** とGRT設定は自動的に「1」が設定されます。必要に応じてもう一度設定してください。
- ゴースト低減された信号をモニター出力端子から出力することはできません。
- ゴーストリダクション機能は、テレビの電源を入れたとき、またはテレビチャンネルを選んだときに働きます。
- ゴーストリダクション機能が動くときに画面がガタつくことがあります。故障ではありません。
- VHF/UHFアンテナの設置や調整を行うときは、GRT設定を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。
- ビデオのアンテナ出力を1chまたは2chにしてテレビと接続しているときは、GRT設定を「切」にしてください。

5 で変更したいチャンネルを選び、 で「GRTモード」を選択する

6 決定ボタンを押した後、 で「終了」を選び、決定ボタンを押す

メモ
 10キーモード時のGRT設定について
 10キーモードを選んだ場合 **86** も、ワンタッチモードと同じように設定することができます。

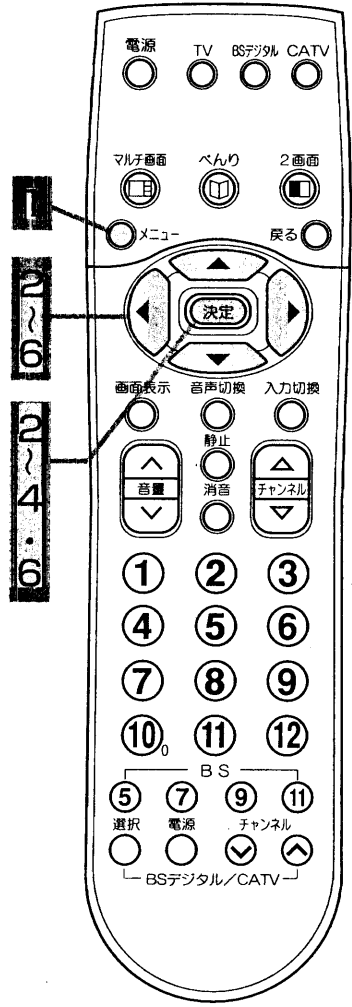
※複数のチャンネルを変更する場合 **5** の操作をくり返す

設置
 ●受信設定 (11) (つづき)

受信設定について (つづき)

デコーダーの入力設定について

セント・ギガ放送を楽しむとき、MUSE-NTSCコンバーター、MUSEデコーダーを接続するときなどに設定します。



- 1 **メニューボタンを押す**
- 2 **決定ボタンを押す**

初期設定

 - 映像設定
 - 音声設定
 - 他の設定
 - 初期設定

決定
- 3 **BS設定を選び、決定ボタンを押す**

初期設定

 - 受信設定
 - BS設定
 - 外部機器接続

決定
- 4 **デコーダー入力設定を選び、決定ボタンを押す**

BS設定

 - コンバーター電源: 切 運動
 - 受信レベル
 - デコーダー入力設定

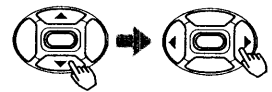
決定

お知らせ

デコーダー入力設定について

- 「オート」側でBSデコーダーを使用する場合、映像と音声が変わるときは、BSデコーダーの音声切替の状態を確認してください。
- 「BS入力」に設定されている場合は、BSデコーダーの音声の選択が優先されます。
 テレビ側で音声切り換えはできません。
- 「V4 (ビデオ4)」に設定しているチャンネルは、BSch固定またはAV-BUSによる録画はできません。

5 「BSチャンネル」を選び、「入力」を設定する



BS7より下を選ぶと、BS9, BS11, ...BS15のチャンネルが順次表示されます。

デコーダー入力設定

BS 1	: オート	BS入力	V2	V4
BS 3	: オート	BS入力	V2	V4
BS 5	: オート	BS入力	V2	V4
BS 7	: オート	BS入力	V2	V4

戻る 終了

デコーダー入力設定

BS 9	: オート	BS入力	V2	V4
BS 11	: オート	BS入力	V2	V4
BS 13	: オート	BS入力	V2	V4
BS 15	: オート	BS入力	V2	V4

戻る 終了

設定状態	使いかた
オート	BSスクランブル放送を自動判別し、スクランブル放送時に、自動的にBS入力端子に接続されたBSデコーダーを選びます。 通常「オート」でご使用ください。
BS入力	放送内容によらずBS入力端子に接続されたBSデコーダーを選びます。 セント・ギガ放送を楽しむときは、「BS入力」に設定します。
V2 (ビデオ2)	ビデオ2に接続されたMUSE-NTSCコンバーターを選びます。 MUSE-NTSCコンバーターを接続して、ハイビジョン番組を楽しむときに設定します。
V4 (ビデオ4)	ビデオ4に接続されたMUSEデコーダーを選びます。 MUSEデコーダーを接続して、ハイビジョン番組を楽しむときに設定します。 「コンポーネント設定」の「コンポーネント1」は「MUSE」に設定します。50

6 決定ボタンを押した後、「終了」を選び、決定ボタンを押す



メモ
 ちょっとひとこと
 ● デコーダー入力設定は、通常は「オート」側でお使いください。
 ● BSデコーダーの電源が「切」になっているとき、BS入力端子にケーブルを接続していないときなどは、BS入力端子に切り換わりません。(「オート」または「BS入力」設定時)

設置 ● 受信設定について (つづき)

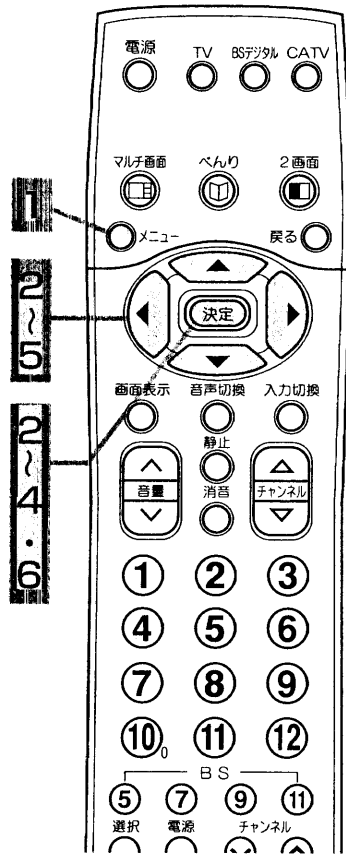
※複数のチャンネルを入力する場合 5 の操作をくり返す

受信設定について (つづき)

空きチャンネルを飛び越し選局したいとき

本体のチャンネルボタン、リモコンで選局するとき、空きチャンネルを自動的に飛び越し(スキップ)して早く選局できます。

例) リモコンの⑫のチャンネルボタンを飛び越したいとき



- メニューボタンを押す
- ②で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
- ③で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す
- ④で「CHスキップ設定」を選び、決定ボタンを押す

- ⑤で「12P」を選び、⑥で「スキップする」を選択する

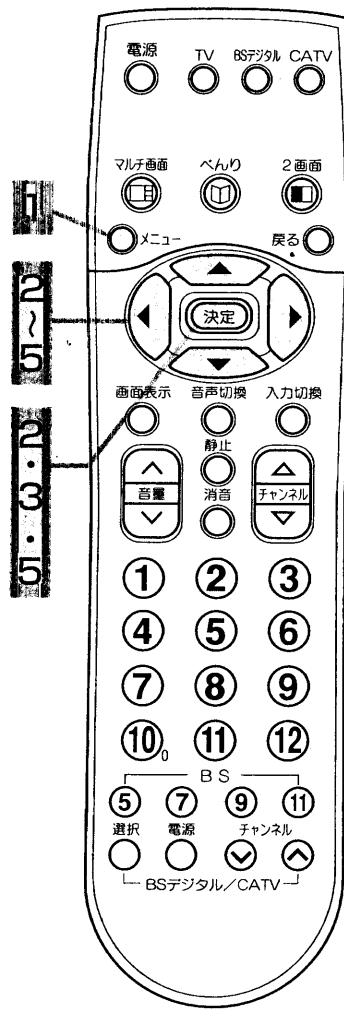
- 決定ボタンを押した後、⑥で「終了」を選び、決定ボタンを押す

※複数のチャンネルを飛び越しする場合 ⑤の操作をくり返す

メモ
10キーモード時の空きチャンネルの飛び越し選局について
10キーモードを選んだ場合 86も、ワンタッチモードと同じように空きチャンネルの飛び越し選局を設定することができます。
ボタン番号17P~20Pについて
リモコンのボタンだけでは足りない場合の予備のボタン番号です。17P~20Pに設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネルアップダウンボタンで選ぶことができます。(チャンネルスキップ設定を「スキップしない」に設定した場合)

受信モードの設定について

受信状態が良くない場合に、ノイズを軽減することができます。



- メニューボタンを押す
- ②で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
- ③で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す
- ④で「受信モード」を選び、⑤で設定する

設定	設定のポイント
オート	受信状態に応じて自動調整
1	受信状態が良い場合
2	↑ ↓
3	
4	
5	受信状態が悪い場合

お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

- ⑤で「終了」を選び、決定ボタンを押す

お知らせ
●受信モード設定は、チャンネルの受信状態に応じて設定します。通常は「オート」でお使いください。お好みの設定にしたいときは「1~5」を設定します。
●地上放送と衛星放送の受信モード設定は、それぞれ単独に設定することができます。
●受信モードはビデオ入力に対しては働きません。

設置 ●受信設定について(つづき)

性能の維持 について

エアフィルターを掃除するには

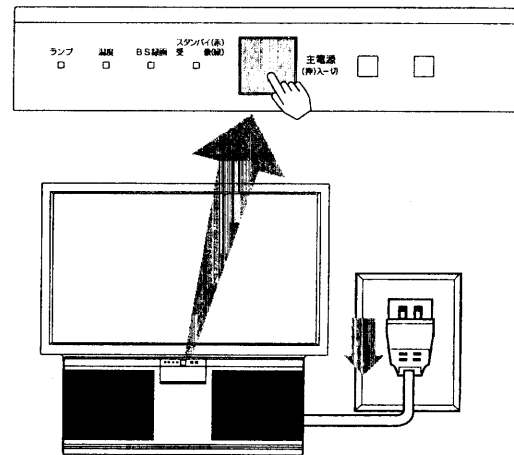
本機には、吸気孔（前面）からのほこりの侵入を防ぐためにエアフィルターが付いています。

このエアフィルターが目づまりを起こすと本機内部の温度上昇を防止するため、電源が自動的に「切」になることがあります。105

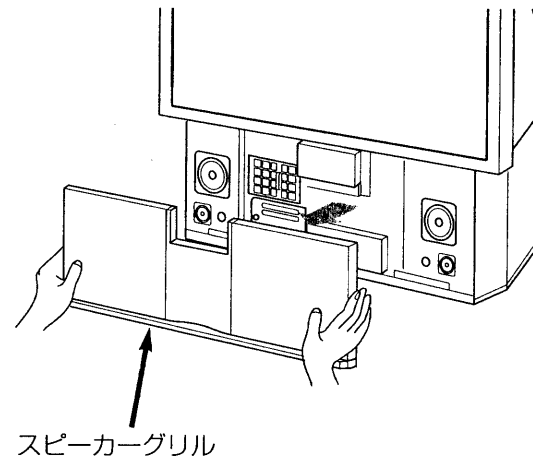
エアフィルターは約500時間（約2ヶ月）を目安に点検・清掃を行ってください。

汚れが落ちなくなったり破損したときは、交換が必要です。新しいフィルターについては、お買い求めの販売店またはご相談窓口107にお問い合わせください。

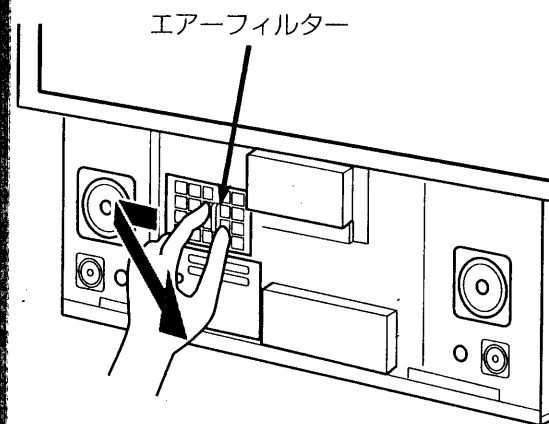
1 本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



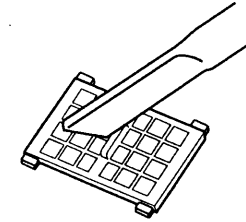
2 前面のスピーカーグリルを手前に引きはさず



3 エアフィルターの中央を持って左側に動かし、手前に引きはさず



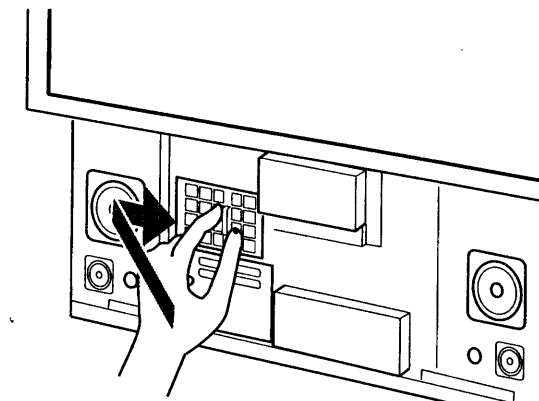
4 掃除機などでエアフィルターのほこりを吸い取る



お守りください

水洗いはしないでください。故障の原因となります。

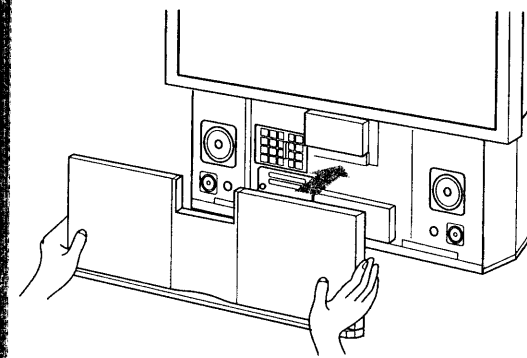
5 エアフィルターを取り付ける



お守りください

フィルターは確実に取り付けてください。取り付けが不十分なときは電源が入りません。105

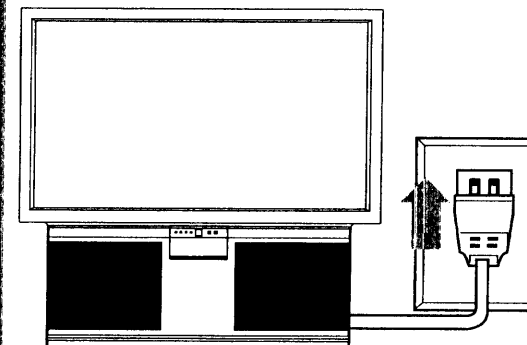
6 スピーカーグリルを取り付ける



お守りください

スピーカーを傷付けないようにご注意ください。

7 電源プラグをコンセントに差し込む



性能の維持 について(つづき)

ランプ交換について

本機では映像を映し出すために光源ランプを使用しています。

この光源ランプには、寿命があります。長時間使用すると、映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりします。また、ランプが点灯しなくなるとランプインジケータが赤色に点灯します。**105**

このようなときは、新しいランプと交換してください。

新しいランプの購入については、お買い求めの販売店またはご相談窓口 **107** にお問い合わせください。

△注意

- ランプ交換以外の目的でランプを取り出さないでください。やけどや火災の原因となることがあります。
- ランプを交換するときは、テレビの主電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。ランプが冷えるまで(約45分)待ってからランプ交換をお願いします。熱いうちはやけどの恐れがあります。
- 取り出したランプをお子様手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。
- 取り出したランプに水などをかけたり、ランプ内部に異物を入れないでください。ランプが破裂する場合があります。
- ランプユニットを取り出した後、ランプ収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

お守りください

- 新しいランプは、必ず専用のランプTP-L52(別売り)をお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因となります。
- ランプが切れるときに大きな音がすることがありますが、特に危険ではありません。
- 使用済みランプの廃棄については、一般的にはガラスやビンと同類として取り扱われますが、市町村によっては、ランプを分別収集の対象にしているところもあり、その場合廃棄の際はその指示に従ってください。
- 交換用ランプ前面のガラス面は直接手でさわったり、よごしたりしないでください。ランプの寿命が短くなったり、画像が劣化する恐れがあります。
- ランプカバーは、正しく閉めてください。正しく閉めないと電源が入りません。**105**
- ランプ交換が終わったら、必ずランプ時間のリセット **99** を行ってください。

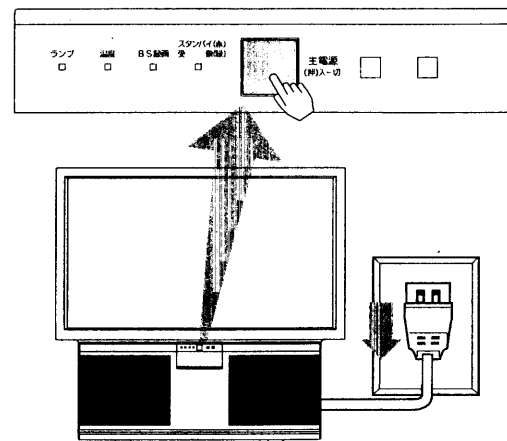
メモ

ランプ交換時期の目安について

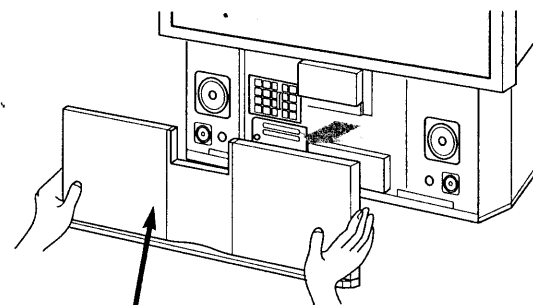
テレビ動作時間の累計で約6,000時間に近づくと、電源を「入」にしたとき、約10秒間「ランプ」表示が画面に表示されます。このときは、早めに新しいランプと交換することをおすすめします。

ただし、光源ランプの寿命までの使用時間にはバラツキがある場合があります。

1 本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

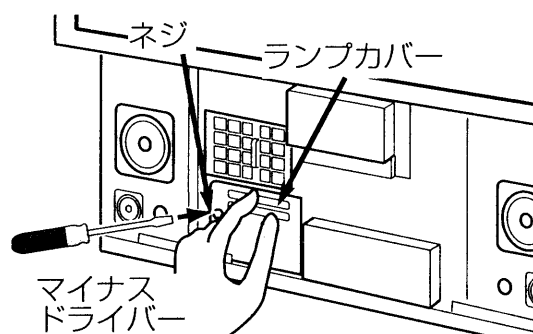


2 前面のスピーカーグリルを手前に引きはさず



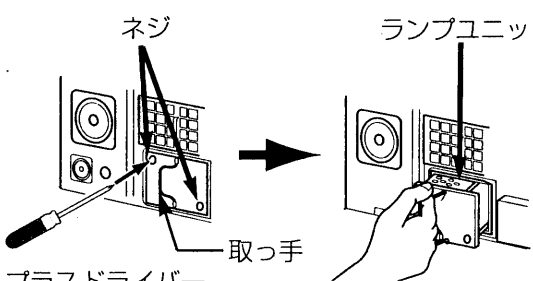
スピーカーグリル

3 ネジをゆるめ、取っ手を引っぱり、ランプカバーをはずす



マイナスドライバー

4 2本のネジをゆるめ、取っ手を引っぱりランプユニットを取り出す



プラスドライバー

お守りください

- ランプが熱いとやけどの恐れがあります。ランプが冷えるまで(約45分)お待ちください。
- マイナスドライバーでランプカバーのネジをゆるめてください。

お守りください

- 2本のネジを完全にゆるめないと、ランプユニットが引き出せず、指を痛める場合があります。
- 取はずしたネジは、新しいランプユニットを取り付けるときに使用しますので、なくさないように保管してください。
- ランプユニットを取り出した後、ランプ収納部に手を入れないでください。やけどの危険があります。

性能維持について (つづき)

97 のつづき

5 新しいランプユニットと交換し、2本のネジで固定する

プラスドライバー ストッパー

お守りください

- 交換ユニットは確実に奥まで押し入れてください。
- ランプユニットのネジを確実にしめてください。ネジがゆるんでいるとコネクターの接触不良で故障の原因となります。
- 押し入れた後、取っ手はストッパーに確実に引っかけて固定してください。

6 ランプカバーを取り付ける

マイナスドライバー

お守りください

ランプカバーがはずれている状態では電源が入りません。ランプインジケータが点滅します。**105**

必ず電源を入れる前にランプカバーを取り付け、ネジで固定してください。(投射映像の色むらなどの原因となります。)

7 スピーカークリルを取り付ける

スピーカークリル

お守りください

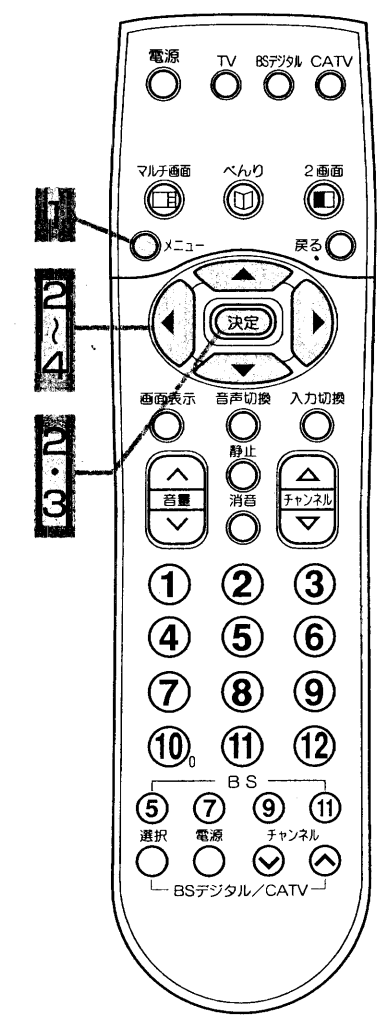
スピーカーを傷つけないようにご注意ください。

8 電源プラグをコンセントに差し込む

ランプの使用時間を確認するには

お知らせ

- ランプを交換したら、必ずランプ時間をリセットしてください。
- ランプ時間のリセットは、新しいランプに交換したときのみ行ってください。途中でランプ時間をリセットすると、正しい使用時間が不明となり、適切なランプ交換時期の目安がわからなくなります。



1 メニューボタンを押す

2 決定ボタンで「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

3 決定ボタンで「ランプ時間」を選び、決定ボタンを押す

(使用時間が6,000時間の場合)

4 ランプメッセージを出さないようにするには

決定ボタンで「ランプメッセージ」を選び、決定ボタンで「切」を選ぶ

5 新しいランプに交換したときは

決定ボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押す

ランプ時間が「0」に戻り、ランプメッセージの設定が「入」となります。

メモ

ランプメッセージについて

ランプ交換の目安として約6,000時間になると、電源を「入」にしたとき、約10秒間「ランプ」表示が画面の左下に表示されます。決定ボタンで「切」を選ぶと表示させないようにすることができます。(お買い上げ時は「入」に設定してあります。)

設置 ●性能維持について

据え付けるとき の注意

△注意

通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ラック、箱のような狭いところに入れないでください。
- 壁などから10cm以上離してください。

△注意

電源プラグをすぐに抜くことができるようにテレビを据え付けてください。

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

△注意

本機は主電源スイッチを切ってスタンバイ/受像インジケータが消えていても、電源から遮断されません。
万一異常があった場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。

メモ

壁などへのほこり付着について

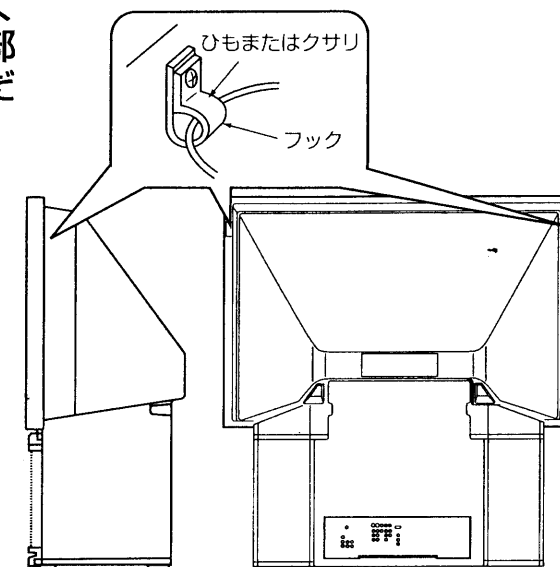
テレビを壁などから10cm以上離すことにより空気の対流が良くなり、壁などへのほこりの付着を少なくできます。

転倒防止について

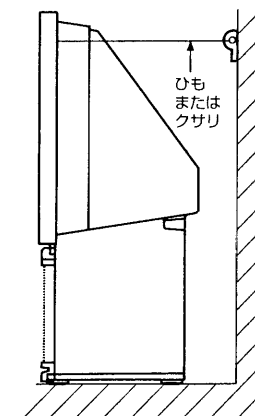
△注意

床または台が安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

テレビを固定してご使用いただく場合には、図のようにセット後部の両端一对のフックをご利用ください。



2 ひもまたはクサリ、および取り付け具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱などをお選びになり、しっかりと固定してください。



3 専用のテレビ台（別売り）との固定は、テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

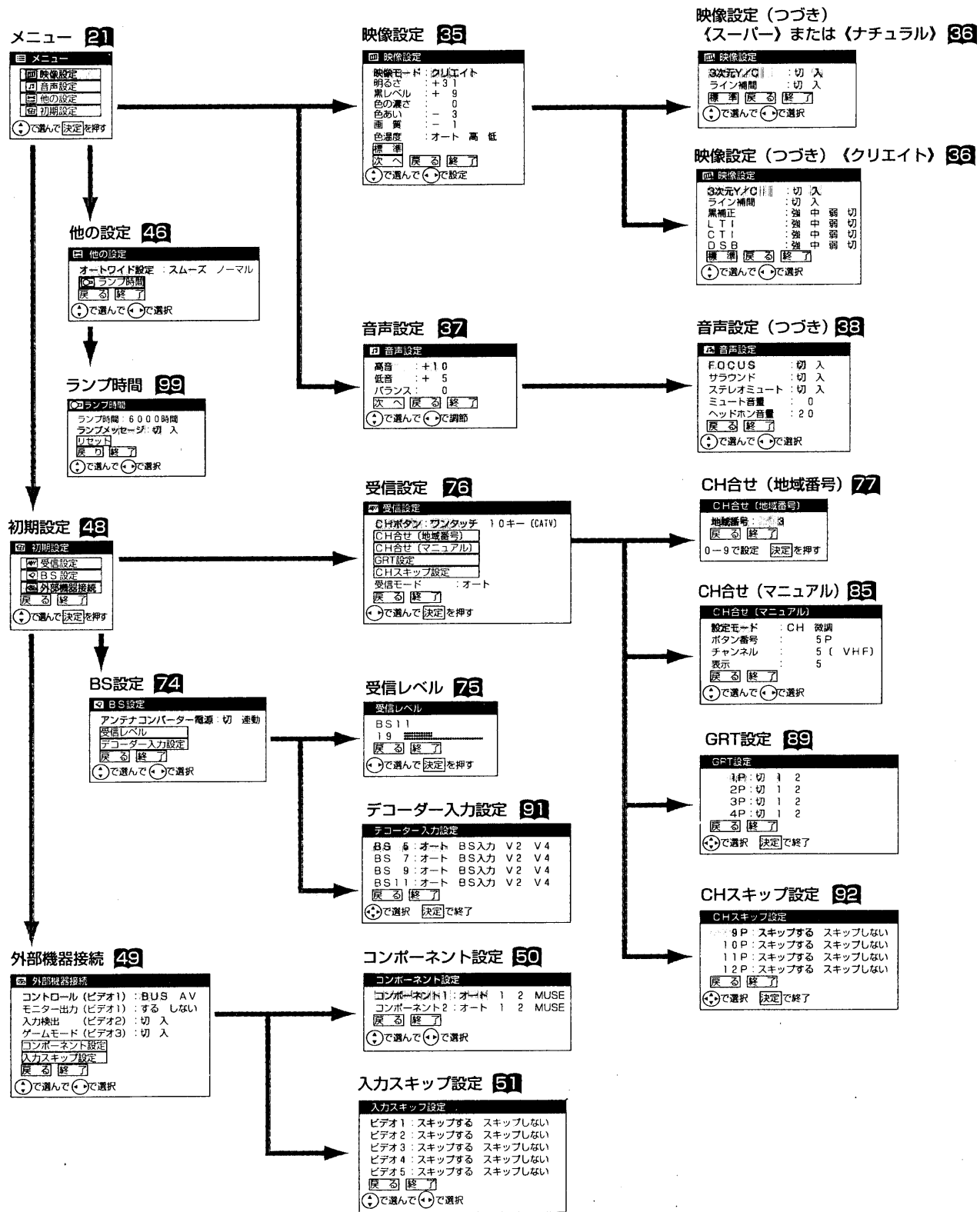
設置

- 据え付けるときのご注意
- 転倒防止について

メニュー階層図

メニュー画面からいろいろな機能が選択できます。各機能の詳しい説明は、 ページをご覧ください。

- の向きに操作するときは、 で項目を選び、決定ボタンを押します。
- リモコンの戻るボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。



故障かな?と思ったら

電源プラグがはずれていたり、アンテナ線がはずれていたりしているとテレビの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応確かめください。それでも具合の悪い場合は自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。

△注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。

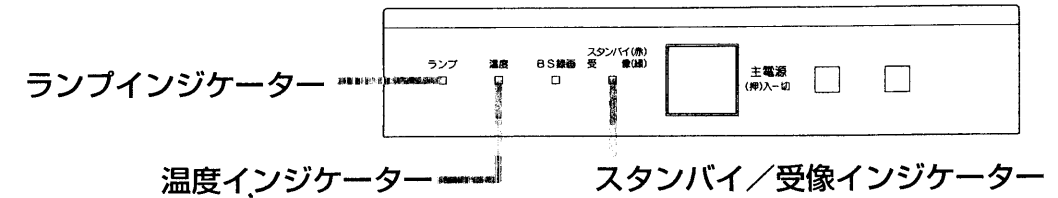
このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
画面が出ない 音も出ない	① 外部機器接続端子位置と入力切換ボタンの切り換え位置の不一致 ② デコーダー入力設定が「V2 (ビデオ2)」または「V4 (ビデオ4)」になっている。 ③ 温度インジケータ、ランプインジケータが点滅または点灯している。	① 入力切り換え位置を合わせてください。 ② メニューのデコーダー入力設定を選び、「オート」または「BS入力」にします。 ③ 表示インジケータが点灯または点滅したときの処置を行ってください。	30 91 105
画面は出るが 音が出ない	① 音量調節が0になっている。 ② 消音ボタンを押している。	① 音量ボタン(▲)を押してみてください。 ② もう一度消音ボタンを押してみてください。	19 28
画面や音が出るのが遅い	電源を「入」にしたとき、光源ランプの点灯準備のため、ウォームアップ状態となります。(最大約90秒) (このときスタンバイ/受像インジケータが緑色に点滅します。) しばらくお待ちください。		18
画面が暗い	① 明るさの設定が-(暗)側いっぱいになっている。 ② 黒レベルの設定が-(暗)側いっぱいになっている。 ③ ランプの寿命が近づいている。	① 映像設定で明るさを選択し、+にしてみてください。 ② 映像設定で黒レベルを選択し、+にしてみてください。 ③ 新しいランプに交換してください。	35 35 97
色あいが悪い	① 色あいの設定が正しくされていない。 ② ランプの寿命が近づいている。	① 色あいの設定を調節してみてください。 ② 新しいランプに交換してください。	35 97
カラー番組のときに色が出ない	色の濃さの設定が-(淡)側いっぱいになっている。	映像設定で色の濃さを選択し、+にしてみてください。	35
画像が2重 3重に映る (ゴースト)	近くに山や大きな建物、樹木がある場合、反射電波によって起こる。 GRT設定 (ゴーストリダクション) が「切」になっている。	① ビルが建つなど、周囲の状況についてお調べください。 ② アンテナの向きがずれていないかお調べください。 GRT設定を「入1」/「1」または「入2」/「2」に設定してください。	27 88
雪が降っているような画面になり ハッキリしない (スノーノイズ)	アンテナの向きが正しくないことが考えられます。 アンテナ線がはずれている。	アンテナの向きがずれていないかお調べください。 セット後面のアンテナ端子板の接続端子をお調べください。	72
リモコンで テレビが 操作できない	① リモコン送信機の乾電池の⊕⊖が逆に入っている。 ② リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっている。	① 乾電池を正しく入れてください。 ② 乾電池を新しいものに交換してください。	17

ご参考
●メニュー階層図
●故障かな?と思ったら

故障かな?と
思ったら
(つづき)

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照 ページ
チャンネル合わせができない (リモコン)	べんり機能のBSch固定が「入」に設定されている。 (BSのチャンネルが選べない。)	べんり機能のBSch固定を選択し、「切」を選びます。	69
映像設定で明るさのみが設定 できない	映像モードがナチュラルになっている。	他の映像モードに切り換えます。	34
BSチャンネルを選んでも録画予約表示が出て、チャンネルが変わらない	べんり機能のBSch固定が「入」に設定されている。	べんり機能のBSch固定を選択し、「切」を選びます。	69
BSデコーダーを接続しているのに、スクランブルが解除されない	BSデコーダーの電源が「切」になっている。	BSデコーダーの電源を「入」にします。	59
「BSコンバーター確認」と表示がでる	BSアンテナが短絡している。	電源を「切」にしてBSアンテナが短絡していないかお調べください。	74
BSデジタル/CATV操作ボタンが操作できない	メーカー設定が消えている。	もう一度、メーカー設定をやり直してください。それでも、操作できないときは、乾電池を交換してください。	63 65
テレビの電源を切ってもファンの音がする	冷却ファンが動作しているためです。約2分後に止まります。		
「ピシッ」と音がする	冷暖房などの室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。		
ラジオに雑音はいる	テレビの近くでラジオなどを使用しますと、雑音はいる場合があります。テレビより離れてご使用ください。		
電源ボタンを押したときに「ジー」音がする	光源ランプの起動音であり、故障ではありません。		
テレビゲームなどの同じ画面内容を長時間連続表示すると残像が発生する	液晶パネルの特性であり、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。		
画面上に黒点(光らない点)や輝点(光ったままの点)がある	液晶パネルの特性であり、故障ではありません。		

表示インジケーターが点灯または点滅したときの処置について



インジケーター	インジケーター表示	表示の意味	処置のしかた
スタンバイ/受像 インジケーター	赤色の点灯	スタンバイ状態	—————
	赤色の点滅	クールダウン中	—————
	緑色の点灯	動作状態	—————
	緑色の点滅	ウォームアップ中	—————
ランプ インジケーター	赤色の点灯	ランプ不点灯/ ランプ切れ	再度電源を入れてもランプインジケーターが赤色に点灯するときは、ランプの交換が必要です。96
	赤色の点滅	ランプカバー/ フィルター取り付け不良	ランプカバー、エアフィルターを正しく取り付けてください。94, 93
温度 インジケーター	赤色の点灯	内部温度上昇 (通気不良など)	●通気孔をふさがないように正しく設置してください。 ●エアフィルターを掃除してください。94
	赤色の点滅	冷却ファン停止	販売店にご相談ください。

ご参考

●故障かな?と思ったら

保証とアフターサービス (必ずご覧ください。)

修理を依頼されるときは (出張修理)

103、104ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

**保証書
(別添)**

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間…お買い上げ日から1年です。
ただしランプ交換作業およびスクリーンは保証対象外です。(ランプは保証期間内無償提供)

**補修用
性能部品の
最低保有期間**

テレビの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

**ご不明な点や
修理に関する
ご相談は**

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはご相談窓口 107 にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	BSチューナー内蔵液晶プロジェクションテレビ
形名	(テレビ本体)W48-LC2000 (リモコン)C-RF4
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ


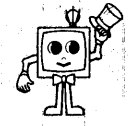
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日


長年ご使用のテレビの点検をぜひ!


熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検 	このような症状はありませんか <ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 	ご使用中止 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。	ちょっとした心づかいでテレビの安全 
--	---	---	--

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
 なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
 0120-3121-68

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
 0120-3121-11

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口 家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5 (日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55 (日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18 (博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

●保証とアフターサービス
●お客様ご相談窓口

用語解説

BSチューナー

加入契約をしてBSアンテナを接続すれば、衛星放送を受信することができます。ゴーストのない高画質映像とデジタルサウンドが楽しめます。

ビットストリーム

衛星放送の電波で送られてくるデジタル信号です。音声とデータがデジタル化されています。

検波

衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

3次元Y/C

Y（輝度）信号とC（色）信号を、水平・垂直・時間軸方向で分離し、映像ノイズを減らす回路です。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の縦横比が16:9になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

MUSE

ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

MUSE-NTSCコンバーター

MUSE方式のハイビジョン放送を現行放送方式(NTSC)に変換するための機器です。

ハイビジョン試験放送

2000年9月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。MUSE方式ハイビジョン放送を見るためには、MUSEデコーダーまたは、MUSE-NTSCコンバーターが必要です。

ワイドクリアビジョン放送

ワイドクリアビジョン放送は現行テレビジョン放送とも両立性を保ちつつ画面のワイド化と高画質化などが図られた新しいテレビジョン放送です。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダーなど）が必要です。

デコーダー

スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

コンポーネント信号

輝度信号（Y）と2つの色差信号（PB/CB、PR/CR）の信号に分離された映像信号です。DVDソフト、BSデジタル放送などを高画質で楽しむことができます。

CATVホームターミナル

CATVのスクランブルのかかった有料放送を視聴するための専用チューナーです。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

BSデジタルチューナー

BSデジタル放送を受信し、現行のテレビに接続するための映像と音声を出力する装置です。デジタルハイビジョン映像信号を出力するチューナーをBSデジタルハイビジョンチューナーと呼びます。

デジタルハイビジョン

2000年12月から始まるBSデジタル放送で行われる高精細度ハイビジョン放送です。現行のアナログハイビジョン放送と同等の高画質映像を楽しむことができます。

D端子

デジタルチューナーなどのデジタル機器とテレビを接続するためのものです。コンポーネント映像信号を1本のケーブルで簡単に接続でき、走査線数、アスペクト比の制御信号も伝送することができます。入力または出力できる信号の走査線数によりD1～D5に分類されます。本機はD3（525i、525p、1125i）に対応しています。

アスペクト比

テレビ画面（または映像信号）の横と縦の比をいいます。通常テレビは4:3、ワイドテレビ（ハイビジョンテレビ）は16:9です。

525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)

放送される映像信号の走査線数、有効走査線数と走査方式の略称です。

1125i：走査線数1125本（有効走査線数1080本）、飛び越し走査方式（インターレース）
525p：走査線数525本（有効走査線数480本）、順次走査方式（プログレッシブ）
525i：走査線数525本（有効走査線数480本）、飛び越し走査方式（インターレース）

DVD

12cmのディスクに標準で133分もの映像と高音質な音声を記録できる新しいメディアです。

索引

英数字

10キー方式	86
2カ国語(二重)音声放送	31
2画面の拡大	41
2画面	40
3次元Y/C	36
4画面	42
AV-BUS II 端子	54
BS/モニター出力	52
BS-IF入力	75
BSアンテナ	74
BSコントロール機能	71
BSデジタルチューナー	12, 62
BSデジタル放送	12
BS入力	91
BS録画インジケータ	15
CATV	64
CATVホームターミナル	64
CHスキップ設定	92
CH固定	69
CTI	36
DSB	36
FOCUS	38
F形接栓	73
GRT	26, 88
LTI	36
MUSE-NTSCコンバーター	60, 90
MUSEデコーダー	61, 90
TV/独立	32
U/V混合器	72
UHF/VHF混合アンテナ	72
UHFフィーダー	73
VHF/UHFアンテナ	72
VHF平行フィーダー	73
WOWOW	12

あいうえお

明るさ	35
空きチャンネルの飛び越し選局	92
アッテネーター	73
アンテナアダプター	73
色あい	35
色の濃さ	35
エアフィルター	94
映画1	24
映画1字幕	24
映画2	24
映画2字幕	24
衛星放送	12
映像設定	35
映像モード	34
お買い上げ時のチャンネル設定	19
オフタイマー	45
親画面	43
音声切換ボタン	31
音声設定	37

かきくけこ

画質	35
画面位置	25
画面表示	29
キードAFC入力	60
クリエイト	34
黒補正	36
黒レベル	35
ケーブルテレビ	85
ゲームモード(ビデオ3)	49
検波出力	58
高音	37
高精細度テレビ	12
子画面	42
コントロール(ビデオ1)	49
コンバーター電源	74
ゴーストリダクション	26, 88

さしすせそ

サラウンド	38
システムアップ	47
主音声	31
受信契約	12
受信設定	76
受信レベル	75
受像ランプ	15
スーパー	34
スクイーズ映像	24
スクランブル化	12
スタンバイ	18
ステレオ音声	31
ステレオ放送	31
ステレオミュート	38
スムーズ	24
静止画	44
静止ボタン	44
接続できる機器	47
セント・ギガ	12

たちつてと

他の設定	46, 99
地域番号	76
地域番号一覧	78
チャンネル設定	76
チャンネルを選ぶ	19
低音	37
ディマーアイ受光窓	15
デコーダー	12
デコーダーの入力設定	90
転倒防止	101
同軸ケーブル	73
独立音声	32
飛び越し選局	92

なにぬねの

ナチュラル	34
二重音声放送	31
入力切換ボタン	30
ノーマル	24

はひふへほ

バランス	37
微調	87
副音声	31
付属品	2
フル	24
ヘッドホン(ミニ)	15
ヘッドホン音量	38
べんり機能	20

まみむめも

マルチ画面	40
マルチ画面ボタン	42
ミュート音量	38
モノラル	31

らりるれろ

リモコンの取り扱い	17
-----------	----

わ

ワイド画面	22
ワイド機能	22
ワイドクリアビジョン放送	12
ワイドモードの選びかた	22
ワンタッチ	76
ワンタッチ方式	84